

令和4年度（2022年度）

# 事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会



# 目次

## 地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	地域ネットワーク事業	・・・	1
	日野市生活支援体制整備事業	・・・	3
	介護予防・フレイル予防推進業務	・・・	10
	地域介護予防活動支援事業	・・・	11
	障害者および高齢者団体等のバス借上補助	・・・	15
	みんなとっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	16
	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務 （あんしん住まいる日野）	・・・	17
	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	・・・	18
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	20
	I C T（情報通信技術）を活用したシニア支援事業	・・・	22
在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	24
	第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスA）	・・・	26
	第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスB）	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> ・・・	27
	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業	・・・	29
	移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業	・・・	31
	高齢者食事宅配サービス事業	・・・	31
	産後家庭向け配食サービス事業	・・・	33
	車椅子貸出事業	・・・	35
	コミュニケーション支援事業	・・・	35
	ウクライナ避難者支援事業	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> ・・・	37
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	39
	防災・減災をテーマにした地域づくり	・・・	50
	日野市介護サポーター制度	・・・	53
	日野市生涯学習支援システム ホームサイト「Hi Know!」	・・・	55
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・・・	58
	地域支え合い福祉活動助成	・・・	59

<b>生活福祉資金貸付事業</b>	生活福祉資金貸付事業	・・・	61
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	・・・	63
	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急特例貸付	・・・	64
	ヒカリ興業奨学基金	・・・	68
<b>福祉サービス利用援助事業</b>	地域福祉権利擁護事業	・・・	69
	財産保全・管理サービス	・・・	70
	応急日常金銭管理サービス	・・・	71
	成年後見制度利用者支援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span>	・・・	71
<b>福祉人材育成事業</b>	手話通訳者研修事業	・・・	76
	手話講習会事業	・・・	76
	福祉のしごと相談・面接会	・・・	79
	福祉人材育成研修事業	・・・	80
	障害福祉人材育成研修事業	・・・	81
	社会福祉士養成のための実習生の受入	・・・	85
<b>法人運営事業</b>	組織運営事業	・・・	86
<b>公益事業拠点区分</b>			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・・・	94
<b>収益事業拠点区分</b>			
自動販売機設置管理事業		・・・	95
日野市役所内売店の運営		・・・	96
<b>共同募金運動</b>			
赤い羽根共同募金運動	日野地区協力会	・・・	97
	日野地区配分推せん委員会	・・・	98
歳末たすけあい運動		・・・	99
<b>日野市社会福祉協議会</b>	<b>組織体制</b>	・・・	100

# 地域福祉活動推進事業拠点区分

## 地域福祉事業

事業名	<b>地域福祉ネットワーク事業</b>							
事業形態	自主事業							
財源内訳	会費							
担当係	地域支援係							
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる							
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。 既に存在する同様の組織や活動との整合性を図り、住民が無理や無駄がなく活動していける基盤整備を市と協力して進める。							
内容	<b>1. 多様な機関・団体と連携した地域づくり</b>							
実績報告	<p>1) 第1・2層生活支援コーディネーターの連携による地域づくり          [会議・協議の場] 第1層協議体、第2層協議体、生活支援コーディネーター連絡会・地域包括支援センター連絡会ほか (詳細3頁)</p> <p>2) ふれあいサロンや地域介護予防活動団体との連携による地域づくり          [会議・連携の場] 交流ひろばCaféや介護予防団体モニタリング、サロンでのスマホ講座 (詳細11, 22頁)</p> <p>○交流ひろばCafé          地域サロン団体同士の情報交換・親睦を目的とした交流会を実施。令和4年度は日野市高齢福祉課のサロン交流会と協働開催とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/8 (火)</td> <td>                     1. 日野市からのご案内                      2. オンラインサロン見学会 (ひだまり)                      3. 思い出ノート体験                      4. 情報交換                 </td> <td>12団体 18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>時間/場所は、13:30~15:30/中央福祉センター集会室</p>		日程	内容	参加	11/8 (火)	1. 日野市からのご案内 2. オンラインサロン見学会 (ひだまり) 3. 思い出ノート体験 4. 情報交換	12団体 18人
	日程	内容	参加					
11/8 (火)	1. 日野市からのご案内 2. オンラインサロン見学会 (ひだまり) 3. 思い出ノート体験 4. 情報交換	12団体 18人						
<p>3) 社会福祉法人・施設等との連携による地域づくり          [会議・協議の場] 日野市内社会福祉法人ネットワーク (詳細89頁)</p> <p>4) 地区社会福祉協議会「ぷらっと協議会」との連携による地域づくり          南平地区の地域課題を検討している「南平地区社会福祉協議会」と連携し地域づくりを推進する          [会議・協議の場] ぷらっと南平役員会・運営委員会 (詳細2頁)</p> <p>※明星地区つながりの家「アムール」(程久保)による地区社協の検討スタッフ役員会議に出席 2回 (6/19, 6/22)</p> <p>5) 日野市が実施する委員会・会議体との連携による地域づくり          日野市の福祉関係の委員会等と連携し地域づくりを推進する。          [会議・協議の場] 日野市等委員会への委員参加 (詳細90-91頁)</p>								

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>南平地区以外での「地区社協」の展開として、空き家を活用したサロンつながりの家「アムール」へ声掛け・提案等行ったが、スタッフ体制や内容等が課題となり、現時点での実施は「不可」となった。今後も地域活動団体等への相談・支援を行い、地区社協の推進に努めていく。</li> </ul>
内 容	<b>2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援</b>
実績報告	<p>7年目を迎え、骨子に「初心に戻り、持続可能な組織づくりを目指す」を掲げ、中期計画に①ぷらっとお助け隊の推進②人材の発掘・育成③継続的な会の周知を掲げている。ぷらっと南平に対して下記の支援を行った。</p> <p>1) 役員会への出席 12回 (4/20, 5/17, 6/15, 7/20, 8/17, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/15)</p> <p>2) 運営委員会への出席 1回 (10/15)</p> <p>3) 南平ちょこっとお助け隊の立ち上げ支援 日野市高齢福祉課により創設された「互近助サービスちょこすけ」の制度を活用し、南平地域の高齢者・障がい者等へ困りごとの生活支援サービス（お手伝い）をする「南平ちょこっとお助け隊」の立ち上げのため情報提供や資料作成等の側面支援を行った。 定例会議 6回 (4/2, 6/11, 8/27, 10/1, 12/10, 2/18)</p> <p>4) 南平地区防災会への支援 南平地区社協防災班が中心となって立ち上げた南平地区防災会設立準備会に参加し、運営支援を行った。 南平小学校避難所運営マニュアルを使った避難訓練の実施 (7/2, 3/4) 小委員会 3回 (6/19, 6/29, 9/30)</p> <p>5) 南平まちづくり協議会への参加 地域包括支援センターすずらん主催の第2層協議体である。この協議体では、高齢者等の社会参加や地域活動の活性化のため、「南平ボランティアマップ」の作成が進められている。 南平まちづくり協議体 6回 (4/2, 6/11, 8/27, 10/1, 12/10, 2/18)</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で地域活動が停滞する中、「互近助サービスちょこすけ」の地区社協による立ち上げについて昨年度より検討を重ねてきた。これまでの支援活動の経験がない中、補助金の申請方法のほか活動内容・受付方法（担当者や時間等）等多くの課題について役員が中心となって議論を進めた。令和4年7月に「南平ちょこっとお助け隊」を正式に立ち上げた。</li> <li>立ち上げ間もない段階では、事務局が中心となって住民からの相談に対し支援を実施することで課題収集に努めた。</li> <li>支援を実施する中で、危険性や専門性を伴う活動や南平地域外からの相談等の様々な課題に直面しており、こうした課題は定例会において関係者と共有し今後の対応の仕方について検討を進めている。</li> <li>南平防災会では今まで関わりの少なかった自治会等と訓練を通じ関わりが増えてきており、平常時より顔の見える関係づくりができ始めている。</li> </ul>
内 容	<b>3. 地域福祉活動団体への支援</b>
実績報告	<p>1) 各団体への支援 ①ぬくもりテラス定例会 6回 (7/13, 8/10, 9/14, 10/5, 11/9, 12/4)</p>

	<p>イベントの企画や周知の手伝い等の支援をした。</p> <p>②明星地区アムールの家定例会 1回 (4/20)          子どもの居場所 (お菓子づくりの会) 2回 (9/7, 10/19)          フードバンクの食品提供を通じてイベントの支援</p>
事業効果・評価 方向性等	<p>・サロンが継続して活動できるように情報提供や (企業からの寄付があった場合等) 可能な限りの物資の提供を引き続きしていく。</p>

事業名	<b>日野市生活支援体制整備事業</b>	
事業形態	受託事業 (日野市)	
財源内訳	受託金	
担当係	地域支援係・在宅サービス係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる	
目的	介護保険制度の枠にとらわれない生活支援サービスを地域 (住民主体) で支え合う仕組みづくりを検討し、高齢者ができるだけ住み慣れた地域で生活できる体制を構築する。日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体の運営を行う。また、第2層生活支援コーディネーターと協力しながら協議体の運営を行い、日野市における生活支援の基盤整備を図る。	
内容	<b>1. 第1層協議体および第1層生活支援コーディネーター</b>	
実績報告	1) 第1層協議体の開催 (年2回)	
	開催日	内容
	参加	
9/30	<p>1. 委員紹介</p> <p>2. 令和4年度生活支援体制整備事業について          [報告] ・活動状況の報告          ・互近助サービスちょこすけの現状          ・研修事業について          [協議] ・市民啓発事業について</p> <p>3. その他          各団体で活動状況や地域の支え合い活動 (インフォーマルサービス) について</p>	10人
2/7	<p>1. 令和4年度生活支援体制整備事業について          [報告] ・生活支援コーディネーターの動き          ・ひの筋体力測定会の結果報告          ・第2層生活支援コーディネーター連絡会の報告          [協議] ・インフォーマルサービスの見える化          ・体操事業の見える化と整理          ・体力測定会実施について</p> <p>2. その他          令和5年度事業計画 (案)</p>	11人
<p>※9/30 会場は中央福祉センター集会室1・2          2/9 会場は日野宿交流センター大会議室</p>		
2) 「第1層協議体運営要領」の制定 (令和4年9月1日) 第1層協議体委員改選等に伴い、日野市 (高齢福祉課) において、「日		

野市生活支援体制整備事業第1層協議体運営要領」を制定した。

委員構成（任期 令和4年9月1日～令和6年8月31日）

No.	氏名	所属
1	土屋 和子	ひの市民活動ネットワーク
2	岡 信行	日野市シルバー人材センター
3	藤岡 美也子	ひのケアマネ協議会
4	本間 義崇	ひのリハビリテーションネットワーク
5	正木 直子	南多摩地域栄養士協議会日野支部
6	佐藤 春俊	日野市介護保険関連施設連絡協議会
7	渡辺 妙子	訪問型サービスB実施団体（市民委員）
8	今井 真美	日野市民生委員・児童委員協議会
9	川田 利子	日野市地域包括支援センター
10	志村 理恵	日野市高齢福祉課
11	大久保 江理	第1層生活支援コーディネーター

[事務局] 日野市高齢福祉課在宅サービス係、日野市社会福祉協議会地域支援係

### 3) 第2層生活支援コーディネーター連絡会

日程	内容	参加
7/26	グループワーク（情報交換） ①地域の進捗状況や協議体の検討事項の共有 ②生活支援コーディネーターとしての「やりがい」や「課題・悩み」等グループワーク（意見の出し合い）を実施。	15人 [内訳] 9包括 9人 市高齢 3人 社協 3人
11/17	フリートーク（情報交換） ①地域の進捗状況を共有 ②日野市のフレイル予防事業について ※グラフィックレコーディングを活用して、日野市のフレイル予防事業の現状について情報を共有。	15人 [内訳] 9包括 10人 市高齢 2人 社協 3人
3/3	フリートーク（情報交換） ①地域の進捗状況、活動事例を共有 ②地域ケア会議等で上がってきた課題を基に今後の取組みについて検討	17人 [内訳] 9包括 11人 市高齢 3人 社協 3人

※7/26 会場は中央公民館講座室A・B

11/17、3/3の会場は中央福祉センター集会室3

### 4) 生活支援コーディネーター研修

①生活支援体制整備事業についての情報提供やコーディネーターの資質向上を図るため、生活支援コーディネーターを対象に、研修を企画・開催した。

日程	内容	参加
8/18	①講義「生活支援コーディネーターの役割と協議体の位置づけ」について ②グループワーク「コロナ禍で引きこもりの高齢者に対し地域で始められること」 講師 山本美香 氏 (東洋大学ライフデザイン学部教授)	24人 [内訳] 9包括 12人 市高齢 5人 社協 7人
8/30	①講義「みんなでやる、みんなで楽しむ地域づくり」 ②グループワーク「日野市高齢福祉総合計画（い	18人 [内訳] 8包括 10人



つまでも安心して自分らしく暮らせるまち日野) を具体的な言葉に置き換える	市高齢 5人 社協 3人
---	-----------------

※会場は中央福祉センター集会室1・2

②生活支援コーディネーター研修・情報交換会に参加（オンライン）

開催日	研修名	主催
5/18	生活支援体制整備事業に係る情報交換会の開催	東京都社会福祉協議会
7/15	生活支援コーディネーター初任者研修（1日目）	
7/29	生活支援コーディネーター初任者研修（2日目）	
2/13	生活支援コーディネーター情報交換会	東京都社会福祉協議会

5) 関係機関との連携

①地域包括支援センター所長会及び圏域連絡会への出席

地域包括支援センター所長会や各圏域における連絡会において、生活支援体制整備事業についての事業報告や情報交換を行った。

- ・所長会 3回 (5/17, 7/12, 10/11)
- ・圏域連絡会 (とよた) 5/19・7/21・9/22・11/16・1/26・3/23  
(ひの) 3/17

②地域ケア会議への出席（地域包括支援センター実施）

高齢者の地域生活を支援や専門職の支援力向上のために実施する地域ケア会議に参加し、情報収集・提供を行った。

開催日	エリア	開催日	エリア	開催日	エリア
6/13	すずらん	6/20	もぐさ	7/30	あさかわ
9/22	あいりん	11/2	いきいきタウン	3/16	かわきた

※専門職：理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、民生委員  
デイケア等担当者、担当ケアマネほか

6) 住民主体の支え合い活動の普及啓発の企画

①「互近助サービスちょこすけスタートガイドブック」の発行  
発行部数 150部

②互近助サービスちょこすけ団体の立上げ状況（3月31日現在）

	団体名	地区
1	ふれあいサロンここい〜な	大坂上・多摩平・神明
2	京王平山困りごとお助けクラブ	平山1〜3丁目
3	ちょこっと・ひの助	市内全域
4	大坂上都営ちょっとお助け隊	大坂上都営内
5	南平ちょこっとお助け隊	南平
6	高幡台団地自治会互近助おたすけ隊	高幡台団地内
7	西宮下自治会	西宮下自治会員
8	ちょこっとサービスえんこらしょ	東豊田1〜3丁目、川辺堀之内 豊田1,2丁目
9	特定非営利活動法人 愛隣舎	日野市（主に多摩平地域）
10	たきあいのひかり	東平山1〜3丁目

③ちょこすけ団体情報交換会

今年度より開始された訪問型サービスB「互近助サービスちょこすけ実施団体及び立ち上げを検討する団体に参加を呼びかけ、情報交換会を企画、開催した。 ※会場は福祉支援センター会議室1

開催日	参加団体
7/19	(実施団体) 西宮下自治会・緑ヶ丘自治会・南平地区社協 高幡台団地自治会・平山困りごとお助けクラブ・えんこらしよ 日社協在宅サービス係 7団体 (オブザーバー) 日野市セーフティネットコールセンター ひきこもりグループあお 2団体

7) 多職種 (専門職) の連携

①フレイル予防の専門職 (理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士・保健師/看護師) と連携し、体力測定会での個別相談を実施 (運営協力)

開催日	内容	専門職
4/18	体力測定 (6項目) および看護師、理学療法士による「お身体個別相談」 場所 南平地区センター	看護師 3人 理学療法士 1人
6/17	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士によるお身体、スマホ個別相談 場所 南平体育館	看護師 3人 理学療法士 5人 管理栄養士 5人
11/29	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師によるお身体個別相談 場所 市民の森ふれあいホール	保健師 2人 地域包括 6人 理学療法士 4人 管理栄養士 3人 歯科衛生士 2人 薬剤師 3人
2/8	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士によるお身体個別相談 場所 新町交流センター	保健師 1人 地域包括 3人 理学療法士 3人 管理栄養士 3人
2/16	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士によるお身体個別相談 場所 ラペ日野	保健師 2人 地域包括 2人 理学療法士 3人 管理栄養士 3人
2/21	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士によるお身体個別相談 場所 多摩平交流センター	保健師 1人 地域包括 3人 理学療法士 3人 管理栄養士 2人
2/27	体力測定 (6項目) および看護師ならびに理学療法士、管理栄養士によるお身体個別相談 場所 南平体育館	保健師 1人 地域包括 4人 理学療法士 3人 管理栄養士 2人

②ひのケアマネ協議会との連携 (研修の実施協力)

開催日	内容
3/16	日野市のインフォーマルサービス (見守り支援ネットワーク・互近助サービスちょこ助・日野ハンディキャブ・在宅高齢者ケアサービス) について

	講師 日野市高齢福祉課・日野市社会福祉協議会（地域支援係・在宅サービス係）																																													
	[会場] 中央福祉センター集会室   及び Zoom																																													
内 容	<b>2. 第2層協議体の事務局運営</b>																																													
実績報告	1) 第2層協議体 各地域包括支援センター（以下包括）のエリアごとに、年2回ずつ開催。昨年度に引き続き、各包括に配置された第2層生活支援コーディネーターと、社会福祉協議会に配置されている第1層生活支援コーディネーターを中心に社会福祉協議会が運営事務を担い進めた。																																													
	① 第2層協議体の開催 ひの圏域																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>包括名</th> <th>回数</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">多摩川苑</td> <td>第1回 (4/6)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 18人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第2回 (6/29)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 19人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第3回 (8/31)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第4回 (10/5)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第5回 (12/14)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第6回 (2/15)</td> <td>[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会</td> </tr> <tr> <td>第7回 (12/9)</td> <td>[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について</td> </tr> <tr> <td>第8回 (3/3)</td> <td>[会場] 上田地区センター [参加者] 9人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">せせらぎ</td> <td>第1回 (4/25)</td> <td>[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 地域の見守り活動について</td> </tr> <tr> <td>第2回 (9/5)</td> <td>[会場] リハビリ神明 [参加者] 6人 [内容] 体操教室について</td> </tr> <tr> <td>第3回 (10/31)</td> <td>[会場] 中央福祉センター [参加者] 37人 [内容] 見守り支援員・協力員連絡会</td> </tr> <tr> <td>第4回 (1/6)</td> <td>[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 6人 [内容] ちょこすけ立上げについて</td> </tr> <tr> <td>第5回 (1/21)</td> <td>[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 15人 [内容] ちょこすけサービス住民説明会</td> </tr> <tr> <td>第6回 (2/17)</td> <td>[会場] 中央福祉センター [参加者] 14人 [内容] 地域の見守り活動について</td> </tr> <tr> <td>第7回 (3/3)</td> <td>[会場] 栄町地区センター [参加者] 15人 [内容] 地域の見守り活動について</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ひらやま圏域</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">すずらん</td> <td>第1回 (4/2)</td> <td>[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] 南平ボランティアマップについて</td> </tr> <tr> <td>第2回 (4/2)</td> <td>[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 13人</td> </tr> </tbody> </table>	包括名	回数	内容等	多摩川苑	第1回 (4/6)	[会場] オンライン [参加者] 18人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第2回 (6/29)	[会場] オンライン [参加者] 19人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第3回 (8/31)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第4回 (10/5)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第5回 (12/14)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第6回 (2/15)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会	第7回 (12/9)	[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について	第8回 (3/3)	[会場] 上田地区センター [参加者] 9人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について	せせらぎ	第1回 (4/25)	[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 地域の見守り活動について	第2回 (9/5)	[会場] リハビリ神明 [参加者] 6人 [内容] 体操教室について	第3回 (10/31)	[会場] 中央福祉センター [参加者] 37人 [内容] 見守り支援員・協力員連絡会	第4回 (1/6)	[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 6人 [内容] ちょこすけ立上げについて	第5回 (1/21)	[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 15人 [内容] ちょこすけサービス住民説明会	第6回 (2/17)	[会場] 中央福祉センター [参加者] 14人 [内容] 地域の見守り活動について	第7回 (3/3)	[会場] 栄町地区センター [参加者] 15人 [内容] 地域の見守り活動について	ひらやま圏域			すずらん	第1回 (4/2)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] 南平ボランティアマップについて	第2回 (4/2)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会	第3回	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 13人
	包括名	回数	内容等																																											
	多摩川苑	第1回 (4/6)	[会場] オンライン [参加者] 18人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第2回 (6/29)	[会場] オンライン [参加者] 19人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第3回 (8/31)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第4回 (10/5)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第5回 (12/14)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第6回 (2/15)	[会場] オンライン [参加者] 15人 [内容] 災害時ペット同行避難準備会																																											
		第7回 (12/9)	[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について																																											
		第8回 (3/3)	[会場] 上田地区センター [参加者] 9人 [内容] 歌を楽しむ会の再開について																																											
	せせらぎ	第1回 (4/25)	[会場] 市役所507会議室 [参加者] 7人 [内容] 地域の見守り活動について																																											
		第2回 (9/5)	[会場] リハビリ神明 [参加者] 6人 [内容] 体操教室について																																											
		第3回 (10/31)	[会場] 中央福祉センター [参加者] 37人 [内容] 見守り支援員・協力員連絡会																																											
第4回 (1/6)		[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 6人 [内容] ちょこすけ立上げについて																																												
第5回 (1/21)		[会場] グリーンコープ集会所 [参加者] 15人 [内容] ちょこすけサービス住民説明会																																												
第6回 (2/17)		[会場] 中央福祉センター [参加者] 14人 [内容] 地域の見守り活動について																																												
第7回 (3/3)		[会場] 栄町地区センター [参加者] 15人 [内容] 地域の見守り活動について																																												
ひらやま圏域																																														
すずらん	第1回 (4/2)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] 南平ボランティアマップについて																																												
	第2回 (4/2)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会																																												
	第3回	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 13人																																												

		(6/11)	[内容] 南平ボランティアマップについて
		第4回 (6/11)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 13人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会
		第5回 (8/27)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 12人 [内容] 南平ボランティアマップについて
		第6回 (8/27)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 12人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会
		第7回 (10/1)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 15人 [内容] 南平ボランティアマップについて
		第8回 (10/1)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 14人 [内容] ちょこすけ立上げ準備会
		第9回 (12/18)	[会場] 南平駅西交流センター [参加者] 14人 [内容] 南平ボランティアマップについて
	いきいきタウン	第1回 (10/5)	[会場] 平山苑地区センター [参加者] 19人 [内容] 長沼地区との協働
		第2回 (10/20)	[会場] 平山交流センター [参加者] 21人 [内容] ちょこっとお助けサービスについて
	かわきた	第1回 (6/10)	[会場] 西平山地区センター [参加者] 9人 [内容] 豊田団地自治会の課題整理
		第2回 (8/1)	[会場] 西平山地区センター [参加者] 8人 [内容] 豊田団地自治会の課題整理 ちょこすけサービスの紹介
たかはた圏域			
		第1回 (7/21)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 15人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ 都立大学アンケートについて
		第2回 (8/30)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 12人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
		第3回 (9/15)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 14人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
	あさかわ	第4回 (10/13)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 13人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
		第5回 (12/1)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 13人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
		第6回 (1/12)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 9人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
		第7回 (2/14)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 16人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ
		第8回 (3/22)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 9人 [内容] 高幡台映画上映会打合せ オーラルケア講座について
	もぐさ	第1回 (5/27)	[会場] 高幡台団地集会所 [参加者] 8人 [内容] ちょこすけサービス立上げ準備会
		第2回 (8/16)	[会場] アポロ広場&もぐさふれあいサロン [参加者] 12人 [内容] 買い物支援

	第3回 (3/17)	[会場] 福祉支援センター [参加者] 21人 [内容] 相談協力員連絡会
あさかわ	第1回 (11/9)	[会場] 高幡台団地管理組合 [参加者] 6人 [内容] フレイル予防について
とよだ圏域		
すてっぷ	第1回 (4/25)	[会場] 豊田南地区センター [参加者] 15人 [内容] プラチナ会議について 避難行動要支援者個別支援計画について
	第2回 (6/27)	[会場] 豊田南地区センター [参加者] 16人 [内容] 互近助サービスちょこすけについて
	第3回 (8/29)	[会場] 豊田南地区センター [参加者] 12人 [内容] 防災の取り組みについて
	第4回 (11/28)	[会場] 豊田地区センター [参加者] 12人 [内容] 年末年始の防災・防火活動について
	第5回 (2/27)	[会場] 豊田南地区センター [参加者] 13人 [内容] 豊田小避難所開設訓練 住民アンケートについて
あいりん すてっぷ	第1回 (6/14)	[会場] 多摩平の森さくら集会所 [参加者] 15人 [内容] 互近助サービスちょこすけについて 多摩平の森ベンチ修繕について
事業効果・評価 方向性等	<p>[協議体・連絡会・活動の柱について]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体の委員交代が重なったことに伴い、「日野市生活支援体制整備事業第1層協議体運営要領（日野市高齢福祉課）」を制定した。運営要領では、趣旨や構成を定義したほか任期を定めることにより、第1層協議体の円滑な運営が期待できると考えている。</li> <li>・第2層コーディネーター連絡会で、これまでの「報告事項」がメインとなる内容から「情報交換」の主たる目的とし、コーディネーター間の意見交換を活性化が図った。今後は、コーディネーターが抱える課題整理を行うとともに、必要な情報発信が行える機会とすることが求められる。この連絡会では、コーディネーターのやりがいとして、「他業種と交流」や「地域の課題発見」などが挙げられる一方、課題として「住民主体の活動へと意識を高めることの難しさ」「実践経験の少なさ」などが挙げられた。</li> <li>・生活支援コーディネーター向け研修会では、日野市や日野市社会福祉協議会、地域包括支援センターで課題や目標を共有し、今後の事業展開をともに考えていく機会とすることができた。</li> <li>・研修では、会議にとらわれず地域主体の取り組み・活動への展開についての報告があり、今後の第2層協議体（第2層生活支援コーディネーター）のあり方に課題が見えてきた。</li> </ul> <p>[互近助サービスちょこすけについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互近助サービスちょこすけ情報交換会を通じて、実施団体と立ち上げ準備団体が、課題の共有やアドバイスし合う機会とすることができた。</li> <li>・団体立上げについては、第1層と第2層生活支援コーディネーター、高齢福祉課が連携を密にし、支援するよう努めている。</li> <li>・令和4年度立上げ目標である10団体を達成した。</li> <li>・ひのケアマネ協議会と協働し、インフォーマルサービスの勉強会を実施したことで、介護保険制度にはないサービスの周知を行うことが出来た。今後もケアマネ協議会との連携を強めていく。</li> </ul>	

	<p>[フレイル予防の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防推進員と連携した「体力測定会&amp;お身体相談会」を推進してきたことにより、市民の健康意識を高めることが出来たことと共に、様々な専門職との連携を強めることが出来た。</li> <li>・年間を通じて実施した体力測定会等での個別相談会を通じて、フレイル予防に関わる連携を深め、「多職種連携」の礎を築くことができたことは大きな成果と考えている。今後の活動の柱に加えることを予定している。</li> </ul>
--	--

事業名	<b>介護予防・フレイル予防推進業務</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	介護予防・フレイル予防推進員を配置し、住民主体の通いの場づくりや介護予防・フレイル予防活動につながる地域づくりを推進する。
内容	<b>1. 介護予防・フレイル予防活動の普及啓発</b>
実績報告	<p>1) 介護予防・フレイル予防推進員の配置 2名（令和3年度～）</p> <p>2) 介護予防団体等へフレイル予防の啓発活動 フレイル予防推進員による介護予防団体等へのモニタリングを活用し、「フレイル予防（三本の矢・口腔ケア）」等を案内し、地域のフレイル予防活動の普及啓発を図る。</p> <p>3) 介護予防・フレイル予防活動の実態把握 介護予防事業を受託した(株)ジェイリックと高齢福祉課と社協の三者で介護予防事業の企画検討（7/6, 10/21, 11/21）</p> <p>健康課と高齢福祉課と社協の三者でお互いのフレイル予防に関する事業の現状と課題の共有を図った（12/16, 12/22, 1/23）</p>
内容	<b>2. 「フレイル予防リーダー」による地域介護予防活動への側面的支援</b>
実績報告	別途記載
内容	<b>3. 専門職等の多職種・他機関との連携</b>
実績報告	<p>1) 理学療法士等の専門職との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職等と連携した体力測定会の実施 6回（6/17, 11/29, 2/8, 2/16, 2/21, 2/28）</li> <li>・ひのリハビリテーションネットワーク、高齢福祉課との定例会（7/27）</li> <li>・介護予防活動団体（おうちでひの筋含む）へ専門職の講師派遣依頼 6回（6/21, 8/9, 9/20, 12/13, 2/15, 3/14）</li> </ul> <p>2) 地域づくりによる介護予防研修への参加 オンデマンド配信にて受講（7月～10月）</p>
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢福祉課と健康課等フレイル予防に関する事業を担当している課と連携することで協働してフレイル予防に取り組む基盤が出来てきた。</li> <li>・専門職が身近な地域で専門性を活かせる活動をしていきたいという声が高まってきた。小さな拠点等で専門職相談が出来ないか検討。</li> </ul>

事業名	<b>地域介護予防活動支援事業</b>				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	地域支援係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備、地域住民による自主的な介護予防活動を育成、支援することで介護予防・フレイル予防につながる地域づくりを行う。				
内容	<b>1. 介護予防活動団体への支援（立上げ・継続モニタリング・交流）</b>				
実績報告	1) 地域介護予防活動団体の推移				
		登録団体数	ひの筋実施団体		
	4年度	57 団体	45 団体		
	3年度	54 団体	38 団体		
	2) 地域介護予防活動団体への各種支援				
	①フレイル予防ならびに「ひの筋デモ（紹介）」の実施				
	実施日	団体名	実施場所	内容	人数
	6/22	八幡神社（三沢） 健幸貯筋体操	八幡神社集会所	ひの筋体操の紹介	4人
	7/24	緑ヶ丘玄風会	セツ塚 ファーマーズセンター	フレイル予防の話	60人
	②ひの筋体操立上げ（登録）支援団体 5団体				
	登録日	団体名	活動場所	支援期間	回数
	4/14	みなみが丘友遊倶楽部	みなみが丘 地区センター	令和3年度 実施	—
	6/14	この街八坂サロン	南平 地区センター	4月～6月	6回
	6/20	フレイル予防友の会	珈琲トムの家	4月～6月	3回
	9/15	八幡神社健幸貯筋体操	八幡神社集会所	7月～9月	10回
1/11	えんこらしょ	えんこらしょ	11～12月	4回	
※ひの筋指導に加えて、立上げ支援の助成金（5万円）の交付					
3) 登録団体への継続支援（モニタリング）					
登録団体へ年1～2回の定期的な支援（モニタリング）を行い、フレイル予防に関する情報周知、継続のための相談支援を実施					
No	包括 圏域	地域介護予防団体名		モニタリング 実施日	
1	せせらぎ	★	ひまわり	6/27・11/14	
2		★	栄町ふれあい体操会	休	
3		★	玄風会	6/30・11/10	
4		★	ふれあいサロン縁がわ	10/25・3/14	

5			こもれび	3/18	
6			仲田ラジオ体操会	-	
7			新町ラジオ体操会	-	
8	多摩川苑	★	地域交流スペース ひだまり	7/6・11/2	
9		★	さざんかの会	休	
10		★	ふれあいサロン万願荘	11/11	
11		★	かわべ会	4/27・12/5	
12				レモン倶楽部	-
13	すてっぷ	★	豊四健康クラブ	11/5	
14		★	多摩平の森自治会よりみち体操クラブ	5/26・10/27	
15		★	ピアあさひ	休	
16		★	美好会	10/4・1/17	
17				シャルウィダンス	-
18				旭ヶ丘ラジオ体操会	-
19		☆		えんこらしょ	-
20	あいりん	★	元気印健康クラブ	10/27・3/23	
21		★	寿楽会	10/28・3/10	
22		★	日野ラジオ体操会	-	
23		☆		フレイル予防友の会	12/13
24	いきいきタウン	★	気かけネットワーク	4/13・11/2	
25		★	ふれあいサロンひだまり	7/20・10/12	
26		★	ふれあいサロンソレイユ	6/28・3/28	
27		★	平山4丁目麦の会	6/17・10/28	
30		★	平山さつき会ひの筋体操サークル	4/15・10/28	
31	すずらん	★	鹿島台ふれあいサークル	6/15・11/2	
32		★	南平ふれあいサロン	6/28・12/6	
33		★	茶の間会老人クラブ	6/22・12/14	
34		★	ぬくもりテラス	4/23・3/25	
35		☆		みなみが丘友遊倶楽部	7/20・12/21
36		☆		この街八坂サロン	1/30
37	かわきた	★	大和田健筋体操	5/16・11/21	
38		★	日野貯筋体操（豊田団地シニアクラブ）	4/7・12/1	
39		★	滝合木の実会（老人会）	8/2・12/19	
40		★	カトレア	9/13・3/14	
41				平山住宅自治会大空体操部	12/7
42				あさひ健幸体操	7/6
43				青春グループ	12/23



44	もぐさ		健幸サロン	3/9
45		★	落川元気会	-
46		★	百草団地ふれあいサロン	9/8・10/27
47		★	老輝会（太極拳グループ）	1/18
48			転倒予防教室	-
49	あさかわ	★	和楽会	10/6・3/16
50		★	南新井ふれあいサロン協議会	11/11・2/24
51		★	日老連健康体操	休
52		★	アムール	7/14・1/27
53		★	ひまわり【ファミリー高幡不動】	7/1・11/25
54		★	ひの筋体操サロン日野高幡	5/31・10/4
55			元気な音楽の広場	-
56			歌で楽しむ元気会	4/13・10/20
57		☆	八幡神社健幸貯筋体操	3/7

※ ★：ひの筋団体 ☆：新規立上げ団体 休：活動休止

#### 4) その他のフレイル予防の活動周知・ひの筋体操の普及

##### ①この街ハ坂サロンでの体力測定会の実施

新規立ち上げ団体「この街ハ坂サロン」の支援の一環として、支援最終日に体力測定会を実施。専門職による「お身体個別相談」（多職種連携）を試験的实施。

日程	内容	場所	人数
4/18	体力測定（6項目）および看護師ならびに理学療法士による「お身体個別相談」	南平地区センター	9人

##### ②日野市老人クラブ連合会主催体力測定会の運営協力

日野市老人クラブ連合会から要請があり、フレイル予防体力測定会の運営協力を行った。保健師や理学療法士、地域包括支援センター、フレイル予防リーダー、スマホお助け隊に協力を呼び掛けた。

日程	内容	場所	人数
6/17	体力測定6項目及び保健師、理学療法士、管理栄養士による「お身体、スマホ個別相談」	南平体育館	51人

##### ③大学生への「フレイル予防」活動周知

福祉教育ならびに地域のフレイル予防活動へ周知活動の一環として、明星大学人文学部福祉実践学科浅井ゼミ（3年生）を対象に、フレイル予防推進員による講義・サロン見学会を実施した。

日程	内容	場所	人数
5/25	講義「日野市のフレイル予防活動」	明星大学浅井ゼミ室	9人
6/8	サロン「二水会」見学（交流）	第二武蔵野台地区センター	8人
6/15	サロン「アムール」見学（交流）	アムール	8人

	<p>4) 地域介護予防活動登録団体交流会</p> <table border="1" data-bbox="480 163 1430 327"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/20</td> <td>①日野市のフレイル予防活動の現状 ②サロン紹介 (動画鑑賞) ③情報交換 (グループ討議)</td> <td>中央福祉センター 集会室</td> <td>17 団体 27 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 介護予防活動団体へ活動状況に係るアンケート調査実施 配布部数 57 団体 回収部数 47 団体 回収率 82%</p> <p>6) 広く活動の周知や体操の普及による介護予防推進の支援 ①「ひの健幸貯筋体操」「おうちで、ひの筋 (zoom 版)」の紹介 ②登録団体の活動周知 (Hi know!にて活動団体紹介) 40団体</p> <p>7) ひの筋体操DVDの販売 販売実績: 28枚</p>	日程	内容	場所	人数	3/20	①日野市のフレイル予防活動の現状 ②サロン紹介 (動画鑑賞) ③情報交換 (グループ討議)	中央福祉センター 集会室	17 団体 27 人		
日程	内容	場所	人数								
3/20	①日野市のフレイル予防活動の現状 ②サロン紹介 (動画鑑賞) ③情報交換 (グループ討議)	中央福祉センター 集会室	17 団体 27 人								
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査から介護予防活動団体が少しずつ活動を始めているが、体操 (活動) がマンネリ化していること、フレイル予防の知識を教えて欲しいと感じている団体が多いことが分かった。</li> <li>・フレイル予防リーダーの活動の一環としてフレイル予防の情報提供やプログラムの企画を検討していく。</li> <li>・団体のニーズを聞きつつ従来のモニタリングと専門職の派遣を通じて団体が継続して活動できるように支援していく。</li> </ul>										
<p>内 容</p>	<p><b>2. フレイル予防リーダーの確保・育成</b></p>										
<p>実績報告</p>	<p>1) フレイル予防リーダー養成講座を企画・実施 (人材育成) フレイル予防の基礎的な知識を習得できる市民ボランティア「フレイル予防リーダー」養成講座を企画実施。 講座修了者: 9人</p> <table border="1" data-bbox="443 1182 1430 1776"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/8 (水)</td> <td>日野市のフレイル予防の現状と地域の持つ強みについて 登壇者 志村理恵 氏 (日野市高齢福祉課長) 相馬みゆき 氏 (地域包括支援センターすずらん) 伊東直樹 (フレイル予防推進員) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー)</td> </tr> <tr> <td>3/15 (水)</td> <td>栄養と食事・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏 (株ヘルシーネットワーク) 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ/看護師) 高瀬和枝 氏 (地域包括支援センターあいりん)</td> </tr> <tr> <td>3/22 (水)</td> <td>理学療法の観点からのフレイル予防ひの筋体操レクチャー 講師 本間義崇 氏 (老人保健施設ロベリア・理学療法士)</td> </tr> <tr> <td>3/29 (水)</td> <td>フレイル予防リーダーガイドブック・総まとめ 講師 日高美和子 (フレイル予防推進員)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※時間/会場は、いずれも13:30~16:00/中央福祉センター集会室</p> <p>2) フレイル予防リーダー養成講座修了者へのOJT (実践実習) フレイル予防情報に関わる公式LINEを通じた情報配信ならびに地域活動への参加 フレイル予防リーダーの参加状況 ①日老連主催体力測定会へ参加 7人 (6/17) ②ひの筋体力測定会へ参加 7人 (11/29)</p>	開催日	内容	3/8 (水)	日野市のフレイル予防の現状と地域の持つ強みについて 登壇者 志村理恵 氏 (日野市高齢福祉課長) 相馬みゆき 氏 (地域包括支援センターすずらん) 伊東直樹 (フレイル予防推進員) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー)	3/15 (水)	栄養と食事・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏 (株ヘルシーネットワーク) 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ/看護師) 高瀬和枝 氏 (地域包括支援センターあいりん)	3/22 (水)	理学療法の観点からのフレイル予防ひの筋体操レクチャー 講師 本間義崇 氏 (老人保健施設ロベリア・理学療法士)	3/29 (水)	フレイル予防リーダーガイドブック・総まとめ 講師 日高美和子 (フレイル予防推進員)
開催日	内容										
3/8 (水)	日野市のフレイル予防の現状と地域の持つ強みについて 登壇者 志村理恵 氏 (日野市高齢福祉課長) 相馬みゆき 氏 (地域包括支援センターすずらん) 伊東直樹 (フレイル予防推進員) 大屋祥子 氏 (フレイル予防リーダー)										
3/15 (水)	栄養と食事・認知症の正しい理解 講師 蒲祥子 氏 (株ヘルシーネットワーク) 辻澤美由紀 氏 (地域包括支援センターもぐさ/看護師) 高瀬和枝 氏 (地域包括支援センターあいりん)										
3/22 (水)	理学療法の観点からのフレイル予防ひの筋体操レクチャー 講師 本間義崇 氏 (老人保健施設ロベリア・理学療法士)										
3/29 (水)	フレイル予防リーダーガイドブック・総まとめ 講師 日高美和子 (フレイル予防推進員)										

	<p>③はつらつシニア健康チェック 延べ7人 (2/8, 2/16, 2/21, 2/28)</p> <p>④通いの場見学 (5か所) 延べ9人 (8/9, 10/4, 10/11, 10/25, 10/27)</p> <p>⑤おうちでひの筋の見学 2人 (4/19, 10/25)</p> <p>⑥フレイル予防リーダー交流会 延べ10人 (11/14, 1/17)</p>																						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の実践がないフレイル予防リーダーに対して、通いの場の見学や体力測定会、交流会等への参加の呼びかけを通じて、地域活動を知る機会づくりを行うことができた。また、こうした機会を通じてリーダー同士のコミュニケーションを深めることができ、地域活動への参加意欲の増進を図ることができたと考えている。</li> <li>・フレイル予防リーダー養成講座を検討するなかで、専門知識の習得のほか受講生同士のコミュニケーションを求める声や昨年度修了生より挙がりグループワークを講座に取り入れたことで受講生から好評を得られた。</li> </ul>																						
内 容	<b>3. オンライン型「ひの健幸貯筋体操」の実施・継続</b>																						
実績報告	<p>1) Zoom版ひの健幸貯筋体操「おうちでひの筋」の実施 コロナ禍でも、自宅で介護予防体操ができるようZoomを活用しひの健幸貯筋体操を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期間</th> <th>日時</th> <th>回数</th> <th>参加者 (延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第8弾</td> <td>4/12～6/21</td> <td rowspan="4">火曜 10時～ 11時15分</td> <td>全10回</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>第9弾</td> <td>7/12～9/20</td> <td>全10回</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>第10弾</td> <td>10/11～12/20</td> <td>全10回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>第11弾</td> <td>1/10～3/14</td> <td>全10回</td> <td>133人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) みんなでオンラインひの筋」の紹介 コロナ収束後を見据え、参加者が地区センターや集会場等の会場に集まって実施する「オンラインひの筋」を試験的に実施した。 八幡神社健幸貯筋体操 (8/2)</p>		期間	日時	回数	参加者 (延べ)	第8弾	4/12～6/21	火曜 10時～ 11時15分	全10回	147人	第9弾	7/12～9/20	全10回	147人	第10弾	10/11～12/20	全10回	120人	第11弾	1/10～3/14	全10回	133人
	期間	日時	回数	参加者 (延べ)																			
第8弾	4/12～6/21	火曜 10時～ 11時15分	全10回	147人																			
第9弾	7/12～9/20		全10回	147人																			
第10弾	10/11～12/20		全10回	120人																			
第11弾	1/10～3/14		全10回	133人																			
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響が落ち着いて来たこともあり、おうちでひの筋の新規参加者数は微増となっている。以前からの参加者の参加率は高く満足度は高いことが窺える。新規の参加者を増やすためにモニタリング時や体力測定会などで広く周知していく。</li> <li>・参加者が地区センターや集会場等の会場に集まって実施する「オンラインひの筋」実施するためのオンライン環境があるところが少ないためすぐに広めるのは難しい。まずはオンライン環境がある場所の整理を行い、声掛けを進めていく。</li> </ul>																						

事業名	<b>障害者および高齢者団体等のバス借上補助</b>
事業形態	独自事業
財源内訳	会費、歳末たすけあい配分金
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	高齢者や障害者等外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修やボランティア活動等で借り上げたバス費用の一部を補助する。

内 容	<b>1. 助成金申請受付および交付</b>																															
実績報告	<p>障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助する制度。申請書に基づいた利用区分に応じ、優遇措置を設定している。</p> <p>1) 補助内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象団体</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> <th>交付回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者団体 ①</td> <td rowspan="2">補助対象経費の1/2</td> <td>上限30,000円</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>高齢者団体 ②</td> <td>リフト付きバス利用の場合、上限40,000円</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>市内地域団体 ③</td> <td rowspan="2">補助対象経費の1/4</td> <td>上限20,000円</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>その他の団体 ④</td> <td>リフト付きバス利用の場合、上限30,000円</td> <td>0回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 補助実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4年度</td> <td>交付件数</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>403,400円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年度</td> <td>交付件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>44,300円</td> </tr> </tbody> </table>	対象団体	補助率	限度額	交付回数	障害者団体 ①	補助対象経費の1/2	上限30,000円	6回	高齢者団体 ②	リフト付きバス利用の場合、上限40,000円	3回	市内地域団体 ③	補助対象経費の1/4	上限20,000円	1回	その他の団体 ④	リフト付きバス利用の場合、上限30,000円	0回	年度		合 計	4年度	交付件数	10件	補助額	403,400円	3年度	交付件数	2件	補助額	44,300円
	対象団体	補助率	限度額	交付回数																												
	障害者団体 ①	補助対象経費の1/2	上限30,000円	6回																												
	高齢者団体 ②		リフト付きバス利用の場合、上限40,000円	3回																												
市内地域団体 ③	補助対象経費の1/4	上限20,000円	1回																													
その他の団体 ④		リフト付きバス利用の場合、上限30,000円	0回																													
年度		合 計																														
4年度	交付件数	10件																														
	補助額	403,400円																														
3年度	交付件数	2件																														
	補助額	44,300円																														
事業効果・評価 方向性等	・コロナの影響が落ち着き、対象団体による借り上げバスを利用した研修や視察が増えたことにより、交付件数及び補助額ともに増加した。																															
内 容	<b>2. 広報周知</b>																															
実績報告	当会WEBサイトで周知。																															
事業効果・評価 方向性等	・4年度の実績を踏まえると5年度も借り上げバスによる研修等を行う団体が多くあることが見込めるため、効果的な事業周知を検討したい。																															

事業名	<b>みんなといっしょの運動会（障害者運動会）</b>
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）、受託事業（日野市）
財源内訳	寄附金、受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる
目 的	ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂：誰も排除されない、誰もが参画できる社会）の理念に基づき、誰もが楽しめる場を作ること。また、この場を通して、様々な団体や個人がつながりを作りを目的とする。
事業内容	<b>1. 障害者運動会の開催</b>
実績報告	<p>【日時】10月2日（日）14:00～16:45</p> <p>【場所】日野市市民の森ふれあいホール</p> <p>【参加者】95人</p> <p>【内容】新型コロナウイルス感染症対策として、各施設から代表者を選出、参加者を限定しボッチャ競技を行った。また、協力団体も競技に参加し、共に競技を楽しんだ。</p>
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、3年ぶりに対面での開催が出来た。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でイベント等が出来ていない施設利用者に機会を提供することが出来た。</li> <li>・これまで、協力団体は障害のある方への競技支援であったが、今回はポッチャ競技を行い一緒に楽しむことが出来た。</li> </ul>
--	--

事業名	<b>日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）</b>																																																																																								
事業形態	受託事業（日野市）																																																																																								
財源内訳	受託金																																																																																								
担当係	総務係																																																																																								
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																																																																								
目的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。																																																																																								
内容	<p><b>1. 相談窓口の設置</b></p> <p>相談業務はNPO法人東京オレンヂが担い、下記のとおり実施した。</p> <p>1) 日時 毎週木曜日 13:00~/14:00~/15:00~/16:00~(各1時間)</p> <p>2) 場所 日野市役所内会議室等</p> <p>3) 相談実績 ( )は昨年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">相談者数</th> <th colspan="4">相談者内訳（重複あり）</th> </tr> <tr> <th>高齢</th> <th>障害</th> <th>低所得生保</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>10 (11)</td><td>5 (7)</td><td>3 (1)</td><td>6 (7)</td><td>0 (1)</td></tr> <tr><td>5月</td><td>5 (6)</td><td>2 (3)</td><td>1 (3)</td><td>3 (6)</td><td>2 (0)</td></tr> <tr><td>6月</td><td>12 (8)</td><td>7 (1)</td><td>1 (2)</td><td>9 (6)</td><td>1 (2)</td></tr> <tr><td>7月</td><td>4 (6)</td><td>2 (3)</td><td>1 (3)</td><td>2 (2)</td><td>0 (2)</td></tr> <tr><td>8月</td><td>8 (3)</td><td>3 (2)</td><td>1 (1)</td><td>4 (2)</td><td>5 (0)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>11 (9)</td><td>10 (6)</td><td>0 (0)</td><td>7 (6)</td><td>1 (0)</td></tr> <tr><td>10月</td><td>10 (9)</td><td>5 (6)</td><td>2 (5)</td><td>5 (6)</td><td>1 (0)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>7 (6)</td><td>3 (2)</td><td>2 (2)</td><td>3 (4)</td><td>1 (1)</td></tr> <tr><td>12月</td><td>11 (6)</td><td>5 (2)</td><td>0 (1)</td><td>4 (3)</td><td>1 (2)</td></tr> <tr><td>1月</td><td>11 (12)</td><td>7 (6)</td><td>0 (1)</td><td>5 (9)</td><td>0 (1)</td></tr> <tr><td>2月</td><td>8 (7)</td><td>5 (4)</td><td>0 (1)</td><td>3 (3)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>3月</td><td>13 (10)</td><td>9 (5)</td><td>2 (3)</td><td>7 (5)</td><td>3 (2)</td></tr> <tr><td>合計</td><td>110 (93)</td><td>63 (48)</td><td>13 (27)</td><td>58 (62)</td><td>15 (11)</td></tr> </tbody> </table> <p>※その他 ひとり親世帯、DV被害、外国人等  ※電話相談 4年度 17人</p> <p>4) 転宅実績 79人（事業開始平成30年6月7日から）</p>		相談者数	相談者内訳（重複あり）				高齢	障害	低所得生保	その他	4月	10 (11)	5 (7)	3 (1)	6 (7)	0 (1)	5月	5 (6)	2 (3)	1 (3)	3 (6)	2 (0)	6月	12 (8)	7 (1)	1 (2)	9 (6)	1 (2)	7月	4 (6)	2 (3)	1 (3)	2 (2)	0 (2)	8月	8 (3)	3 (2)	1 (1)	4 (2)	5 (0)	9月	11 (9)	10 (6)	0 (0)	7 (6)	1 (0)	10月	10 (9)	5 (6)	2 (5)	5 (6)	1 (0)	11月	7 (6)	3 (2)	2 (2)	3 (4)	1 (1)	12月	11 (6)	5 (2)	0 (1)	4 (3)	1 (2)	1月	11 (12)	7 (6)	0 (1)	5 (9)	0 (1)	2月	8 (7)	5 (4)	0 (1)	3 (3)	0 (0)	3月	13 (10)	9 (5)	2 (3)	7 (5)	3 (2)	合計	110 (93)	63 (48)	13 (27)	58 (62)	15 (11)
	相談者数			相談者内訳（重複あり）																																																																																					
		高齢	障害	低所得生保	その他																																																																																				
4月	10 (11)	5 (7)	3 (1)	6 (7)	0 (1)																																																																																				
5月	5 (6)	2 (3)	1 (3)	3 (6)	2 (0)																																																																																				
6月	12 (8)	7 (1)	1 (2)	9 (6)	1 (2)																																																																																				
7月	4 (6)	2 (3)	1 (3)	2 (2)	0 (2)																																																																																				
8月	8 (3)	3 (2)	1 (1)	4 (2)	5 (0)																																																																																				
9月	11 (9)	10 (6)	0 (0)	7 (6)	1 (0)																																																																																				
10月	10 (9)	5 (6)	2 (5)	5 (6)	1 (0)																																																																																				
11月	7 (6)	3 (2)	2 (2)	3 (4)	1 (1)																																																																																				
12月	11 (6)	5 (2)	0 (1)	4 (3)	1 (2)																																																																																				
1月	11 (12)	7 (6)	0 (1)	5 (9)	0 (1)																																																																																				
2月	8 (7)	5 (4)	0 (1)	3 (3)	0 (0)																																																																																				
3月	13 (10)	9 (5)	2 (3)	7 (5)	3 (2)																																																																																				
合計	110 (93)	63 (48)	13 (27)	58 (62)	15 (11)																																																																																				
実績報告																																																																																									
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者は65歳以上の高齢者が最も多く、収入面では低所得もしくは生活保護受給者、世帯状況は单身の方が多かった。ケースワーカーやケアマネ</li> </ul>																																																																																								

	<p>ジャーといった支援者から相談を受けるケースが多く、住宅確保要配慮者に特化した窓口として認識されてきたと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員が話を伺う中で気になる相談者がいた場合、必要に応じて相談者の自宅を訪問し世帯状況等の確認を行った。相談者が安心して日野市に住み続けられるように努めている。</li> <li>・空き部屋対策を考えている大家からの相談も受付可能としていることから、相談者のうち大家からの相談が3件あった。</li> </ul>
内 容	<b>2. 関係機関との連携</b>
実績報告	<p>1) 日野市居住支援協議会 2回 (6/17, 2/10)</p> <p>2) 定例会 3回 (8/4, 12/1, 3/30) 月例報告、相談者への支援方法、相談窓口と関係機関との連携方法等を話し合うための定例会に出席した。</p> <p>3) 不動産協力店との意見交換会 1回 (8/26)</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会では、相談員が気になるケースを日野市関係部署と共有し対応策について検討した。相談者が日野市で安心して生活し続けるために何が必要か意見交換を行った。今後も定期的に続けていきたい。</li> <li>・転宅後の支援が必要な方に対して地域包括支援センター、不動産協力店等と情報共有をし支援にあたっている。今後、単身高齢者の転宅が増えていくことが考えられ、関係機関との連携がますます求められていくことが考えられる。</li> </ul>
内 容	<b>3. 広報・周知</b>
実績報告	<p>1) 日野精神障害者家族会 日野いずみ会 会報へ寄稿</p> <p>2) 日野市地域包括支援センター新任職員研修にて事業周知</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な広報活動は行わなかったが、当事者や支援者同士で情報交換が行われており、口コミで本窓口が周知されていると感じている。</li> </ul>

事業名	<b>日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	生活困窮世帯等で、家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子供を対象とし、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援業務を行い、貧困の連鎖を食い止め困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。
内 容	<b>1. 利用者支援および状況把握</b>
実績報告	<p>「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業で主な学区は七生中学校と平山中学校としている。</p> <p>1) 事業内容 子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」、生活保護のケースワーカー等から日野市セーフティネットコールセンター</p>

に推薦された家庭の子どもを対象に、居場所や学習の支援を実施。  
 日時 毎週月・木 16:30~20:00  
 定員 25人 (小学生・高校生：居場所支援/中学：学習支援)  
 夕食：1食300円 帰り：車による送迎・保護者によるお迎え

2) 利用者数※体験利用含む (3月末現在)

利用者数	内訳 (体験利用)	支援	備考
20人	小学生 12人 (1人)	居場所	ひとり親家庭・発達障害・自閉症・ネグレクト ほか
	中学生 5人	学習	
	高校生 3人	居場所	

3) 職員体制

職務	人数	備考
管理者	1人	地域支援係長
会場責任者	3人	地域支援係 (各日：1人)
学習支援コーディネーター	1人	
居場所指導員	1人	
学習・居場所サポーター	7人	交代勤務 (各日：3~4人)
調理員	3人	月曜：2人/木曜：1人
運転協力者	2人	月・木曜 (各日：1人)

4) 開所日・利用者数 (延べ人数)

	4年度	3年度
①開所日数	93日	94日
②利用者数	953人	579人
③平均利用者数	10.25人	6.16人

5) 職員・スタッフ向け研修

【テーマ】日野市の虐待の現状及びほっともで期待される支援について  
 【日時】 8/15 (月) 13:15~15:00  
 【会場】 日野市立子ども家庭支援センター 地域活動室  
 【講師】 子ども家庭支援センター相談員  
 日野市発達・教育支援センター「エール」SSW  
 【参加数】11人

6) 余暇活動・イベント事業

- ①誕生月会 (該当月)
- ②お菓子 (フルーチェ) づくり (5/19)
- ③科学実験教室「手作り万華鏡づくり (8/18)
- ④ハロウィンパーティ (10/20)
- ⑤秋のバスハイク「高尾DE遊ぼう (10/30)
- ⑥クリスマス会 (12/22)
- ⑦SDGsバザー (1/19・1/23)
- ※運営協力 「地域のキッチンおひさま食堂」 (2/23, 3/21)

7) 施設見学者

東京飛火野ロータークラブ (4/14) ・市議会議員 (8/1, 8/18, 10/17)  
 NPO 法人子どもへのまなざし (9/15) ・日野市児童委員 (10/5)  
 日野市副市長及び教育長 (1/30)

内 容	<b>2. 関係機関との連携・情報共有</b>
実績報告	<p>1) 日野市中卒後の支援検討委員会 (9/29) 日野市中卒後の広報部会 (5/27, 7/26)</p> <p>2) 日野市発達・教育支援センター「エール」SSW との話し合い (5/16, 10/27)</p> <p>3) 日野市地域子ども家庭支援ネットワーク会議 七生中学校 (6/14, 1/13) 平山中学校 (7/8)</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍であったができる範囲で感染対策を講じたうえで、通常運営し、延べ利用者数が昨年度に比べ倍増した。</li> <li>・利用する子どもは、子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」からの推薦（養育に不安のある家庭）となっている。</li> <li>・南平独自でのスタッフ向け研修会は初実施となった。利用者の情報共有をはじめ子ども家庭支援センターや日野市発達・教育支援センター「エール」の役割、コロナ禍における子どもの虐待の現状等を確認した。参加者からは、「ほっともの役割を客観的に知ることができた。」「子どもが置かれている家庭環境の確認ができ、改めて見守り支援の重要性を考えていきたい。」といった意見が寄せられ、子どもへの支援に対するモチベーションアップへとつなげることができたと考えている。</li> <li>・余暇活動として、東京飛火野ロータリークラブの協力を得て「秋のバスハイク高尾 DE 遊ぼう」を実施した。野外活動（薪割りやBBQ）を通じて、普段では見せない子ども達の表情を見ることができ、また子どもとスタッフとのコミュニケーションを深めることができた。</li> <li>・ゲーム依存や虐待、発達障害等の要因による不登校や引きこもりの相談が増えている。外出機会の提供や社会性を高めていく支援がほっともで期待される役割となっている。</li> <li>・「無関心（ネグレクト傾向）」や「（仕事等の事情で）子どもと関わる時間が少ない」にある家庭について、支援の難しさを感じている。</li> <li>・ほっとも南平の施設を開放し、「地域のキッチン！おひさま食堂（令和5年2月～）の協力を行った。ほっともの子どもと保護者を中心に声を掛けたところ、好評を得ることができた。4月以降も協働していく予定である。</li> <li>・フードバンク TAMA からの支援は運営面における大きな力となっている。</li> </ul>

事業名	<b>視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。
内 容	<b>1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成</b>
実績報告	<p>日野市に登録した視覚障害のある方へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。</p> <p>業務委託：朗読サークルひの 委託元：市長公室</p>



	<p>1) 業務内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数</th> <th>内容内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>16回</td> <td>通常12回 (5/1, 6/1, 7/1, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1) 臨時2回 (4/16, 12/16) ごみ情報誌エコー (前期・後期)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>22回</td> <td>通常16回 (4/15, 5/1, 5/15, 6/1, 6/15, 7/1, 7/15, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1, 4/1) 臨時6回 (4/23, 7/1, 7/1, 10/19, 12/22, 1/19) ごみ情報誌エコー (前期・後期)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 利用者 16人</p>		発行回数	内容内訳	4年度	16回	通常12回 (5/1, 6/1, 7/1, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1) 臨時2回 (4/16, 12/16) ごみ情報誌エコー (前期・後期)	3年度	22回	通常16回 (4/15, 5/1, 5/15, 6/1, 6/15, 7/1, 7/15, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1, 4/1) 臨時6回 (4/23, 7/1, 7/1, 10/19, 12/22, 1/19) ごみ情報誌エコー (前期・後期)
	発行回数	内容内訳								
4年度	16回	通常12回 (5/1, 6/1, 7/1, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1) 臨時2回 (4/16, 12/16) ごみ情報誌エコー (前期・後期)								
3年度	22回	通常16回 (4/15, 5/1, 5/15, 6/1, 6/15, 7/1, 7/15, 8/1, 9/1, 10/1, 11/1, 12/1, 1/1, 2/1, 3/1, 4/1) 臨時6回 (4/23, 7/1, 7/1, 10/19, 12/22, 1/19) ごみ情報誌エコー (前期・後期)								
内容	<b>2. 朗読（デジ）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）</b>									
実績報告	<p>「ひの市議会だより」音訳版の作成 委託元：議会事務局</p> <p>1) 業務内容（利用者数は、広報ひのと同じ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数（発行日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>4回 (6/1, 9/1, 12/1, 3/1)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>4回 (5/15, 9/1, 12/1, 2/1)</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数（発行日）	4年度	4回 (6/1, 9/1, 12/1, 3/1)	3年度	4回 (5/15, 9/1, 12/1, 2/1)			
	発行回数（発行日）									
4年度	4回 (6/1, 9/1, 12/1, 3/1)									
3年度	4回 (5/15, 9/1, 12/1, 2/1)									
内容	<b>3. 朗読版「選挙公報」の作成</b>									
実績報告	<p>「選挙公報」音訳版の作成 委託元：選挙管理委員会事務局</p> <p>1) 業務実績（利用者数は、広報ひのと同じ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数（発行日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>1回 (参議院議員選挙6/22)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>2回 (市長選挙・市議会議員補欠選挙4/18)</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数（発行日）	4年度	1回 (参議院議員選挙6/22)	3年度	2回 (市長選挙・市議会議員補欠選挙4/18)			
	発行回数（発行日）									
4年度	1回 (参議院議員選挙6/22)									
3年度	2回 (市長選挙・市議会議員補欠選挙4/18)									
内容	<b>4. 朗読版「新型コロナウイルスワクチンNEWS」の作成</b>									
実績報告	<p>「新型コロナウイルスワクチンNEWS」音訳版の作成 委託元：健康課</p> <p>1) 業務実績（利用者数は、広報ひのと同じ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数（発行日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>10回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 10/3, 11/1, 12/1, 1/1)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>12回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 1/1, 1/19, 2/1, 2/18, 3/1, 3/17)</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数（発行日）	4年度	10回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 10/3, 11/1, 12/1, 1/1)	3年度	12回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 1/1, 1/19, 2/1, 2/18, 3/1, 3/17)			
	発行回数（発行日）									
4年度	10回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 10/3, 11/1, 12/1, 1/1)									
3年度	12回 (4/15, 5/1, 5/25, 6/22, 8/1, 9/1, 1/1, 1/19, 2/1, 2/18, 3/1, 3/17)									
内容	<b>5. 朗読（デジ）版「暮らしの便利帳2023」の作成</b>									
実績報告	<p>「暮らしの便利帳2023」音訳版の作成 委託元：市長公室</p> <p>1) 業務実績（登録者数は、広報ひのと同じ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>発行回数（発行月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>1回 (1月)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>なし ※2年に1回発行</td> </tr> </tbody> </table>		発行回数（発行月）	4年度	1回 (1月)	3年度	なし ※2年に1回発行			
	発行回数（発行月）									
4年度	1回 (1月)									
3年度	なし ※2年に1回発行									
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で3年度は発行日が不定期であった「広報ひの」は、4年度に月1回の定期発行に戻り作成スケジュールの調整は改善した。一方、ページ数の増加により音訳・編集作業に関わる業務量が増加した。</li> <li>・臨時号や選挙公報等は不定期のため音訳・編集作業を行うスケジュール管理や会場確保の負担が増えている。</li> </ul>									

事業名	ICT（情報通信技術）を活用したシニア支援事業			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	地域支援係			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ			
目的	コロナ禍で急速に進むスマートフォン等の活用に高齢者が対応できるよう地域やテーマ、レベルに合わせた「スマートフォン講座」を開催し、ICT（情報通信技術）を活用した高齢者福祉の向上を目指す。			
内容	<b>1. 「スマートフォン講座」の開催</b> 1) 「はじめてのスマホ講座」（業務委託：地域包括支援センター） 内容：「はじめてのスマホ講座（文字入力・マップ・カメラ・LINE）などを地域包括支援センターに業務委託。地域包括支援センターでは会場確保や高齢者へ広報周知、本会では講師派遣を行う。			
実績報告	圏域	地域包括支援センター	開催日	参加数のべ
	ひの	せせらぎ	5/26, 6/2, 7/4, 7/11	40人
		多摩川苑	6/14, 6/28, 7/22, 3/8	36人
	とよだ	あいりん	1/19, 2/16, 2/18, 3/30	37人
		すてっぷ	7/15, 10/11, 11/1, 3/30	28人
	ひらやま	すずらん	7/20, 7/27, 2/13, 2/27	44人
		いきいきタウン	6/1, 6/15, 10/12, 10/26	37人
		かわきた	7/15, 9/2, 9/9, 11/22	35人
	たかはた	あさかわ	6/13, 10/14, 10/24, 10/31	51人
		もぐさ	10/25, 1/20, 1/27, 3/20	32人
合計			340人	
地域包括支援センター公式LINE友達登録数（今年度目標150人）				
圏域	地域包括支援センター	登録数		
ひの	せせらぎ	122人		
	多摩川苑	123人		
とよだ	あいりん	102人		
	すてっぷ	159人		
ひらやま	すずらん	98人		
	いきいきタウン	110人		
	かわきた	113人		
たかはた	あさかわ	185人		
	もぐさ	145人		
2) サロン団体等主催でのスマホ講座 内容：「はじめてのスマホ講座」、「個別相談形式」に加えて「フレイル予防アプリ」やネットスーパーの使い方等の主催団体の要望に適した講座を実施。				

	主催・団体名	内容	開催日	人数
	南平ふれあいサロン	フレイル予防アプリ ネットスーパーの使い方	5/20, 5/27	6人
	おしゃべりカフェ	個別相談会	5/27	9人
	日老連	個別相談会	6/17	5人
	鹿島台自治会	基本講座	6/29	6人
	包括職員向け	公式LINEの使い方	7/21	9人
	新坂下自治会	フレイル予防アプリ 個別相談会	7/22, 7/29	12人
	ひまわり	フレイル予防アプリ 個別相談会	8/5, 8/26, 9/28	20人
	この街ハ坂サロン	フレイル予防アプリ 個別相談会	8/8, 8/29	13人
	縁がわ	基本講座	8/23	10人
	健幸サロン	フレイル予防アプリ 個別相談会	8/25, 9/8	13人
	アムール	ネットスーパーの使い方	9/20, 9/27	11人
	ふれあいサロン 万願荘	基本講座・個別相談会	10/6, 10/20	16人
	縁がわ	ネットスーパーの使い方	10/25	7人
	ひだまり	個別相談会	11/11, 11/15 2/28	25人
	落川元気会	個別相談会	11/22, 11/30	11人
	鹿島台自治会	ペイペイ・LINEの使い方	11/29	7人
	ゆざわここからネット	ペイペイ・LINE・ネットス ーパーの使い方	12/6, 12/15	17人
	平山苑ネットワーク	個別相談会	1/25	9人
	ソレイユ	個別相談会	2/3, 2/17	16人
	ファミリー高幡不動 自治会	LINEの設定の仕方	3/3	6人
	富士見自治会	個別相談会	3/2	8人
	ぷらっと南平	個別相談会	3/10	8人
	合計		36回	262人
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センター主催のスマホ講座では基本講座に加えて参加者の理解力に合わせて個別相談方式を実施することで満足度が高い講座を実施できた。</li> <li>・サロン団体等主催のスマホ講座ではただスマホの使い方を伝えるだけでなくフレイル予防アプリやネットスーパーの使い方といった生活により直結するテーマで実施できた。</li> <li>・公式LINE登録数は目標未達成なものの、定期的にイベントの情報発信等で各包括が活用できている。</li> <li>・前年度に引き続きボランティアセンターが養成したスマホお助け隊と連携をしながらスマホ講座を進められている。</li> </ul>			

# 在宅福祉事業

事業名	<b>在宅高齢者ケアサービス事業</b>				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	参加費、利用料、補助金、繰越金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等の活動や体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで、市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。				
内容	<b>1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援</b>				
実績報告	1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型（A・B）も含めた複合的な相談に対応している。				
	2) 活動実績 新型コロナウイルスの感染が続く中、拡大防止のため、日野市とも協議した上で利用会員への必要な支援は継続しながら活動を続けた。				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	月平均利用者数	会員数	月平均活動者数
	4年度	413人	135人	129人	50人
	3年度	474人	145人	135人	55人
	※月平均は小数点以下四捨五入。				
	②延べ利用時間と延べ利用件数				
		利用時間		利用件数	
4年度	7,820.5時間		5,591件		
3年度	7,869.5時間		5,661件		
③サービス内容					
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	
4年度	1,735件	156件	169件	157件	
3年度	1,744件	132件	208件	210件	
3) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた活動 ケアサービスの活動をするにあたり、利用会員および協力会員一人ひとりに感染症予防のために活動前の検温、マスク着用などの咳エチケット、こまめな手洗い、3密回避など、会員相互の協力による予防策を取った。					
事業効果・評価方向性等	・引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、会員の安全を最優先した対応を行った。介護保険事業と異なり、国や都からの支援は受けられない				

	<p>中ではあったが、会員やその家族、ケアマネジャーなど支援者、日野市の協力により事業継続した。</p> <p>・今年度も感染が続く中、事業そのものの停滞が続いた。</p>									
内 容	<b>2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援</b>									
実績報告	<p>1) 感染予防のための物品提供 活動中の食事のしたく、外出付添など利用会員との対人間隔を取ることが困難な活動を行う協力会員向けに、予防対策としてマスクやゴム手袋などの物品提供を行った。</p> <p>2) 協力会員意見交換会の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/3</td> <td>多摩平の森ふれあい館</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>3/6</td> <td>福祉支援センター</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者	3/3	多摩平の森ふれあい館	8人	3/6	福祉支援センター	8人
開催日	会場	参加者								
3/3	多摩平の森ふれあい館	8人								
3/6	福祉支援センター	8人								
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの感染が続く中、不安の声は協力会員からもあったが、ほとんどの協力会員が活動を行ってくれた。									
内 容	<b>3. 会員募集の強化</b>									
実績報告	ひの社協だより及び広報ひの、チラシ等を活用して新規の協力会員募集のための事業説明会を地域支援係と合同開催したが参加者がほとんどいなかった。									
事業効果・評価 方向性等	・たかはた、ひの圏域で活動できる協力会員が不足しているため、次年度に向けて特に募集を行うこととした。									
内 容	<b>4. 地域での支えあいの仕組みづくり</b>									
実績報告	<p>1) クラブ活動 協力会員と利用会員の希望者が行っている自主的な活動。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度上半期はほとんどのクラブが活動休止していたが、一部のクラブが再開し始めた。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>女性限定麻雀クラブ</td> <td>毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。9月から再開。</td> </tr> <tr> <td>将棋クラブ</td> <td>定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。</td> </tr> <tr> <td>英会話クラブ</td> <td>仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。</td> </tr> <tr> <td>料理クラブ</td> <td>参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者とメニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。9月から再開。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) おしゃべりサロン 利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としての活動。はつらつ体操終了後に開催したが、今年度は半分程度しか開催できなかった。</p>	女性限定麻雀クラブ	毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。9月から再開。	将棋クラブ	定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。	英会話クラブ	仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。	料理クラブ	参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者とメニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。9月から再開。	
女性限定麻雀クラブ	毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。9月から再開。									
将棋クラブ	定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設けて活動。駒を並べるところからお互いに教え合いながら活動。活動休止。									
英会話クラブ	仕事での経験を活かしてとの申し出のあった利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会。活動休止。									
料理クラブ	参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者とメニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場。9月から再開。									

	開催日	内容		参加者																																	
	5/27	スマホ講座①		9人																																	
	6/24	スマホ講座②		9人																																	
	7/22	足指力測定		13人																																	
	9/30	日野市の防災について		12人																																	
	12/16	犯罪被害に逢わないために		12人																																	
	1/27	映画会		12人																																	
	<p>3) はつらつ体操 毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）を開催。 講師：木村明美 氏（介護予防指導士）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/23</td> <td>12人</td> <td>5/27</td> <td>11人</td> <td>6/24</td> <td>12人</td> <td>7/22</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>8/26</td> <td>9人</td> <td>9/30</td> <td>13人</td> <td>10/28</td> <td>11人</td> <td>11/25</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>12/16</td> <td>10人</td> <td>1/27</td> <td>16人</td> <td>2/24</td> <td>12人</td> <td>3/17</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 会報誌「ねっとわーく」の発行 4月・5月・7月・9月・11月・1月・2月の各月に約630部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員および利用会員の暮らしや活動の充実を促した。</p>						開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	4/23	12人	5/27	11人	6/24	12人	7/22	13人	8/26	9人	9/30	13人	10/28	11人	11/25	10人	12/16	10人	1/27	16人	2/24	12人	3/17
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																														
4/23	12人	5/27	11人	6/24	12人	7/22	13人																														
8/26	9人	9/30	13人	10/28	11人	11/25	10人																														
12/16	10人	1/27	16人	2/24	12人	3/17	13人																														
事業効果・評価 方向性等	<p>・新型コロナウイルスの感染が続いたため、ほとんどの自主クラブの活動は休止ではあったが、おしゃべりサロンやはつらつ体操は感染症予防対策を取りながら徐々に開催した。参加した会員からは久しぶりの交流や身体を動かす機会を喜ぶ声が聞かれた。</p>																																				

事業名	<b>第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスA）</b>				
事業形態	介護保険事業（日野市）				
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる				
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。				
内容	<b>1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助</b>				
実績報告	平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除食事づくり等の生活援助を行う。				
	1) 実績				
		利用者数	利用時間	新規契約	終了（解約）
	4年度	190	868	1	1
3年度	193	890	4	2	

	2) 利用登録者数・登録ヘルパー数									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用登録者数</th> <th>登録ヘルパー数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>18人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>18人</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table>		利用登録者数	登録ヘルパー数	4年度	18人	21人	3年度	18人	24人
	利用登録者数	登録ヘルパー数								
4年度	18人	21人								
3年度	18人	24人								
事業効果・評価 方向性等	・事業開始以前に想定していた5,6人という利用者数の倍以上の人数で推移している。利用者数は10数名で安定している。									
内 容	<b>2. 日常生活圏域ごとの相談員配置</b>									
実績報告	日野市介護保険事業計画における4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）ごとに地域担当相談員（職員）を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、関係機関等との調整を行う。									
事業効果・評価 方向性等	・新型コロナウイルスの感染が続く中、ヘルパーが検温や手洗い、マスク着用を徹底するとともに、利用者にもサービス提供前の検温や咳エチケット等を依頼して感染防止対策を行った。									
内 容	<b>3. 登録ヘルパー向け研修の提供</b>									
実績報告	・登録ヘルパーを対象とした資質向上を目的とする研修を、ケアサービス協力会員研修や福祉人材育成研修等の実施に併せて案内を行った。									
事業効果・評価 方向性等	・参加者は少ないが、今後も引き続き案内、実施する予定。									
内 容	<b>4. 登録ヘルパー募集説明会等による人材確保</b>									
実績報告	・生活援助型スタッフ研修修了者への仕事相談会やケアサービス事業説明会の時に随時案内をした。									
事業効果・評価 方向性等	・今年度は登録ヘルパー数は充足していたが、引き続き案内をする予定。									

事業名	<b>第1号訪問事業生活援助型（訪問型サービスB）（新規）</b>
事業形態	介護保険事業（日野市）
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	孤立しがちな高齢者が地域の中で安心していきいきと暮らせるよう、一人暮らし高齢者等のちょっとした困りごとへの支援を通じて、必要に応じて福祉サービスや支援機関につなげることを目的とする。
内 容	<b>1. 事業対象者への生活援助</b>
実績報告	<p>1) 対象者 市内に住所を有し、次の各号のいずれかの要件を満たす者</p> <p>①おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯</p> <p>②その他、会長が特に必要と認める者</p> <p>2) 内容 あらかじめ登録した活動協力者による専門技術を必要としない概ね30分以内で終了する継続性のない作業 （電池や電球等の交換、ごみ出し（粗大ごみ）、廃棄物の整理等）</p>

	<p>3) サービス概要</p> <p>①サービス提供時間 月曜日から金曜日の8:30から17:00(国民の祝日、年末年始を除く。)</p> <p>②利用料 1回につき500円(概ね30分以内)</p> <p>③サービス開始日 令和4年6月1日</p> <p>4) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動件数</th> <th>利用者数</th> <th>利用時間</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>22</td> <td>13</td> <td>23</td> <td>電球交換、買物代行、古紙廃棄等</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 活動協力者数 8人</p>		活動件数	利用者数	利用時間	活動内容	4年度	22	13	23	電球交換、買物代行、古紙廃棄等
	活動件数	利用者数	利用時間	活動内容							
4年度	22	13	23	電球交換、買物代行、古紙廃棄等							
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野市生活支援体制整備事業(地域支援係担当)の中で、その他市内の団体と連携し市内の空白地帯が無いよう、また日野市等から依頼があれば対応できるように実施しているが、職員が直接対応することもあった。</li> </ul>										
内 容	<b>2. 日常生活圏域ごとの相談員配置</b>										
実績報告	4つの日常生活圏域(ひの・たかはた・とよだ・ひらやま)ごとに地域担当相談員を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、他の互近所サービス団体や関係機関等との連携、調整を行った。										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアサービス、訪問A、高齢者食事宅配サービス等と相互に連動して相談、援助を実施している。</li> </ul>										
内 容	<b>3. 活動協力者募集説明会等による人材確保</b>										
実績報告	安定したサービス提供ができるよう、必要に応じて活動協力者の人材確保のための説明会等を開催。										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアサービス協力会員から活動協力者を募り事業を開始したが、引き続き活動協力者を確保していく。</li> </ul>										



事業名	<b>移送サービス（日野ハンディキャブ）事業</b>			
事業形態	補助事業（日野市）			
財源内訳	補助金、利用料			
担当係	地域支援係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	一人で公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。 また利用要件の適正化をはかり、運用する。			
内容	<b>1. 福祉車両による高齢者や障害者の移動・外出支援</b>			
実績報告	1) 保有車両			
	台数	形式	台数	内訳詳細
	8台	大型ワゴン車	2台	キャラバン・ハイエース
		普通車	3台	セレナ（車いすリフトあり1台・なし2台）
		軽自動車	3台	AZワゴン（車いす対応スロープ3台）
	2) 利用支援			
	①実績			
		利用登録者	利用件数	走行距離
	4年度	322人	2,220件	22,921Km
	3年度	321人	2,403件	24,876Km
②地区担当者による訪問				
利用希望者宅を訪問し、身体状況や自宅付近の確認と併せ、事業説明や利用手続きを行い、必要に応じて他サービスの紹介を行った。				
1) 高齢者等の在宅生活を支えるインフォーマルな活動の検討				
高齢者や障害者の在宅生活（移動支援）を支えるインフォーマルな活動の検討を行うため、関係会議で意見の提言・情報収集を行った。				
開催日	内容	参加		
8/4	福祉有償運送運営協議会	福祉有償運送実施団体、関係機関、市民委員、障害当事者ほか [事務局] 福祉政策課		
8/18	日野市の移動支援に関する情報交換	福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課・都市計画課・日野市社会福祉協議会ほか		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に続き、車両整備（購入）をするにあたり、24時間テレビチャリティ委員会へ申請手続きを行った。申請は通らなかったが今後も様々な助成団体等へ申請を行い、安全性の図れる車両の維持に努めていく。</li> <li>・新規登録時に80～90代の高齢者が増加しているとともに、50代等若い世代の難病等の利用希望者が増加傾向にある。</li> <li>・常時職員が事務所に待機することにより、利用者支援を行う運転協力者と情報共有を図り、スムーズな運行やより良い利用者支援につながった。</li> <li>・高齢者から障害者まで利用している本事業では、市内でも最大規模で運行し、利用者や福祉関係者から大きな支持を得ている一方、運転協力者の</li> </ul>			

	確保や福祉車両の適正な運営等をはじめとする諸課題の解消を図っていくことは急務であり、今後の事業のあり方について引き続き日野市の関係部署等と検討していく。																												
内 容	<b>2. 運転協力者の確保・育成</b>																												
実績報告	<p>1) ハンディキャブ車両の運転協力者を確保・育成 ひの社協だよりや説明会等を通じて、運転協力者の募集を行った。</p> <p>2) 運転協力者に対する継続的な研修</p> <p>①運転協力者数</p> <table border="1"> <tr> <td>4年度</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>18人</td> </tr> </table> <p>②運転協力を始める方を対象とした「福祉有償運送運転者講習会」 3人（職員・運転協力者）</p> <p>③運転協力者を対象とした「患者等搬送乗務員（基礎・再）講習」 （主催：東京防災救急協会 会場：麴町消防署） 利用者への緊急対応に備え、講習会に参加した。</p> <p>A 基礎講習 6人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/23, 24</td> <td>3人</td> <td>7/29, 30</td> <td>2人</td> <td>8/17, 18</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>B 再講習 5人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/24</td> <td>1人</td> <td>5/10</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>7/6</td> <td>1人</td> <td>12/12</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 運転協力者連絡会 12回（4/5, 5/10, 6/7, 7/5, 8/2, 9/5, 10/4, 11/1, 12/6, 1/10, 2/7, 3/7） 利用状況の情報共有のため毎月1回開催した。</p>	4年度	18人	3年度	18人	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	6/23, 24	3人	7/29, 30	2人	8/17, 18	1人	開催日	参加者	開催日	参加者	4/24	1人	5/10	2人	7/6	1人	12/12	1人
4年度	18人																												
3年度	18人																												
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																								
6/23, 24	3人	7/29, 30	2人	8/17, 18	1人																								
開催日	参加者	開催日	参加者																										
4/24	1人	5/10	2人																										
7/6	1人	12/12	1人																										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢による足元不安、障害による車いす介助等、ちょっとした介助・見守りを必要な利用者が増加していることを受け、運転協力者を対象とした介助講習を実施し、知識を増やす機会を作る。</li> <li>・高齢者や障害者等の移動困難者に対する社会参加・移動支援策の必要性が大きくなるなか、本事業への利用・期待も大きくなっている一方、高齢ドライバーの事故の多発や日野市の財政事情等の影響により、運転協力者の確保や事業運営（ランニングコスト）等で大きな課題を抱えているのが現状である。</li> </ul>																												

事業名	<b>移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援業務事業</b>	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	地域支援係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	移動困難高齢者の速やかな新型コロナウイルスワクチンの接種を促進するため、福祉車両を活用し大規模接種会場まで送迎・付き添いを行う。	
実績報告	1) 実施体制 日野市内社会福祉法人ネットワークへの協力要請	
	日程	法人名
	平日	(社福) 日野市社会福祉協議会（ハンディキャブ）
	第1・3土曜	(社福) 友遊の家
実績報告	第2・4土・日・祝日	(社福) マザアス
	2) 実績 8件（うち、介助者付き添い実績7件）	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、認知症や歩行困難など自分でワクチン接種ができない方の接種会場までの移動支援を、ハンディキャブの活用や社会福祉法人と協力し実施した。</li> <li>・利用者は想定より少なかったものの利用された方からは好評を得た。</li> </ul>	

事業名	<b>高齢者食事宅配サービス事業</b>		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	身体状況や疾病等により買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食弁当を提供し、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時は利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。		
内容	<b>1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供</b>		
実績報告	1) 新規申込者数		
		申込者数	内訳
	4年度	124人	ひとり暮らし：62件 高齢者世帯：48件 日中ひとり：9件 その他：5件
	3年度	118人	ひとり暮らし：67件 高齢者世帯：36件 日中ひとり：8件 その他：6件

内 容	<b>2. 利用者の見守り・安否確認の実施</b>																					
実績報告	<p>1) 配食事業者 4事業所（業務委託）            ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア            ※3年度は5事業所            ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア            ⑤豊かな里</p> <p>2) 配食実績</p> <table border="1" data-bbox="440 443 1307 840"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>配食数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>3,665人</td> <td>54,511食</td> <td>①17,661食 ②6,920食 ③3,149食 ④16,781食</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>3,932人</td> <td>58,547食</td> <td>①17,039食 ②7,779食 ③8,858食 ④17,154食 ⑤7,717食</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 安否確認</p> <table border="1" data-bbox="440 904 1307 1046"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応件数</th> <th>安否確認結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>299件</td> <td>無事296件・救急1件・その他2件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>142件</td> <td>無事140件・救急1件・その他1件</td> </tr> </tbody> </table>		利用者数	配食数	内訳	4年度	3,665人	54,511食	①17,661食 ②6,920食 ③3,149食 ④16,781食	3年度	3,932人	58,547食	①17,039食 ②7,779食 ③8,858食 ④17,154食 ⑤7,717食		対応件数	安否確認結果	4年度	299件	無事296件・救急1件・その他2件	3年度	142件	無事140件・救急1件・その他1件
	利用者数	配食数	内訳																			
4年度	3,665人	54,511食	①17,661食 ②6,920食 ③3,149食 ④16,781食																			
3年度	3,932人	58,547食	①17,039食 ②7,779食 ③8,858食 ④17,154食 ⑤7,717食																			
	対応件数	安否確認結果																				
4年度	299件	無事296件・救急1件・その他2件																				
3年度	142件	無事140件・救急1件・その他1件																				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食事業者の配達員による安否確認の結果、医療に繋がったケースが1件、亡くなっていたのを早期に発見できたケースが2件あった。</li> <li>・土日祝日は事業所からの電話を転送し、利用者不在時は緊急連絡先や地域包括支援センター、ケアマネ事業所等に連絡し、安否確認を行った。</li> </ul>																					
内 容	<b>3. 安定したサービス体制の確保</b>																					
実績報告	<p>1) 情報交換会 1回（2/9）            市・配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。</p> <p>2) 配食事業者調理施設訪問            ※令和4年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。</p> <p>3) 新型コロナウイルス感染拡大対策            配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。また、一部の配食事業者では廃棄できる容器での配食に切り替え、これを継続している。</p> <p>4) 燃料費等高騰への対応            燃料費、原料費等の高騰により事業者の安定したサービスの提供が危ぶまれる中、燃料高騰調整費という名目で今年度9月より3月まで委託費単価が50円アップしている。</p>																					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末で豊かな里が配食事業から撤退したため、利用者にアンケートを取り、4月以降のスムーズな実施に向けて他4事業所へ振替を行った。入院等で休止中の利用者を除く全利用者の振替が完了している。</li> </ul>																					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染拡大により1事業所が休止せざるを得なくなった期間があったが、他事業所と連携しスムーズに振替することが出来た。</li> <li>・委託単価を50円上げることでサービスの質を確保することが出来た。</li> </ul>
--	---

事業名	<b>産後家庭向け配食サービス事業</b>													
事業形態	受託事業（日野市）													
財源内訳	受託金													
担当係	在宅サービス係													
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる													
目的	産後の母親を対象に栄養管理した昼食弁当を提供することで健康を保持し、安定した新生児の育児支援を目指す。また、配達時は産後の母親の健康状態等の見守りを行う。													
内容	<b>1. 産後の母親への栄養管理した昼食の提供</b>													
実績報告	1) 新規申込者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>申込件数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>96件 131名</td> <td>申込時期 産前：27件 産後：69件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>100件 137名</td> <td>申込時期 産前：30件 産後：70件</td> </tr> </tbody> </table>						申込件数	内訳	4年度	96件 131名	申込時期 産前：27件 産後：69件	3年度	100件 137名	申込時期 産前：30件 産後：70件
	申込件数	内訳												
4年度	96件 131名	申込時期 産前：27件 産後：69件												
3年度	100件 137名	申込時期 産前：30件 産後：70件												
内容	<b>2. 利用者の見守り・安否確認の実施</b>													
実績報告	1) 配食事業者 4事業所（業務委託） ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア ※3年度は5事業所 ①マザアス ②夢ふうせん ③ベルハート・エール ④福祉カフェテリア ⑤豊かな里													
	2) 実績													
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数									
	4年度	253人	2,174食	①501食 ②296食 ③1,091食 ④286食	0件									
	3年度	205人	2,124食	①42食 ②0食 ③126食 ④1,674食 ⑤282食	0件									
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回契約のための訪問時や利用延長相談時に利用者より聞き取りをし、体調や生活状況等気になることがある場合は子ども家庭支援センターと情報を共有した。</li> </ul>													

内 容	3. 安定したサービス体制の確保												
実績報告	<p>1) 情報交換会 1回 (2/9) 市・配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。</p> <p>2) 配食事業者調理施設訪問 コロナウイルス感染症の影響により未実施</p> <p>3) 新型コロナウイルス感染拡大対策 配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。また、一部の配食事業者では廃棄できる容器での配食に切り替え、これを継続している。</p> <p>4) 産前産後弁当宅配事業連絡会 メディア等で取り上げられた影響で同様の事業を行っている他団体(狭山市 comono、津山市 HELLO BABY プロジェクト)や他自治体(鎌倉市)より連絡があり、4年(2022年)7月より「産前産後弁当宅配事業者交流会」を発足し、定期的に情報交換を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="480 781 1426 1402"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>7/14</td> <td>①現在行っている(産前)産後弁当宅配事業について ②抱えている課題について ③「全国産前産後弁当宅配事業連絡会(仮)」の立ち上げについて</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10/27</td> <td>①弁当宅配の適正な期間について ②利用者層の内訳について(どのような家庭が利用しているのか) ③虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>1/26</td> <td>①虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか(第2回の続き) ②狭山市 comono の取り組み(助産師が配達に同行する)紹介 ③出産・子育て応援交付金の実施について ④現在抱えている課題について共有</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 利用者へアンケートの実施 配食利用終了時に利用者へアンケートを実施している。概ね高評価をいただいている。</p>		開催日	内容	第1回	7/14	①現在行っている(産前)産後弁当宅配事業について ②抱えている課題について ③「全国産前産後弁当宅配事業連絡会(仮)」の立ち上げについて	第2回	10/27	①弁当宅配の適正な期間について ②利用者層の内訳について(どのような家庭が利用しているのか) ③虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか	第3回	1/26	①虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか(第2回の続き) ②狭山市 comono の取り組み(助産師が配達に同行する)紹介 ③出産・子育て応援交付金の実施について ④現在抱えている課題について共有
	開催日	内容											
第1回	7/14	①現在行っている(産前)産後弁当宅配事業について ②抱えている課題について ③「全国産前産後弁当宅配事業連絡会(仮)」の立ち上げについて											
第2回	10/27	①弁当宅配の適正な期間について ②利用者層の内訳について(どのような家庭が利用しているのか) ③虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか											
第3回	1/26	①虐待防止の観点から、助産師や専門機関とどのように連携をとっているのか(第2回の続き) ②狭山市 comono の取り組み(助産師が配達に同行する)紹介 ③出産・子育て応援交付金の実施について ④現在抱えている課題について共有											
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同事業を行っている他団体や自治体との定期的な情報交換により、様々な取り組みを知ることが出来た。今後日野市でも活用できる取り組みがあれば参考にしていく。</li> <li>・アンケートでは概ね高評価をいただいているが指摘いただいた点もあり、アンケートや事業所からの意見を参考にもっと利用者にとって使いやすい事業になるよう検討していく。</li> </ul>												

事業名	<b>車椅子貸出事業</b>							
事業形態	独自事業							
財源内訳	利用料							
担当係	総務係							
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる							
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。							
内容	<b>1. 利用状況の把握、在庫管理</b>							
実績報告	1) 貸出実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>229件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>164件</td> </tr> </tbody> </table>			貸出件数	4年度	229件	3年度	164件
	貸出件数							
4年度	229件							
3年度	164件							
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出件数がコロナ禍以前の水準となった。令和5年3月13日からマスク着用の考え方も個人の判断に委ねられ、外出する機会が少しずつ増えてきている影響だと考えられる。</li> <li>貸出件数が伸びたことにより、在庫管理やメンテナンス作業が今まで以上に必要になった。新たな車椅子を購入することも視野に入れたい。</li> </ul>							

事業名	<b>コミュニケーション支援事業</b>							
事業形態	補助事業（日野市）							
財源内訳	障害福祉サービス等補助金							
担当係	総務係							
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる							
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。							
内容	<b>1. 利用者支援</b>							
実績報告	1) 利用登録者 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数（うち新規契約者数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>75人（6人）</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>71人（3人）</td> </tr> </tbody> </table> 2) 利用者懇談会 新型コロナウイルス感染の影響により、開催なし			登録者数（うち新規契約者数）	4年度	75人（6人）	3年度	71人（3人）
	登録者数（うち新規契約者数）							
4年度	75人（6人）							
3年度	71人（3人）							
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口では通訳依頼に加えて、各種相談や支援を適宜行っている。</li> <li>専門的な内容の相談も多く、日野市役所に常駐している設置通訳者へ繋がるよう案内をしているが社協職員で対応するケースも多い。</li> <li>手話通訳者からの報告を受け、必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。</li> </ul>							

内 容	<b>2. 手話通訳者等の派遣・調整</b>				
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。				
	1) 実績 ( ) 内は東京都手話通訳等派遣センター数				
		利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数
	4年度	38人	404件 (74件)	18人	476回 (81回)
3年度	37人	448件 (87件)	17人	551回 (106回)	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳依頼の3割以上が通院、約2割がヘルパー利用時の通訳依頼だった。生命や生活に密接に関わる依頼が多く、聞こえない方が安心して生活を送るうえで手話通訳者が欠かせないものとなっている。</li> <li>・日野市の講演会やイベントへの通訳依頼が増加しているが、聞こえない方の参加がないことで派遣調整後にキャンセルとなるケースが多い。</li> <li>・登録後3年以内の通訳者が9名いるが、新型コロナウイルス感染症の流行以降、依頼件数が減少していることで現場経験を得る機会が少なくなっていた。しかし年度末から徐々に依頼も増え、5年度以降はコロナ前の水準に戻ってくることが予想される。</li> </ul>				
内 容	<b>3. 手話通訳者の確保・定着</b>				
実績報告	1) 手話通訳者				
		登録者数			
	4年度	19人			
3年度	17人				
事業効果・評価 方向性等	・昨年度の手話通訳者全国統一試験合格者1名と他県から転居されてきた手話通訳者1名が登録し、活動を開始した。				
内 容	<b>4. 手話通訳者の資質向上</b>				
実績報告	日野市登録手話通訳者のうち、新人（経験歴3年未満の者）を対象に2年次研修を行った。対象者7名のうち6名が受講した。				
	開催日	内容			
	4/17	現場実習①			
	5/12	オリエンテーション・聞き取り表現			
	5/26	読み取り練習			
	6/2	読み取り練習			
	6/9	聞き取り表現			
	6/23	模擬通訳			
7/22	現場実習②				
事業効果・評価 方向性等	・日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会の全面的な協力のもと研修を実施した。今後も連携を図り、手話通訳者の技術向上に努める。				
内 容	<b>5. 関係機関との連携</b>				
実績報告	1) 障害福祉課との打合せ 2回 (8/29, 12/20)				
	2) 遠隔手話通訳に関する検討委員会への出席 1回 (5/16)				



	<p>意思疎通支援事業運営委員会への出席 2回 (10/17, 2/13)</p> <p>※遠隔手話通訳とは、聴覚障害者（ろう者あるいは難聴者）と健聴者とがスマートフォンやタブレット端末を利用し、手話通訳者が遠隔から通訳することを可能にするもの。</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関とは日頃から連携を図ることで、事業運営に関し率直な意見交換ができた。</li> <li>令和5年度遠隔手話通訳の導入に向けて、関係機関と検討を行った。</li> <li>出席者が同じであるため、下半期に開催された意思疎通支援事業運営委員会は、遠隔手話通訳に関する検討委員会と兼ねていた。</li> </ul>

事業名	<b>ウクライナ避難者支援事業（新規）</b>			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係、在宅サービス係、権利擁護係、地域支援係、ボランティア係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	ロシアによる軍事侵攻により、ウクライナからの避難を余儀なくされた方達の日本における生活を支援すること。			
内容	<b>1. 訪問支援</b>			
実績報告	避難者の居宅を職員が直接訪問し、困りごと等の聞き取りを行い、買い物への同行や行政サービスに結びつける等の支援を行う。なお、必要に応じてウクライナ避難者との通訳が可能な通訳支援員が同行する。			
		利用者数	主な内容	利用件数 時間
	7月	1人	転入の打合せ、転入先の内見	2 3
	8月	1人	転入時の買い物・家具取り付け	1 3
	9月	1人	病院・診療所への受診同行	4 9
	10月	1人	受診同行、福祉制度の利用相談	5 18
	11月	0人	なし	0 0
	12月	1人	新規避難者の転入手続きおよび買い出し	2 11
	1月	2人	受診同行、郵送物の確認および郵便局同行	4 9
	2月	2人	担当者交代の説明、受診同行、室内用照明の設置	3 6
	3月	2人	新規避難者の転入手続きおよび買い出し	4 17
	合計		25 76	
内容	<b>2. 相談支援</b>			
実績報告	訪問支援以外において、ウクライナ避難者からの相談を受け対応した。			
		利用者数	主な内容	利用件数
	7月	0人	なし	0
	8月	1人	新居のインターネット設備	2
	9月	1人	新居のインターネット設備のフォローアップ	2
	10月	0人	なし	0
11月	2人	マイナンバーカード手続き、新規避難者の転入	3	

	12月	2人	受診予定や内容の確認、転入後の日常生活（ごみの分別、自治会案内など）に関する相談	4
	1月	2人	受診結果の報告と確認、体調不良による受診先相談	4
	2月	1人	光熱水費高騰による生計の相談	3
	3月	1人	一人暮らしに向けた相談	1
	合計			19
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の事業開始時点では市内に3人が避難してきており、うち2人の支援から開始したが年度末時点で避難者が5人となり、うち4人の支援を行った。支援にあたっては、日野市および身元引受人がいる場合はその方と連携して行った。</li> <li>・通訳活動には、ロシア語および少々のウクライナ語ができる方と英語のできる方の2人に協力があつた。</li> <li>・20代女性の避難者へは、転入日に家具、家電の取り付けに関するほか、インターネット設備に関して希望する条件に合う設備の情報提供を行った。</li> <li>・60代男性の避難者へは、慢性的な体調不良の訴えがあつたため、かかりつけの診療所から病院での検査を経て、複数回の大学病院への受診同行を行った。</li> <li>・10代男性の避難者へは、転入日と新居への入居日が同日だったため、市役所での転入手続きと家具、家電の買い出し同行を行った。その後も、ゴミ出しの分別や書類説明、最寄りの郵便局やお店などの情報提供など、生活全般にわたつての支援を行った。</li> <li>・40代女性の避難者へは、転入日と新居への入居日が同日だったため、市役所での転入手続きと家具、家電の買い出し同行を行った。また、後日にも、買い出しやガス給湯器の設置に立ち会つた。</li> </ul>			

## ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター				
事業形態	独自事業				
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金				
担当係	ボランティア係				
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる				
目的	市民ボランティアや市民活動団体の活動の支援を行うこと。 市民からの相談を受け、解決まで支援を行うこと。 それぞれの個人や団体の多様性を力にし、支え合える環境を作ることを目的とする。				
事業内容	1. ボランティア相談・コーディネート				
実績報告	1) ボランティアコーディネート ボランティア活動をやりたい人と、ボランティアに手伝ってほしい個人や団体をマッチングする「ボランティアコーディネート」を行った。				
	①ボランティア登録者・活動者数				
		個人		団体	
		登録者	活動者	登録団体	活動団体
	4年度	325人	延べ45人	69団体	延べ 14団体
	3年度	313人	延べ10人	68団体	延べ7団体
	※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。				
	②コーディネート結果				
		ニード受付	成立		
	4年度	60件	46件		
	3年度	28件	18件		
	2) 窓口相談業務				
	①ボランティア窓口相談員 職員とともにボランティアコーディネートを行うボランティア窓口相談員は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、6月まで活動を休止したが、7月から人数を1人として活動を再開した。				
	3) 多様で複雑な課題を抱える方への相談対応 不登校・引きこもり・精神疾患・低所得等多様で複雑な課題を抱える方からの連絡に対して、電話や訪問での相談対応や他機関への紹介を行った。				
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ボランティア依頼は未だ少ないものの、昨年度と比較すると若干の増加傾向にある。</li> <li>新年度に向けて、福祉施設等にヒアリング調査を行い、今後のボランティア受け入れについて見通し等を確認することができた。</li> </ul>				

事業内容	2. 多様なネットワークの構築			
実績報告	1) ボランティア交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら「新春市民交流コンサート」を実施し、普段の交流会とは形を変えながらも、ボランティアへの日頃の感謝を伝え、ボランティアの交流の機会の提供を行った。			
	開催日	会場	内容	参加者
	1/9	イオンモール多摩平の森	東京光の家 光バンドによるコンサート	200人
	2) 市民活動団体との連携			
	①まちづくり市民フェア2022 実行委員企画の参画			
	3年ぶりに市民の森ふれあいホールにて、対面による通常開催を行った。これまでの市民フェアに加えて市民のチャレンジの場として、ハンドメイドショップやフリーマーケットなどを取り入れより多くの市民に参加していただけるような企画となった。			
	【実行委員会】			
	開催日	内容		
	4/13	準備会 背景と目的、市民フェアイベントについて		
	4/27	準備会 市民フェア実行委員会の運営について		
5/23	準備会 実行委員会組織編成について、準備会として最後			
6/2	実行委員会 実行委員長の選出、準備会の経緯について			
6/20	実行委員会 企画、スケジュール等について			
7/9	市民フェアプレ企画実施「市民活動の元気はまちの元気」			
7/11	実行委員会 企画、部会担当決めについて			
7/26	実行委員会 各部会の進捗について			
8/5	緊急実行委員会 開催日の再調整について			
9/5	実行委員会 各部会進捗報告、全体説明会について			
9/26	実行委員会 申込状況、各部会進捗報告について			
9/30	全体説明会 市民フェアの概要説明、参加形態別説明			
9/30	実行委員会 全体説明会、各部会進捗報告について			
【まちづくり市民フェア2022】				
開催日	会場	参加団体	来場者数	
11/13	日野市民の森ふれあいホール	86団体	2,500人	
②まち活				
ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした交流イベント。				
開催日	内容		参加者	
4/10	【第1部】経験者は語る！ ①“ひの”がすきだから(畑中陽子氏) ②育てていただいた地域に恩返しを！(西尾宣昭氏) ③田んぼの学校の一年(尾形重男氏) ④人生の集大成はこれだ！(花岡光明氏) 【第2部】想いを語ろう交流会		21人	

4/24	【第1部】参加団体活動紹介 【第2部】市民活動ごちゃまぜ交流会	23人
------	------------------------------------	-----

③「みんなの遊・友ランド」企画・運営協力  
毎年6月に開催される、障害の有無に関わらず子どもたちが風船遊びを楽しむイベント。今年度は新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、密にならず子ども同士が接触しない遊びに内容変更した。

開催日	会場	内容	参加者数
6/12	日野市市民の森 ふれあいホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ</li> <li>・工作</li> <li>・作品展示</li> <li>・お絵描き風船</li> <li>・わいわい文庫</li> </ul>	226人

④日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会への参加

## 2) 大学との連携強化

### ①多摩地域の大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩）

開催日	内容
5/31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近況報告</li> <li>・イオンモールでのイベントについて</li> </ul>
12/1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近況報告</li> <li>・ボラネット多摩の事務局体制について</li> </ul>
1/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近況報告</li> <li>・次年度予定について</li> </ul>
3/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近況報告</li> <li>・次年度の活動計画等</li> </ul>

### ②国際ボランティア学生協会（IVUSA）との協定に基づいた活動 令和3年3月に協定を締結。さらなる連携に向けて定例会を開催した。

開催日	内容
5/19	夏の体験ボランティアについて まちづくり人プロジェクトについて
6/24	夏の体験ボランティアについて まちづくり市民フェアについて
7/22	まちづくり市民フェアについて 浅川の清掃活動について
8/19	まちづくり市民フェアについて 防災減災シンポジウムについて
10/17	まちづくり市民フェアについて
12/5	静岡県静岡市令和4年台風15号救援活動振り返り会について
1/25	静岡県静岡市令和4年台風15号救援活動振り返り会について ヒューマンライブラリーについて
3/8	新年度の事業予定について スマホ個別相談会について

③大学生ボランティア団体への企画協力

開催日	内容	場所
8/9, 12	明星大学文化会教育研究部 ミニ縁日	イオンモール多摩平の森
8/18, 19	中央大学チーム防災 イザ！カエルキャラバン！	イオンモール多摩平の森

④東京都立大学スポーツボランティア事前学習への講師派遣

開催日	内容	参加者
7/16	スポーツボランティアの意義や効果について	20人

3) 他団体との連携強化

①NPO法人フードバンクTAMAとの連携

社会福祉協議会と協働しているフードパントリー事業の箱詰め作業等へボランティア派遣調整と、作業の支援を行った。

(配布実績は、組織運営事業で報告)

②日野市セーフティネットコールセンター事業との連携

セーフティネットコールセンター就労支援準備事業と連携し、利用者がフードパントリー事業の箱詰め作業やボランティアセンターの軽作業等を行った。

③南多摩ブロックボランティア担当者会議

南多摩ブロック（日野、八王子、町田、多摩、稲城）および東京ボランティア・市民活動センターのボランティア担当者が集い、市境で災害が発生した際の近隣市の対応について協議・訓練を行った。

開催日	内容	会場
5/24	日野市と町田市をモデルとした災害図上訓練の実施について	多摩社協
6/30	災害図上訓練+防災まち歩き	平山城址公園駅周辺
9/13	災害図上訓練のふりかえり	八王子社協
12/9	防災まち歩きin町田	町田社協

④ご近所会議

中央公民館、ひの児童館、ボランティアセンター、日野図書館による連携会議

開催日	内容	場所
4/21, 6/2, 6/30, 7/28 10/6, 11/24, 3/30	各館の情報共有 七タイトの企画 地域連携についての相談 四館合同防災訓練について	中央公民館

事業効果・評価  
方向性等

・まちづくり市民フェアの開催を3年ぶりの対面開催で計画を進める中で、新たな市民実行委員なども加わり市民活動を広くとらえることにより、市民活動やボランティアの新たなチャレンジの場をつくることが出来た。参加者も2,500人と過去最高となった。

・国際ボランティア学生協会とは、定期的な情報交換を通して、ボランティア派遣やイベント協力など密な連携を行った。今後もこまめに連絡を取り合い、互いにメリットのある協力関係を構築したい。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール多摩平の森の協力もあり、大学生ボランティア団体の活動に繋げることができた。コロナ禍でなかなか活動が出来なかった大学生ボランティアの活動の機会を今後も作っていきたい。</li> <li>・コロナ禍により生活に困窮している人へのフードパントリー事業の増加により、ボランティアの方々や外部団体からの協力を得て取り組んだ。パントリーの件数は増加している。</li> </ul>																		
事業内容	<b>3. ボランティア情報の発信</b>																		
実績報告	<p>1) 情報紙「ボランティア・インフォメーション」の発行  発行日：毎月5日  発行数：各月4000部  掲載内容：①ボランティア募集情報  ②市内のイベント・講座情報  ③市民活動団体の紹介 ④助成金情報 等  配布先：ボランティア登録者、公共施設、福祉施設、図書館、飲食店、スーパー など  配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便</p> <p>2) SNS (公式LINE、Facebook、Twitter) の運営  イベント開催時等で随時更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公式LINE</td> <td>285人</td> <td>346人</td> </tr> <tr> <td>Facebook</td> <td>641人</td> <td>672人</td> </tr> <tr> <td>Twitter</td> <td>95人</td> <td>211人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 配布ボランティア感謝の集い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/27</td> <td>配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告</td> <td>中央福祉センター</td> </tr> </tbody> </table>		3年度	4年度	公式LINE	285人	346人	Facebook	641人	672人	Twitter	95人	211人	開催日	内容	場所	12/27	配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告	中央福祉センター
	3年度	4年度																	
公式LINE	285人	346人																	
Facebook	641人	672人																	
Twitter	95人	211人																	
開催日	内容	場所																	
12/27	配布ボランティア同士の顔合わせと近況報告	中央福祉センター																	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙媒体の広報紙は、高齢の方でも見やすい紙面を心掛けている。</li> <li>・4年度はTwitterでの情報発信に力を入れたところ、登録者が倍増した。今後も定期的に発信を行い、より多くの方に情報を届けたい。</li> </ul>																		
事業内容	<b>4. 福祉体験講座</b>																		
実績報告	<p>1) 出張福祉体験講座  体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、ボランティア等と共に講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/14</td> <td>車いす体験、ブラインドウォーク体験 手話体験 講師 藤田博文 氏、河野泰弘 氏 堀場照美 氏、ひの手話サークル</td> <td>夢が丘小学校 4年生</td> </tr> <tr> <td>10/27</td> <td>車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 宮野谷義傑 氏</td> <td>平山小学校 4年生</td> </tr> <tr> <td>11/18</td> <td>車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏</td> <td>東光寺小学校 4年生</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏</td> <td>日野第四中学校 2年生</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	対象者	6/14	車いす体験、ブラインドウォーク体験 手話体験 講師 藤田博文 氏、河野泰弘 氏 堀場照美 氏、ひの手話サークル	夢が丘小学校 4年生	10/27	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 宮野谷義傑 氏	平山小学校 4年生	11/18	車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏	東光寺小学校 4年生	11/22	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	日野第四中学校 2年生			
開催日	内容	対象者																	
6/14	車いす体験、ブラインドウォーク体験 手話体験 講師 藤田博文 氏、河野泰弘 氏 堀場照美 氏、ひの手話サークル	夢が丘小学校 4年生																	
10/27	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 宮野谷義傑 氏	平山小学校 4年生																	
11/18	車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏	東光寺小学校 4年生																	
11/22	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏、宮野谷義傑 氏	日野第四中学校 2年生																	

	12/2	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 宮野谷義傑 氏	七生中学校 2年生														
	12/16	車いす体験 講師 宮野谷義傑 氏 ブラインドウォーク体験	七生中学校 2年生														
	1/10	車いす体験	日野第一小学校 4年生														
	1/23	車いす体験 ブラインドウォーク体験	潤徳小学校 4年生														
	1/25	車いす体験	大坂上中学校 特別支援学級														
	2/6	車いすユーザーの講話 講師 中野健吾 氏	日野第一小学校														
	2/7	車いす体験 講師 平松元 氏	南平小学校 6年生														
	3/3	ブラインドウォーク体験	豊田小学校 4年生														
	3/6	車いす体験 講師 中野健吾 氏	日野第七小学校 4年生														
	3/8	ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏	日野第七小学校 4年生														
	3/15	ブラインドウォーク体験	滝合小学校 4年生														
	3/22	車いす体験、ブラインドウォーク体験 講師 中野健吾 氏、講師 佐藤響 氏	三沢中学校 2年生														
事業効果・評価 方向性等	<p>・福祉体験講座を行う学校がコロナ禍前に戻りつつある。特に福祉教育ハートフルプロジェクトのパートナー校である日野第五小学校とは、一年間を通して充実したプログラムを行うことが出来た。</p> <p>今後も福祉教育の充実を図るため、福祉教育ハートフルプロジェクト実行委員会と連携しながらプログラムの開発に取り組んでいきたい。</p>																
事業内容	<b>5. 傾聴ボランティアの養成・活動支援</b>																
実績報告	<p>1) 日野傾聴ボランティア「りっすん」の活動支援 傾聴ボランティア養成講座の受講者を対象に、傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。</p> <p>①情報交換会 6回開催 傾聴ボランティア同士の交流やスキルアップのため、奇数月の第3金曜日に情報交換会を開催した。場所：全回中央福祉センター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/20</td> <td>ユマニチュードを学ぶ（動画鑑賞と意見交換）</td> </tr> <tr> <td>7/15</td> <td>意見交換 新型コロナによる貧困・虐待問題について</td> </tr> <tr> <td>9/16</td> <td>そろそろおさらい！傾聴のキホン</td> </tr> <tr> <td>11/18</td> <td>新型コロナ感染拡大による高齢者の暮らしの変化について</td> </tr> <tr> <td>1/20</td> <td>たまにはのんびりおしゃべり会</td> </tr> <tr> <td>3/24</td> <td>傾聴ボランティア入門講座 修了者による交流会</td> </tr> </tbody> </table> <p>②傾聴ボランティア入門講座 「聴くこと（傾聴）」の意味・大切さを理解し、傾聴ボランティアとして地域で実践していくための養成講座を開催した。参加者：42人</p>			開催日	内容	5/20	ユマニチュードを学ぶ（動画鑑賞と意見交換）	7/15	意見交換 新型コロナによる貧困・虐待問題について	9/16	そろそろおさらい！傾聴のキホン	11/18	新型コロナ感染拡大による高齢者の暮らしの変化について	1/20	たまにはのんびりおしゃべり会	3/24	傾聴ボランティア入門講座 修了者による交流会
開催日	内容																
5/20	ユマニチュードを学ぶ（動画鑑賞と意見交換）																
7/15	意見交換 新型コロナによる貧困・虐待問題について																
9/16	そろそろおさらい！傾聴のキホン																
11/18	新型コロナ感染拡大による高齢者の暮らしの変化について																
1/20	たまにはのんびりおしゃべり会																
3/24	傾聴ボランティア入門講座 修了者による交流会																



	開催日	内容																																	
	2/17	心の病の理解 講師 渡辺べん 氏(渡辺べん心理相談室代表) 島村繭子 氏(つながりセラピー 代表)																																	
	2/24	高齢者の理解 講師 宮本芳恵 氏(一般社団法人アルデバラン)																																	
	3/3	認知症のある人の理解 講師 宮本芳恵 氏(一般社団法人アルデバラン)																																	
	3/17	傾聴の基本 講師 堤 彩 (日野市ボランティア・センター) 落合恵子 氏 (日野市地域包括支援センターすてっぷ所長) 花岡光明 氏 (傾聴ボランティア)																																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾聴ボランティア入門講座において、4年度新たに講演を依頼した日野市地域包括支援センターすてっぷの落合氏による日野市の高齢者の現状についての講話及び傾聴ボランティアの花岡氏による体験談は、受講者から好評であったため、次年度以降も取り入れていきたい。</li> </ul>																																		
事業内容	<b>6. オンラインを活用した講座の開催・活動支援</b>																																		
実績報告	<p>1) オンライン (Zoom) を活用した講座開催          コロナ禍の外出自粛が続く中で、地域のつながりや心身の健康の維持を目的に、オンライン (Zoom) を活用した各種講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">Zoom おためし講座 入門編</td> <td>4/21</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>5/23</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>7/28</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>8/12</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>9/27</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>10/20</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>12/15</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Zoom おためし講座 ステップアップ編</td> <td>2/22</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>4/22</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>8/18</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>10/21</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>12/19</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>2/28</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>		内容	開催日	参加者	Zoom おためし講座 入門編	4/21	11人	5/23	9人	7/28	3人	8/12	4人	9/27	6人	10/20	1人	11/28	5人	12/15	2人	Zoom おためし講座 ステップアップ編	2/22	8人	4/22	9人	8/18	4人	10/21	4人	12/19	7人	2/28	3人
	内容	開催日	参加者																																
Zoom おためし講座 入門編	4/21	11人																																	
	5/23	9人																																	
	7/28	3人																																	
	8/12	4人																																	
	9/27	6人																																	
	10/20	1人																																	
	11/28	5人																																	
	12/15	2人																																	
Zoom おためし講座 ステップアップ編	2/22	8人																																	
	4/22	9人																																	
	8/18	4人																																	
	10/21	4人																																	
	12/19	7人																																	
2/28	3人																																		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年度から毎月開催を続けてきた「Zoom おためし講座」は、一時期は参加者が40人を超える人気講座であったが、徐々に参加者が減少したため、ニーズが充足されたとみなし、令和5年度2月をもって開催終了とした。</li> </ul>																																		
事業内容	<b>7. 夏の体験ボランティア</b>																																		
実績報告	<p>1) 夏の体験ボランティア2022          夏休み期間に福祉施設やボランティア・NPO団体でボランティア活動を体験できる毎年恒例のイベント。今年度は新型コロナウイルス感染症対策に配慮し実施できる範囲で対面でのボランティア募集を再開した。</p> <p>【実施期間】7月20日 (水) ～8月31日 (水)</p>																																		

【参加団体】28団体

【プログラム数】27種類

【活動者数】71人

【事前説明会】

開催日	内容	参加人数
7/9	説明会（会場開催）	1人
7/10	説明会（会場開催）	5人
6/20～8/20	説明会（YouTube開催）	視聴回数143回

【ボランティアセンター主催プログラム】

開催日	内容	参加人数
7/21	工房アルテ（手芸）	5人
7/28		2人
7/26	浅川おそうじ大作戦！	雨天中止
8/2		3人
8/5	チャレンジ☆ボッチャ	2人
8/10		11人
8/24		2人
8/9	せせらぎ農園	1人
8/18		3人
8/15, 16	中央図書館（点字体験）	8人
8/17	手話体験	12人

## 2) リモートボランティアプログラム2022

対面でできるボランティア活動が限られている中、在宅でできるボランティアプログラムを企画・実施した。

開催日	内容	参加施設
7/20～9/10	ホスピタルアートを贈ろう	8団体
7/20～9/10	とどけ！暑中見舞い	8団体

事業効果・評価  
方向性等

・4年度の参加者数および参加団体数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前を大きく下回った。また、エントリーした施設も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、プログラムの取り下げがあった。

事業内容	<b>8. まちづくり人プロジェクト委員会</b>												
実績報告	<p>ボランティア・市民活動を推進する事により、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。（平成30年度設立）</p> <p>1) 委員会の開催</p> <table border="1" data-bbox="464 338 1406 846"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/6</td> <td>ヒューマンライブラリープレ実施</td> </tr> <tr> <td>8/19</td> <td>ヒューマンライブラリープレ企画のふり返りについて ヒューマンライブラリーの市民への実施方法について</td> </tr> <tr> <td>10/24</td> <td>ヒューマンライブラリーの実施方法について まちづくり人プロジェクトでの勉強会についての提案</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>ヒューマンライブラリーの実施について まちづくり人プロジェクトでの勉強会の内容について</td> </tr> <tr> <td>1/30</td> <td>まちづくり人プロジェクト勉強会 講師：富永一夫氏（NPO法人フュージョン長池創業者） 内容：「社会力コーディネーター」「地域を幸せにするコーディネーション」</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 委員（順不同）</p> <p>委員長 惟住浩太郎 氏（日野掃除に学ぶ会世話人） 副委員長 粟澤稚富美 氏（日野社会教育センター） 渡戸 一郎 氏（明星大学名誉教授） 溝口 常之 氏（一般市民） 大村佳代子 氏（日野市民生・児童委員） 佐藤美千代 氏（せせらぎ農園代表） 藤田 博文 氏（CIL、障害者差別解消検討委員会委員長） 藤浪 里佳 氏（NPO法人子どもへのまなざし事務局長） 福村真紀子 氏（多文化ひろばあいあい代表） 福原 冬彦 氏（元日野市立豊田小学校教諭） 佐藤 新哉 氏（東京ボランティア・市民活動センター） 景谷 弓子 氏（地域サロン縁がわ） 浅沼 俊熙 氏（日野市ボランティア・センター窓口相談員） 斉藤あきの 氏（マイノリティサークル あるでばらん代表） NPO法人国際ボランティア学生協会 I V USA 日野市地域協働課 松本 茂夫 （日野市ボランティア・センター長）</p>	開催日	内容	6/6	ヒューマンライブラリープレ実施	8/19	ヒューマンライブラリープレ企画のふり返りについて ヒューマンライブラリーの市民への実施方法について	10/24	ヒューマンライブラリーの実施方法について まちづくり人プロジェクトでの勉強会についての提案	11/28	ヒューマンライブラリーの実施について まちづくり人プロジェクトでの勉強会の内容について	1/30	まちづくり人プロジェクト勉強会 講師：富永一夫氏（NPO法人フュージョン長池創業者） 内容：「社会力コーディネーター」「地域を幸せにするコーディネーション」
開催日	内容												
6/6	ヒューマンライブラリープレ実施												
8/19	ヒューマンライブラリープレ企画のふり返りについて ヒューマンライブラリーの市民への実施方法について												
10/24	ヒューマンライブラリーの実施方法について まちづくり人プロジェクトでの勉強会についての提案												
11/28	ヒューマンライブラリーの実施について まちづくり人プロジェクトでの勉強会の内容について												
1/30	まちづくり人プロジェクト勉強会 講師：富永一夫氏（NPO法人フュージョン長池創業者） 内容：「社会力コーディネーター」「地域を幸せにするコーディネーション」												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年度は、ヒューマンライブラリー実行委員会でプレ実施した後に、市民向けに開催することが出来た。</li> <li>・委員メンバーからの発案で、中間支援組織についての勉強会をNPO法人フュージョン長池創設者を講師に招き開催することが出来た。まちづくり人プロジェクトメンバーだけでなく、NPO法人ひの市民活動ネットワークや地域協働課にも声掛けをして、参加してもらうことが出来た。</li> </ul>												
事業内容	<b>9. スマートフォンボランティア活動支援</b>												
実績報告	<p>1) スマホお助け隊養成講座の開催 中央公民館が主催する「スマホお助け隊養成講座」について、ガイダンスの講師および各コースの開催協力を行った。</p>												

内容	開催日	会場	参加者数
ガイダンス	6/22	中央福祉センター	5人
	7/7		16人
ブロンズコース	7/12		19人
シルバーコース	7/26		11人
ゴールドコース	8/9		7人

2) スマホお助け隊コーディネート事業

地域支援係や中央公民館からのボランティア募集の要請を受け、スマホお助け隊との連絡調整を行った。

内訳	要請件数
地域包括支援センター共催	34回
株式会社アミュー共催	28回
スマホ個別相談会	21回
中央公民館からの依頼	5回

3) スマホ個別相談会の開催

スマホお助け隊の活躍の場として、高齢者を対象としたスマートフォンのお悩み相談会を、市内3か所の会場で定期的に行っている。

【中央福祉センター】

開催日	参加者数	協力者数
4/11	12人	8人
5/9	11人	10人
6/13	13人	7人
7/11	12人	7人
8/8	13人	9人
9/12	14人	12人
10/11	15人	8人
11/14	18人	11人
12/12	19人	11人
1/16	18人	10人
2/13	15人	8人
3/13	20人	11人

【多摩平交流センター】

開催日	参加者数	協力者数
7/25	10人	6人
8/22	14人	10人
9/22	20人	9人
11/29	15人	8人
1/30	18人	9人
3/27	10人	6人

【福祉支援センター】

開催日	参加者数	協力者数
-----	------	------

10/27	10人	7人
12/22	9人	7人
2/27	14人	7人

4) スマホサロンぽちぽちの開催  
 スマホ個別相談会と同時開催のテーマ型勉強会。

開催日	内容
4/11	LINEの使い方
5/9	ペイペイの使い方
6/13	アプリの入れ方・整理の仕方
7/11	覚えておきたい！スマホの詐欺対策
8/8	SNSってなに？
9/12	知っておきたい！スマホの活用術
10/11	ネットショッピングの基礎知識
11/14	地図・乗換案内を活用しよう！
12/12	知っておくと便利！スマホの用語
1/16	写真の撮り方・整理の仕方
2/13	LINEの使い方
3/13	スマホのお掃除

事業効果・評価  
 方向性等

- ・4年度は少人数ながらもスマホの知識が豊富で協力的な方が登録され、スマホお助け隊の活動がより活性化した。
- ・市内3か所開催のスマホ個別相談会は、毎月すぐに定員が埋まる好評の企画だった。
- ・スマホサロンぽちぽちは、当初はゆるやかな交流の場を想定していたが、場の運営がうまくいかず4年度はやむをえずテーマ型の勉強会という形をとった。5年度は本来の目的に沿った運営ができるよう、開催方法を検討していきたい。

事業内容

**10. その他**

実績報告

1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ）  
 ①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集  
 協力件数 延べ 299 件  
 ②軽作業ボランティア  
 不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し活動を行った。

2) ボランティア保険取扱事業

①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱

	団体		個人
4年度	123件	1,781人	259人
3年度	93件	1,566人	211人

②東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱

4年度	102件	3,309人
3年度	62件	1,774人

	<p>3) 研修会・関係会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会</li> <li>・日野市子どもの人権を守る協議会</li> <li>・南多摩医療圏災害医療ワーキング会議</li> </ul>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽作業ボランティアには、学校へ行くのを選ばないお子さんや休職中の若者が参加し、職員や地域のボランティアと交流しながら、和やかに活動されていた。</li> </ul>

事業名	<b>防災・減災をテーマにした地域づくり</b>		
事業形態	独自事業・受託事業（日野市）		
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金、受託金		
担当係	ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。		
事業内容	<b>1. みんなでつくる日野の防災プロジェクトの運営</b>		
実績報告	<p>1) みんなでつくる日野の防災プロジェクト</p> <p>災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティアセンターの運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web会議とした。</p>		
	開催日	内容	場所
	5/30	<p>昨年度の事業報告</p> <p>日野市地域防災計画（令和3年度修正）について</p> <p>災害時要配慮者の個別避難計画について</p> <p>災害ボランティア支援に関する資機材配備に関する覚書について</p> <p>今年度の事業について</p>	中央福祉センター web
7/12	日野市民でつくる防災・減災シンポジウム企画について	中央福祉センター web	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の災害時要配慮者の個別避難計画作成の努力義務化により、高齢福祉課と障害福祉課が取り組み始めた。みんなでつくる日野の防災プロジェクトも発足当時から災害時要配慮者について取り組んできたことから、行政との連携をさらに深め、共に推進していきたい。</li> </ul>		
事業内容	<b>2. 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム</b>		
実績報告	<p>1) 実行委員会の開催</p> <p>市民有志とみんなでつくる日野の防災プロジェクト委員との実行委員会を開催した。</p> <p>場所：中央福祉センター、web</p>		

	第1分科会 テーマ：ペット防災	7/20,8/1	
	第2分科会 テーマ：組織間連携	7/20,8/1,8/22,9/8	
	第3分科会 テーマ：災害時要配慮者	7/22,8/5	
	第4分科会 テーマ：河川水害	8/1,8/9,9/8	
	全体会	6/30,7/14,8/10,9/12	
	2) 「日野市民でつくる防災・減災オンラインフォーラム」 3年ぶりの対面開催を実施、ただし感染対策に考慮し、全分科会オンライン併用のハイブリッド開催を行った。		
	開催日時	内容	参加者
	9/25 10:00 ～12:30	第1分科会 「熊本から学ぶ ～人とペットの災害対策～」 【出演者】 富士岡 剛 氏 (一般社団法人 HUG 代表理事)	会場26人 オンライン25人
	9/25 14:00 ～16:00	第2分科会 「自分の地域にあった防災 ～つながろう、つながるにはどうしたらいい?～」 【出演者】 鈴木 直美 氏 (万願荘自治会自主防災会) 中村 マコト 氏 (御林山防災安全会自治会、七生緑小地域自主防災会)、日野市防災安全課職員	会場27人 オンライン14人
	10/9 10:00 ～12:30	第3分科会 「防災は日常だ!～わたしたちぬきの防災なんて～」 【出演者】 谷 遼平 氏 (日野市障害福祉課) 小野 和佳 氏 (障害のある方で、東日本大震災の被災経験者)	会場35人 オンライン12人
	10/9 14:00 ～16:00	第4分科会 「河川水害 ～リスクを知って備える～」 【出演者】 日野市防災安全課職員、鈴木 裕 氏 (八王子市南浅川町 町会役員)	会場35人 オンライン16人
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民有志による実行委員会で企画から運営まで、一人ひとりが積極的に参画していただき実施することができた。</li> <li>・3年ぶりの対面開催と感染対策としてオンラインとの併用で行った。どの分科会も多く参加者があり盛況であった。</li> <li>・これまでは分科会を同日同時間に開催していたため複数受講が出来なかったが、分散開催することで複数の分科会に参加できるようになった。</li> <li>・市民有志の実行委員が企画を作る中で、つながりを深めることができた。</li> </ul>		
事業内容	<b>3. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練</b>		
実績報告	日野市社会福祉協議会全職員を対象とした訓練を二日間に分けて実施した。 会場：中央福祉センター		
	開催日	内容	
	12/13, 12/20	①災害ボランティアセンターの役割や機能等 ②BCPワークショップ	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標記訓練を社協内のBCP訓練も兼ねて開催した。BCPと併せて行うことで職員がそれぞれの事業への対応が必要なこと、外部協力者の力が必要なことがわかった。</li> </ul>		

事業内容	4. 地域の防災・減災活動の支援									
実績報告	自治会・自主防災組織など地域の防災訓練や学校等教育機関が行う防災教育の支援を行いことで地域で暮らす市民同士の連携を深め、また次代を担う子どもたちに知識を得てもらうことにより、災害に強い地域づくりを目指す。									
	1) つくしんぼ保育園 防災訓練の実施支援									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 331 587 378">開催日</th> <th data-bbox="587 331 1342 378">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 378 587 427">9/8</td> <td data-bbox="587 378 1342 427">「イザ！カエルキャラバン！」</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	9/8	「イザ！カエルキャラバン！」					
	開催日	内容								
	9/8	「イザ！カエルキャラバン！」								
	2) 都立高校防災訓練の企画実施支援 都立南平高校1年生を対象とした「人間と社会」の授業において、地域の方との防災訓練を行うにあたり、企画の支援を行った。									
	①都立南平高校									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 636 587 683">開催日</th> <th data-bbox="587 636 1342 683">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 683 587 808">7/8</td> <td data-bbox="587 683 1342 808">被災者の語り部 熊本地震の講話 (実践女子大学助手 小川華歩 氏) 毛布で担架 (社協)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 808 587 893">12/21</td> <td data-bbox="587 808 1342 893">HUG (避難所運営ゲーム) の実施 協力：中央大学チーム防災</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	7/8	被災者の語り部 熊本地震の講話 (実践女子大学助手 小川華歩 氏) 毛布で担架 (社協)	12/21	HUG (避難所運営ゲーム) の実施 協力：中央大学チーム防災			
	開催日	内容								
	7/8	被災者の語り部 熊本地震の講話 (実践女子大学助手 小川華歩 氏) 毛布で担架 (社協)								
12/21	HUG (避難所運営ゲーム) の実施 協力：中央大学チーム防災									
②都立日野台高校										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 952 587 999">開催日</th> <th data-bbox="587 952 1342 999">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 999 587 1254">11/2</td> <td data-bbox="587 999 1342 1254">①被災者の語り部 熊本豪雨災害の講話 (中央大学 チーム防災 西直樹 氏) ②紙食器づくり (泉塚自治会) ③毛布で担架 (社協) ④防災動画視聴 (作成：日野台高校生徒会1年生、大坂上中学校生徒会)</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	11/2	①被災者の語り部 熊本豪雨災害の講話 (中央大学 チーム防災 西直樹 氏) ②紙食器づくり (泉塚自治会) ③毛布で担架 (社協) ④防災動画視聴 (作成：日野台高校生徒会1年生、大坂上中学校生徒会)						
開催日	内容									
11/2	①被災者の語り部 熊本豪雨災害の講話 (中央大学 チーム防災 西直樹 氏) ②紙食器づくり (泉塚自治会) ③毛布で担架 (社協) ④防災動画視聴 (作成：日野台高校生徒会1年生、大坂上中学校生徒会)									
3) 市内小学校地域防災会支援 避難所運営マニュアルを地域住民が中心となって作成し、その中で、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す防災会への支援を行った。										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1440 954 1487">開催日</th> <th data-bbox="954 1440 1412 1487">主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1487 954 1534">7/28, 9/1, 10/6, 11/3, 12/1, 2/9, 3/16</td> <td data-bbox="954 1487 1412 1534">夢が丘小防災会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1534 954 1619">5/14, 7/30, 9/10, 10/15, 11/19, 1/21, 2/25</td> <td data-bbox="954 1534 1412 1619">四小防災会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1619 954 1666">5/14, 8/23, 11/4, 2/17, 2/25</td> <td data-bbox="954 1619 1412 1666">豊田小地域防災会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1666 954 1713">5/23, 7/30, 10/29, 11/10, 12/28, 3/8</td> <td data-bbox="954 1666 1412 1713">滝合小防災会</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	主催	7/28, 9/1, 10/6, 11/3, 12/1, 2/9, 3/16	夢が丘小防災会	5/14, 7/30, 9/10, 10/15, 11/19, 1/21, 2/25	四小防災会	5/14, 8/23, 11/4, 2/17, 2/25	豊田小地域防災会	5/23, 7/30, 10/29, 11/10, 12/28, 3/8	滝合小防災会
開催日	主催									
7/28, 9/1, 10/6, 11/3, 12/1, 2/9, 3/16	夢が丘小防災会									
5/14, 7/30, 9/10, 10/15, 11/19, 1/21, 2/25	四小防災会									
5/14, 8/23, 11/4, 2/17, 2/25	豊田小地域防災会									
5/23, 7/30, 10/29, 11/10, 12/28, 3/8	滝合小防災会									
4) 小学校向けの防災教育プログラムの実施										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1771 632 1818">開催日</th> <th data-bbox="632 1771 1179 1818">内容</th> <th data-bbox="1179 1771 1412 1818">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1818 632 2051">10/20, 10/27 11/7, 11/17 11/24, 1/31</td> <td data-bbox="632 1818 1179 2051">①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう ④避難所運営を体験しよう ⑤要配慮者ってなんだろう</td> <td data-bbox="1179 1818 1412 2051">日野第三小学校 5年生</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	対象者	10/20, 10/27 11/7, 11/17 11/24, 1/31	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう ④避難所運営を体験しよう ⑤要配慮者ってなんだろう	日野第三小学校 5年生				
開催日	内容	対象者								
10/20, 10/27 11/7, 11/17 11/24, 1/31	①災害の種類と避難所運営について知ろう ②自分の住んでる地域の被害について考えよう ③避難所運営をシミュレーションしよう ④避難所運営を体験しよう ⑤要配慮者ってなんだろう	日野第三小学校 5年生								



	5) 防災普及活動業務委託事業の実施 市内の防災会や自治会等への防災訓練等を実施した。		
	開催日	内容	主催
	11/6	被災者の語り部 熊本地震の講話 (実践女子大学助手 小川華歩 氏) 防災食試食会	富士見台自治会
	1/26	BCP作成研修	高幡圏域ケアマネ ジャー交流会
	2/25	避難所運営 初動ボックス訓練	豊田小地区防災 会
	3/8	避難所運営 初動ボックス訓練	滝合小地区防災 会
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から防災会の立ち上げに関して声が上がリ、新たに2か所の防災会の立ち上げ準備会が始まった。</li> <li>・今の高校生は震災を体験したり、見たりといった経験がないため、災害に対しての心構えが十分にできない状況である。そこで、年齢が近い大学生や被災当時の年齢が自分たちと同じ状況の人から話を聞くことで、イメージを作ってもらうことができた。</li> <li>・感染症対策により、対面で出来ないこともあったが、オンライン等を活用することによって、実施することができた。オンラインを活用することにより広く知っていただくツールとして今後も活用できるようになった。</li> <li>・コロナ禍により防災会の活動が停止しているところある。</li> <li>・初動ボックスを作成した防災会が初動ボックスを利用した訓練を行った。防災会メンバーは自治会長などの変更があるため、毎年繰り返し訓練を行うことが必要だという認識を持つことができた。</li> </ul>		

事業名	<b>日野市介護サポーター制度</b>
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	日野市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指して頂くことを目的とする。
事業内容	<b>1. 介護サポーター制度の運営・相談支援</b>
実績報告	<p>日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等で市民として利用者に関わる活動を通じて介護予防についての理解を深めるとともに、積極的な社会参加や地域貢献を行うことによりいつまでも元気な高齢者を目指して実施した。</p> <p>1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護サポーター制度の説明および登録手続きを行う。</li> <li>② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。</li> </ul>

	<p>③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。</p> <p>④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。</p> <p>⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。 (登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等)</p> <p>⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。</p> <p>2) 人数</p> <table border="1" data-bbox="496 412 1174 645"> <thead> <tr> <th></th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>406人</td> <td>383人</td> </tr> <tr> <td>新規登録者数</td> <td>21人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>登録取消者数</td> <td>14人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>累計登録者数</td> <td>668人</td> <td>675人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 介護サポーター制度の周知 ボランティアインフォメーション 3月号掲載 広報ひの 3月号掲載</p> <p>4) 介護サポーター制度説明会 介護サポーター制度の説明と登録手続きを行った。</p> <table border="1" data-bbox="461 896 1399 990"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> <th>登録者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/23</td> <td>中央福祉センター</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 介護サポーター制度登録者向け研修 市内2か所で登録者向け研修を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="461 1095 1399 1234"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/29</td> <td>バランスボール体験</td> <td>中央福祉センター</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3/30</td> <td>誰でもできるヨガ</td> <td>福祉支援センター</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>		3年度	4年度	登録者数	406人	383人	新規登録者数	21人	7人	登録取消者数	14人	20人	累計登録者数	668人	675人	開催日	場所	参加者	登録者	3/23	中央福祉センター	8人	5人	開催日	内容	場所	人数	3/29	バランスボール体験	中央福祉センター	5人	3/30	誰でもできるヨガ	福祉支援センター	4人
	3年度	4年度																																		
登録者数	406人	383人																																		
新規登録者数	21人	7人																																		
登録取消者数	14人	20人																																		
累計登録者数	668人	675人																																		
開催日	場所	参加者	登録者																																	
3/23	中央福祉センター	8人	5人																																	
開催日	内容	場所	人数																																	
3/29	バランスボール体験	中央福祉センター	5人																																	
3/30	誰でもできるヨガ	福祉支援センター	4人																																	
事業効果・評価 方向性等	<p>・4年度は、登録取消者数が新規登録者数を上回り、登録者数が減少する結果となった。その背景には、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響があるものと考えられる。</p>																																			
事業内容	<p><b>2. ボランティア活動対象施設の管理・連絡調整</b></p>																																			
実績報告	<p>本制度登録施設および登録を希望する施設との連絡調整を適宜行った。</p> <table border="1" data-bbox="461 1464 932 1601"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>62施設</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>60施設</td> </tr> </tbody> </table>		登録施設数	4年度	62施設	3年度	60施設																													
	登録施設数																																			
4年度	62施設																																			
3年度	60施設																																			
事業効果・評価 方向性等	<p>・登録施設数は増加したものの、実際に活動できる施設は限られている。今後も定期的に施設に連絡し、受入の可否を確認、登録者の活動先の開拓につなげていきたい。</p>																																			

事業名	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!(ひのう)」																														
事業形態	補助事業(日野市)																														
財源内訳	補助金																														
担当係	ボランティア係																														
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																														
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報発信を行うことを目的とする。																														
事業内容	<b>1. ポータルサイト「Hi Know!」の運営</b>																														
実績報告	<p>「Hi Know!」は、富士通研究所株が「日野市を社会参加しやすいまちにする」ことを目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイトを開発。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当し、平成27年度から日野市の補助事業となる。</p> <p>1) 「Hi Know!」閲覧数(令和4年10月1日～令和5年3月31日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス数 (訪問者数)</td> <td>1,279</td> <td>1,540</td> <td>1,274</td> <td>1,608</td> <td>2,418</td> <td>2,197</td> <td>10,316</td> </tr> <tr> <td>ページビュー (閲覧数)</td> <td>7,234</td> <td>6,386</td> <td>26,321</td> <td>26,321</td> <td>28,451</td> <td>27,798</td> <td>122,511</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 登録団体数 275団体(令和4年度新規登録団体 14団体)</p> <p>3) 登録講師数 47人(令和4年度新規登録講師 47人)</p> <p>4) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館・・・・・・・・登録団体への周知</li> <li>・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知</li> <li>・ボランティア①インフォメーション(毎月掲載)4,000部</li> </ul>								10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	アクセス数 (訪問者数)	1,279	1,540	1,274	1,608	2,418	2,197	10,316	ページビュー (閲覧数)	7,234	6,386	26,321	26,321	28,451	27,798	122,511
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																							
	アクセス数 (訪問者数)	1,279	1,540	1,274	1,608	2,418	2,197	10,316																							
ページビュー (閲覧数)	7,234	6,386	26,321	26,321	28,451	27,798	122,511																								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問者数および閲覧数は、10月から3月にかけて徐々に増加した。さらに多くの市民に周知するため、今後も広報活動に力を入れていきたい。</li> <li>・サイト改修をきっかけに、多くの団体・講師に登録いただいた。</li> </ul>																														

事業内容	<b>2. ポータルサイト「Hi Know!」の改修</b>																				
実績報告	<p>1) サイト改修  日野市及び業者と打ち合わせを重ね、2022年9月1日より新サイトを公開した。  <b>【改修内容】</b>  ・スマホ対応  ・デザイン性の向上  ・操作性、アクセシビリティの向上  ・「講師紹介」「学びのコラム」「オンライン図書館」の新設</p> <p>2) アンケート調査の実施  サイト改修の効果を検証するため、以下のアンケート調査を実施した。  <b>【実施期間】</b> 2023年2月1日～3月11日  <b>【回答者数】</b> 120人  <b>【回答方法】</b> Googleフォームでのオンライン回答  <b>【調査内容】</b> 新サイトの使い心地について  <b>【調査結果】</b> ※一部抜粋</p> <table border="1" data-bbox="437 813 1398 1037"> <thead> <tr> <th></th> <th>とてもよい</th> <th>よい</th> <th>改善が必要</th> <th>大きく改善が必要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デザイン</td> <td>34</td> <td>76</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>情報量</td> <td>13</td> <td>93</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>検索機能</td> <td>15</td> <td>88</td> <td>14</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 啓発イベント「イオンモールDEチャレンジ」の開催  改修後のサイトを広く周知するため、イオンモールにおいて啓発イベントを開催した。  <b>【日時】</b> 令和5年3月11日(土) 14:00～16:00  <b>【会場】</b> イオンモール多摩平の森 3階 イオンホール  <b>【内容】</b> ①Hi Know!登録講師による体験型ワークショップ  ②Hi Know!登録団体によるステージ発表  ③Hi Know!紹介コーナー  <b>【来場者数】</b> 243人</p>		とてもよい	よい	改善が必要	大きく改善が必要	デザイン	34	76	7	3	情報量	13	93	11	3	検索機能	15	88	14	3
	とてもよい	よい	改善が必要	大きく改善が必要																	
デザイン	34	76	7	3																	
情報量	13	93	11	3																	
検索機能	15	88	14	3																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートを実施した結果、新サイトはおおむね好評であった。しかしながら、情報量や検索機能について改善を求める声があったため、今後の運営に活かしていきたい。</li> <li>イオンモールで開催した啓発イベントには、乳幼児親子を中心に多くの来場者があった。出展した講師・団体にも好評であったため、次年度以降も適宜開催していきたい。</li> </ul>																				
事業内容	<b>3. まち記者の養成・活動支援</b>																				
実績報告	<p>1) まち記者講座の開催  <b>【日時】</b> 令和5年3月19日(日) 10:00～12:00  <b>【会場】</b> 中央福祉センター  <b>【講師】</b> 大池昂之氏(有限会社 大池デザイン)  <b>【内容】</b> ①写真の撮り方(座学と実践)  ②文章の書き方(座学)  ③記事の掲載方法(座学)  <b>【参加者】</b> 8人(まち記者新規登録者5人)</p>																				

	<p>2) まち記者の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まち記者登録者数 73人 (4年度 新規登録者 6人)</li> <li>• まち記者ミーティングの開催 (記者同士の交流と情報交換の場) 4/8、6/9、7/27、8/19、1/13</li> </ul>
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度のまち記者講座には、20～30代の若年層が多く参加された。若い世代の記者が興味を持って活動できるよう、イベント内容や支援内容を工夫していきたい。</li> </ul>

## 助成事業

事業名	<b>歳末たすけあい地域福祉活動助成</b>		
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業		
財源内訳	歳末たすけあい配分金、寄附金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。		
内容	<b>1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査</b>		
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	4年度（3年度申請）	18団体 1,050,000円	
	3年度（2年度申請）	19団体 970,000円	
	(4年度内訳)		
		団体名	金額
	1	四小地域ペット同行避難準備会	56,000円
	2	日野市身体障害者福祉協会	90,000円
	3	日野市視覚障害者協会	68,000円
	4	日野いずみ会	28,000円
	5	日野市障害者関係団体連絡協議会	45,000円
	6	日野市聴覚障害者協会	43,000円
	7	日野失語症者交流会「すずめ」	90,000円
	8	高次脳機能障害者と家族の会 かのきひの	26,000円
	9	HINO飛ぶ教室	85,000円
	10	ひの手話サークル	60,000円
	11	無料学習塾 日野すみれ塾	65,000円
	12	アクトフォローアップグループ	50,000円
	13	日野市赤十字奉仕団	50,000円
	14	緑を愛する会日野	50,000円
	15	ひの・I-BASYO	71,000円
16	市民サポートセンター日野	75,000円	
17	環境教育ネットワーク	50,000円	
18	クイーン・マジッククラブ	48,000円	
	合計	1,050,000円	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己財源が乏しい当事者団体やボランティアグループ等に助成することで、団体が広く市民に向けて実施する活動の一助となった。</li> <li>いくつかの団体の共通の課題として、役員の高齢化や担い手不足により事業運営がままならない様子が見受けられる。助成金の交付だけでなく活動支援等も考えていく必要がある。</li> </ul>		

事業名	<b>地域支え合い福祉活動助成</b>		
事業形態	独自事業		
財源内訳	会費、歳末たすけあい募金小地域福祉活動費		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	とものつくる		
目的	会費を原資とした助成金を、地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体等に交付し、住民主体の地域福祉活動の活性化を図る。		
内容	<b>1. 地域支え合い活動団体への助成</b>		
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	4年度	32団体 879,000円	
	(4年度内訳) ※年度末に返金のあった団体		
		団体名	金額
	1	サロン程久保	30,000円
	2	日野おはなしの会	30,000円
	3	日野市ひきこもり家族会	30,000円
	4	二水会	30,000円
	5	ふれあいあじさいサロン ※	9,124円
	6	明星地区つながりの家「アムール」	20,000円
	7	ふれあいサロン万願荘	20,000円
	8	黒川かわせみサロン	30,000円
	9	ふれあいサロン「縁がわ」世話人会	30,000円
	10	多文化ひろばあいあい	30,000円
	11	ホットやすらぎ会	30,000円
	12	健幸サロン	30,000円
	13	南新井ふれあいサロン協議会	20,000円
	14	歌で楽しむ元気会	30,000円
	15	平山ことな広場の会	30,000円
	16	なつかしい歌の会	30,000円
	17	落川元気会	30,000円
	18	エプロン・ママ	20,000円
	19	青春グループ	24,000円
	20	平山ふれあいサロン・ソレイユ	20,000円
	21	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円
	22	はっぴーらいふ ※	12,000円
	23	NPO法人 日野福祉の学校	30,000円
	24	サークルどーなつ	30,000円
25	元気な音楽の広場 ※	0円	
26	新町カフェ	30,000円	

	27	おしゃべりカフェ	30,000 円
	28	あお	30,000 円
	29	ACT	30,000 円
	30	多摩友の会ぽかぽかルーム	30,000 円
	31	なんでも話そう会	30,000 円
	32	子育て支援グループ「かるかも」	5,000 円
	令和4年度助成額		810,124 円
	内	令和4年度申請額	879,000 円
	訳	令和4年度相殺・返金額（コロナ禍での活動休止に伴う）	▲68,876 円
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響を受け、活動を縮小・休止した団体に対しては、返金や精算等を求め適正な助成方法に努めた。</li> <li>・行動規制もあったことから、昨年度思うように活動が出来ず、助成金相殺する団体がいくつか見られた。</li> <li>・原資となる会費収入の落ち込みや助成団体の余剰金等を考察し、今後の助成金のあり方について早急に検討する必要がある。</li> <li>・地域活動がだいぶ戻ってきてはいるが、団体の高齢化・後継者不足等の理由により解散・休止する団体も出てきた。そのため、年度末に助成金返金手続きを行う団体もあった。</li> </ul>		
内 容	<b>2. 地区社協助成</b>		
実績報告	南平地区社協	150,000 円	



# 生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業																			
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）																			
財源内訳	受託金																			
担当係	総務係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																			
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。																			
内容	<b>1. 相談支援</b>																			
実績報告	相談実績（電話・来所）																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>1,315件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>2,213件</td> </tr> </tbody> </table>		件数	4年度	1,315件	3年度	2,213件	<p>※特例貸付にかかる相談含む</p>												
	件数																			
4年度	1,315件																			
3年度	2,213件																			
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特例貸付が9月末で終了したため、電話及び来所件数は昨年度の約59%に減少した。</li> <li>・生活福祉資金の中で一般的な生活費に関する相談も昨年同様に少なく、特例貸付の借入で問題を抱えていた方のニーズに対応できたものと思われる。</li> <li>・特例貸付は令和5年1月から償還開始となったが、本則の貸付制度では対象にならない方に対しても貸付した経緯があり、今後、償還免除や償還猶予の件数が増加するのではないかと推測している。</li> </ul>																			
内容	<b>2. 貸付相談および貸付申請事務手続き</b>																			
実績報告	1) 貸付実績・取扱金額等																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>11件</td> <td>22,860,000円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>14件</td> <td>15,396,700円</td> </tr> </tbody> </table>		貸付件数	取扱金額	4年度	11件	22,860,000円	3年度	14件	15,396,700円	<p>内訳</p> <p>教育支援資金： 6,674,000円/9件</p> <p>福祉費 葬祭費用： 286,000円/1件</p> <p>要保護世帯向不動産担保型生活資金 15,900,000円/1件</p>									
	貸付件数	取扱金額																		
4年度	11件	22,860,000円																		
3年度	14件	15,396,700円																		
	2) 貸付実績内訳 （不動産＝「不動産担保型生活資金」、要保護＝「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」）																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福祉費</th> <th>教育支援</th> <th>緊急小口</th> <th>不動産</th> <th>要保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>1件</td> <td>9件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護	4年度	1件	9件	0件	0件	1件	3年度	4件	8件	0件	0件	2件	
	福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護															
4年度	1件	9件	0件	0件	1件															
3年度	4件	8件	0件	0件	2件															
	3) 総合支援資金の支援活動 令和4年度の相談件数：0件、貸付実績：0円 総合支援資金は平成21年10月に創設された離職者を対象とした制度で、																			

	<p>借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。借受人との月1回の面接時には就職活動の報告を受け、内容を確認し早期就労を目指した支援を行う事になっている。</p> <p>なお、制度発足から10年以上が経過し、償還期限に到達した借受人が7人、一部繰上償還者が3人いたため、資金完済者が10人増加した。</p> <table border="1" data-bbox="549 304 1311 434"> <tr> <td>借受人総数</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>支援終了者</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>現在の借受人</td> <td>16人</td> </tr> </table> <p>① 支援終了者 28人  内訳・資金完済者 20人  ・債務整理者 4人  ・借受人死亡 1人  ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人</p> <p>② 現在の借受人 16人  内訳・生活保護受給者 2人  ・債務整理中 1人  ・病気療養中 1人  ・就職者 12人 (就職率 75.0%)</p>	借受人総数	44人	支援終了者	28人	現在の借受人	16人
借受人総数	44人						
支援終了者	28人						
現在の借受人	16人						
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援資金について、給付型奨学金や授業料減免措置を利用できる借受人(世帯)が増えたため、以前より資金の利用者が少なくなっている。資金を利用する世帯も一人当たりの貸付金額は減少傾向にある。</li> <li>・令和4年9月末に特例貸付が終了した後、本則の緊急小口資金及び総合支援資金の相談が相当数増加するのではないかと考えていたが、特例貸付の終了後に相談件数が増えることはなかった。理由として、特例貸付を利用した方が多く、かなりの部分がカバーできたと考えられる。</li> <li>・本則の総合支援資金は制度発足から10年以上が経過し、今年度は10名が償還完了者となり、借受人総数44名の内20名が償還完了者となった。</li> <li>・償還中の借受人は16名であるが、ほとんどの者が償還できていない者(しない者)となっている。借受人は電話番号を変更している者が多く、電話をかけてもつながらず手紙を送付しても一切連絡はないが、こちらからの連絡は途切れないように取り組んでいる。</li> </ul>						
内 容	<b>3. 関係機関との連携</b>						
実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都社会福祉協議会の研修会はオンライン開催がメインとなった。特例貸付については令和5年1月から償還開始となるため、その対応に関する研修会に参加した。</li> </ul>						
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から日野市関係部署と連絡を密に取り合う等、集まらなくても顔の見える関係性ができており、電話によるスムーズな情報交換・共有が図れている。</li> </ul>						
内 容	<b>4. 償還相談および償還免除等の申請事務手続き</b>						
実績報告	<p>1) 償還免除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急小口資金 1件 (初回給与待ち)</li> <li>総合支援資金 2件 (生活支援費、一時生活再建費)</li> </ul> <p>2) 償還猶予</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援資金 1件 (復学のため)</li> <li>1件 (留年のため)</li> </ul>						

	<p>1件 (休学のため) 1件 (出産のため)</p> <p>3) 償還完了 教育支援資金 1件 (修学資金) 福祉資金 1件 (福祉用具購入)</p> <p>4) 一括繰上償還 教育支援資金 3件 (借受人による一括償還) 教育支援資金 1件 (連帯保証人による一括償還)</p> <p>5) 事務移管 1件 (教育支援資金 日野市から昭島市へ)</p> <p>6) 貸付停止・自主退学 2件 (高校、大学)</p>																		
事業効果・評価 方向性等	<p>・現在の生活状況や償還ができない理由等を聞き取り確認し、償還猶予や延滞利子免除の相談、状況によっては償還免除の相談等、借受人に寄り添った償還業務が重要と考え対応した。</p> <p>・コロナ禍で大変厳しい状況ではあるものの、各資金の借受人の中には予定通り償還完了となった者、繰り上げ償還した者がいるなど、社協として良い支援が出来た。</p>																		
内 容	<b>5. 日野市生活福祉資金貸付事業 (平成21年度終了事業/償還業務のみ)</b>																		
実績報告	<p>平成21年度を以って終了した日野市生活福祉資金貸付事業について、償還未済の借受人に対し償還請求を行った。</p> <p>1) 償還状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>貸付金残額</th> <th>償還額</th> <th>回収不能額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>11件</td> <td>10人</td> <td>529,000円</td> <td>10,000円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>11件</td> <td>10人</td> <td>539,000円</td> <td>3,000円</td> <td>200,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※回収不能額について 今年度は債権放棄処分件数はなし。</p>		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額	4年度	11件	10人	529,000円	10,000円	0円	3年度	11件	10人	539,000円	3,000円	200,000円
	件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額														
4年度	11件	10人	529,000円	10,000円	0円														
3年度	11件	10人	539,000円	3,000円	200,000円														
事業効果・評価 方向性等	<p>・借受人に対し定期的に郵送物を送付、居住確認を行う等償還活動を推進していく。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響もあり、回数を控えながら償還督促の書面を郵送した。</p>																		

事業名	<b>ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業</b>
事業形態	受託事業 (東京都社会福祉協議会)
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。
内 容	<b>1. 相談支援および貸付申請事務手続き</b>
実績報告	<p>①就職に有利な資格を取得するための入学準備金</p> <p>②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金</p>

	<p>養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申請により返済が免除される</p> <p>1) 実績</p> <table border="1" data-bbox="464 286 1398 427"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>480,000円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>		相談人数	貸付件数	取扱金額	4年度	1件	1件	480,000円	3年度	0件	0件	0円
	相談人数	貸付件数	取扱金額										
4年度	1件	1件	480,000円										
3年度	0件	0件	0円										
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度からスタートした「ひとり親家庭高等職業訓練」について、申請件数は少ないが、継続して支援したい。</li> <li>・今年度新たに住宅支援資金の貸付が創設され、12月から受付開始し1件の申請があった。自立支援プログラムに沿って就業等に向け意欲的に取り組む世帯に対して、家賃の貸付を行うことで、生活基盤の安定を図り、自立に向けた取組を促進することを目的としている。</li> <li>・ひとり親家庭高等職業訓練のプラン策定や制度説明は日野市セーフティネットコールセンターが担っている。今後も情報交換・共有を行い、より一層の連携を図っていく。</li> </ul>												

<p>事業名</p>	<p><b>新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付事業</b></p>
<p>事業形態</p>	<p>受託事業（東京都社会福祉協議会）</p>
<p>財源内訳</p>	<p>受託金</p>
<p>担当係</p>	<p>総務係</p>
<p>地域福祉活動計画における視点</p>	<p>ともにみまもる</p>
<p>目的</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象として、生活福祉資金貸付制度における総合支援資金(生活支援費)及び緊急小口資金を貸し付けることにより、世帯の自立促進を図ることを目的とする。(令和2年3月25日開始)</p>

内 容	1. 相談支援および貸付申請事務手続き					
実績報告	1) 実績					
			4 年度		3 年度	
	4月	緊急小口	27件	5,150,000円	62件	12,200,000円
		総合初回	16件	8,550,000円	45件	21,250,000円
		総合延長	なし	なし	35件	18,150,000円
		総合再貸付	なし	なし	42件	21,450,000円
		小 計	43件	13,700,000円	184件	73,050,000円
	5月	緊急小口	14件	2,800,000円	61件	11,950,000円
		総合初回	10件	4,950,000円	40件	21,300,000円
		総合延長	なし	なし	38件	20,400,000円
		総合再貸付	なし	なし	36件	18,900,000円
		小計	24件	7,750,000円	175件	72,550,000円
	6月	緊急小口	13件	2,460,000円	85件	16,600,000円
		総合初回	16件	8,100,000円	53件	26,150,000円
		総合延長	なし	なし	95件	49,350,000円
		総合再貸付	なし	なし	38件	20,100,000円
		小計	29件	10,560,000円	271件	112,200,000円
	7月	緊急小口	9件	1,750,000円	38件	7,350,000円
		総合初回	7件	3,750,000円	46件	24,150,000円
		総合延長	なし	なし	7件	3,750,000円
		総合再貸付	なし	なし	45件	23,550,000円
		小計	16件	5,500,000円	136件	58,800,000円
	8月	緊急小口	14件	2,620,000円	33件	6,450,000円
		総合初回	7件	3,750,000円	57件	29,610,000円
		総合延長	なし	なし	なし	なし
		総合再貸付	なし	なし	73件	38,100,000円
小計		21件	6,370,000円	163件	74,160,000円	
9月	緊急小口	18件	3,600,000円	43件	8,320,000円	
	総合初回	8件	4,050,000円	21件	11,550,000円	
	総合延長	なし	なし	なし	なし	
	総合再貸付	なし	なし	109件	57,000,000円	
	小計	26件	7,650,000円	173件	76,870,000円	
			4 年度		3 年度	
	10月	緊急小口	令和4年9月末で受付終了		28件	5,300,000円
		総合初回			25件	12,180,000円
		総合延長			なし	なし
		総合再貸付			47件	24,750,000円
		小計			100件	42,230,000円
11月	緊急小口			37件	7,400,000円	
	総合初回			27件	14,200,000円	

		総合延長		なし	なし
		総合再貸付		51件	26,550,000円
		小計		115件	48,150,000円
	12	緊急小口		20件	4,000,000円
		総合初回		17件	8,300,000円
		総合延長		なし	なし
		総合再貸付		18件	9,600,000円
		小計		55件	21,900,000円
	1月	緊急小口		18件	3,500,000円
		総合初回		14件	7,500,000円
		総合延長		なし	なし
		総合再貸付		3件	1,500,000円
		小計		35件	12,500,000円
	2月	緊急小口		23件	4,600,000円
		総合初回		16件	7,750,000円
		総合延長		なし	なし
		総合再貸付		なし	なし
		小計		39件	12,350,000円
	3月	緊急小口		25件	5,000,000円
		総合初回		11件	4,950,000円
総合延長			なし	なし	
総合再貸付			なし	なし	
小計			36件	9,950,000円	

		4年度		3年度	
総計	緊急小口	95件	18,380,000円	473件	92,670,000円
	総合初回	64件	33,150,000円	372件	188,890,000円
	総合延長	なし	なし	175件	91,650,000円
	総合再貸付	なし	なし	462件	241,500,000円
	合計	159件	51,530,000円	1,482件	614,710,000円

2) 事業開始からの総計

受付期間 令和2年3月25日から令和4年9月30日まで

緊急小口	1815件	357,070,000円
総合初回	1340件	693,140,000円
総合延長	666件	347,900,000円
総合再貸付	892件	468,800,000円
合計	4713件	1,866,910,000円

事業効果・評価  
方向性等

・令和4年度の申請期間は4月から9月までの6か月間であり貸付制度も終了時期を迎えた事もあり、件数・金額ともに令和3年度の10%程度となった。  
・本特例貸付の実施期間については事業開始当初令和2年7月末終了という事だったが、コロナ禍の状況が改善されず9月末、12月末、令和3年3月末、6月末、8月末、11月末、令和4年3月末、6月末、そして最終的には9月末までと再三に渡り延長された。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合支援資金の延長は令和3年6月末に、総合支援資金の再貸付は令和3年12月末に受付を終了した。</li> <li>・生活福祉資金の特例貸付を終了した世帯や特例貸付が不承認とされた世帯等へは、「新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金」制度が創設され、申請窓口は日野市セーフティネットコールセンターが担当した。</li> <li>・また、住居を失う恐れがある方へは、「住居確保給付金」制度を利用することが出来、こちらも申請窓口は日野市セーフティネットコールセンターが担当する。</li> <li>・相談者に対し併せてフードパントリーの紹介も行い、多くの方々にご利用いただき、更に複数回利用のリピーターも多い。フードパントリー事業と連携を図り、食に関する困りごとを抱えている方々に良い支援を行うことが出来た。</li> </ul>																								
<p>内 容</p>	<p><b>2. 償還相談および償還免除等の申請事務手続き</b></p>																								
<p>実績報告</p>	<p>1) 特例貸付 全申請件数 (2020/3月～2022/9月) と免除件数・免除率 4年度の免除対象項目は緊急小口資金と総合支援資金 (初回) 免除件数は、2022/9月から2023/3月まで</p> <table border="1" data-bbox="435 792 1367 1070"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>免除件数</th> <th>免除率%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>1,815</td> <td>605</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回</td> <td>1,340</td> <td>496</td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 延長</td> <td>666</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 再貸付</td> <td>892</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>4,713</td> <td>1,101</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	件数	免除件数	免除率%	緊急小口資金	1,815	605	33.3	総合支援資金 初回	1,340	496	37.0	総合支援資金 延長	666	—	—	総合支援資金 再貸付	892	—	—	総件数	4,713	1,101	—
項目	件数	免除件数	免除率%																						
緊急小口資金	1,815	605	33.3																						
総合支援資金 初回	1,340	496	37.0																						
総合支援資金 延長	666	—	—																						
総合支援資金 再貸付	892	—	—																						
総件数	4,713	1,101	—																						
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年1月から緊急小口資金と総合支援資金 (初回) 分の償還が開始された。ただし、令和3年度もしくは令和4年度の課税/非課税証明書が「非課税」の場合は償還免除の対象となり、東京都社会福祉協議会の事務センター宛てに申請書類を送付することで償還免除となる。</li> <li>・令和5年1月から償還開始した借受人の中で、東京都社会福祉協議会が設定した要件 (離職、入院中等) に当てはまる場合は、必要書類を添えて申請する事で1年間の償還が猶予される。償還猶予は何度でも申請できる。</li> <li>・また、課税世帯のため償還免除にはならず、償還猶予の要件を満たしていないが収入が少なく、定額での償還が難しいとの申し出があった場合、詳しい聞き取りをした上で減額での償還対応にも応じている。</li> <li>・償還免除の申請は、基本的に借受人が必要書類を用意し東京都社会福祉協議会の事務センターに送付する事になっているが、借受人の中には何をどのように用意しなければならないのかが分からない方もいる。その方々は社協に電話があり相談を受けることになるので、提出書類の記入方法を案内 (支援) している。</li> <li>・今後、住所を変更していない方、住所変更しても社協に届けを出さない方等、償還に関する案内が届いていない方々への対応をどのようにしていくかが課題になってくると思われる。</li> </ul>																								

事業名	ヒカリ興業奨学基金																				
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）																				
財源内訳	東京都社会福祉協議会による予算執行（当会では広報・相談・受付のみ）																				
担当係	総務係																				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																				
目的	本奨学金は、平成17年度「ヒカリ興業株」からの寄付により基金を設立し、翌年度の入学者から給付開始したものである。平成23～24年度は募集停止。平成25年度（翌年度の入学者）から募集再開した。当会では本奨学金の周知・受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。																				
事業内容	申請書類の受付・奨学生の決定																				
実績報告	<p>1) 内容</p> <table border="0"> <tr> <td>募集人数（都内）</td> <td>大学等</td> <td>3人</td> <td>高校等</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>交付金額（年額）</td> <td>大学等</td> <td>240,000円</td> <td>高校等</td> <td>150,000円</td> </tr> </table> <p>※いずれも所定就学期間のみ</p> <p>2) 実績（申請者数・交付決定者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請者</th> <th>交付決定者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>4人（大学等3人、高校等1人）</td> <td>1人（大学等）</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>4人（大学等2人、高校等2人）</td> <td>1人（高校等）</td> </tr> </tbody> </table>		募集人数（都内）	大学等	3人	高校等	4人	交付金額（年額）	大学等	240,000円	高校等	150,000円		申請者	交付決定者	4年度	4人（大学等3人、高校等1人）	1人（大学等）	3年度	4人（大学等2人、高校等2人）	1人（高校等）
募集人数（都内）	大学等	3人	高校等	4人																	
交付金額（年額）	大学等	240,000円	高校等	150,000円																	
	申請者	交付決定者																			
4年度	4人（大学等3人、高校等1人）	1人（大学等）																			
3年度	4人（大学等2人、高校等2人）	1人（高校等）																			
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内中学校ならびに市内所在する都立高校に募集要項を配布し、奨学生募集を行い、希望する生徒・保護者のほか、教員からの問い合わせもあった。</li> <li>奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だよりでの広報の他に、日野市関係部署（セーフティネットコールセンターや生活福祉課等）に本奨学金を案内し必要な方へ周知することができた。</li> <li>募集人数が非常に少ない奨学金ではあるが、広報周知に力を入れ必要な方へ情報を届けることで、少ないながらも毎年日野市から申請した方に交付決定がおりている。今後も広報周知を徹底していきたい。</li> </ul>																				



# 権利擁護センター日野事業

事業名	<b>地域福祉権利擁護事業</b>					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金、利用料、利息					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。					
内容	<b>1. 地域福祉権利擁護事業</b>					
実績報告	1) 地域福祉権利擁護事業利用状況 認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。					
	①令和4年度相談件数及び3月末契約者数					
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	3月末契約件数	
	4年度	3336件	18名	15名	76名	
	3年度	2829件	14名	24名	73名	
	②3月末契約者内訳					
		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者等	その他・不明	合計
	総数	45名	15名	8名	8名	76名
	内生活保護受給者数	19名	2名	5名	8名	34名
	③相談援助内容内訳					
	対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者等	その他・不明	合計
問合せ件数		12件	1件	3件	5件	21件
初回相談件数		3件	6件	3件	5件	46件
相談援助件数（継続）		2024件	549件	291件	405件	3269件
合計		2068件	556件	297件	415件	3336件
2) 生活支援員連絡会 事務連絡、活動状況報告の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。2回目は消費生活センターによる研修も行った。 (生活支援員登録数 26名)						
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	6/3	11名	9/15	15名	1/19	12名

	<p>3) コロナ禍における対応          コロナ禍においても、専門員及び支援員の業務は、ほぼ通常と変わりなく継続することができた。          ただし、利用者や支援者あるいはその家族の感染により、状況に応じての対応が必要な場合もあった。また、施設・病院は面会に制限があることが多く、対応が難しいこともあった。</p> <p>4) 担当者の資質向上のための研修等参加          ①専門員向け研修</p> <table border="1" data-bbox="459 495 1402 757"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/22</td> <td>東京都社会福祉協議会 専門員研修 「生活保護・生活困窮者自立支援事業について」</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>9/20</td> <td>全国社会福祉協議会 専門員実践力強化研修会 動画配信・オンライン</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>10/4</td> <td>全社協 専門員研修</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>②支援員向け研修</p> <table border="1" data-bbox="459 857 1402 1081"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/15</td> <td>「日野市で発生している高齢者被害について」 講師 日野市消費生活センター消費生活相談員</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>動画視聴</td> <td>東社協現任支援員研修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>1/11</td> <td>多摩総合精神保健福祉センター研修</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 他市との連携・情報交換          南多摩ブロック職員の会 権利擁護担当者会議 10/7 (オンライン)</p>	開催日	内容	参加者	6/22	東京都社会福祉協議会 専門員研修 「生活保護・生活困窮者自立支援事業について」	2名	9/20	全国社会福祉協議会 専門員実践力強化研修会 動画配信・オンライン	1名	10/4	全社協 専門員研修	1名	開催日	内容	参加者	9/15	「日野市で発生している高齢者被害について」 講師 日野市消費生活センター消費生活相談員	15名	動画視聴	東社協現任支援員研修	3名	1/11	多摩総合精神保健福祉センター研修	2名
開催日	内容	参加者																							
6/22	東京都社会福祉協議会 専門員研修 「生活保護・生活困窮者自立支援事業について」	2名																							
9/20	全国社会福祉協議会 専門員実践力強化研修会 動画配信・オンライン	1名																							
10/4	全社協 専門員研修	1名																							
開催日	内容	参加者																							
9/15	「日野市で発生している高齢者被害について」 講師 日野市消費生活センター消費生活相談員	15名																							
動画視聴	東社協現任支援員研修	3名																							
1/11	多摩総合精神保健福祉センター研修	2名																							
<p>事業効果・評価          方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長引くコロナ禍の中でも生活支援員の理解があったため、事業を継続することができた。</li> <li>・東京都社会福祉協議会の運営適正化委員会による現地調査が9月27日に実施された。コロナ禍のため、事前提出の調査票をもとにオンラインでの実施となった。大きな問題はなかったが、いくつか指摘はあり、対応可能なものについてはすぐに改めた。対応が難しい指摘もあり、継続的な検討が必要である。</li> <li>・本人からの回収が不可能になった状況で、未収金として計上を続けていた2名分の利用料を、今後も回収の見込みがないため不能欠損で処理した。</li> </ul>																								

<p>事業名</p>	<p><b>財産保全・管理サービス</b></p>
<p>事業形態</p>	<p>独自事業</p>
<p>財源内訳</p>	<p>利用料</p>
<p>担当係</p>	<p>権利擁護係</p>
<p>地域福祉活動計画          における視点</p>	<p>ともにみまもる</p>
<p>目的</p>	<p>判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。</p>
<p>内容</p>	<p><b>1. 財産保全・管理サービスの実施</b></p>

実績報告	1) 財産管理・保全サービス 身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金の出し入れや日常生活に必要な各種手続き代行、書類預かりサービスを提供した。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	3月末 契約件数
	4年度	14件	0件	0件	2件
	3年度	37件	0件	1件	2件
事業効果・評価 方向性等	・相談はあるが、他の方法で対応ができ、件数は増えていない。				

事業名	<b>応急日常金銭管理サービス</b>				
事業形態	独自事業				
財源内訳	利用料				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる				
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方が制度の狭間で困難に陥ることなく、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
内容	<b>1. 応急日常金銭管理サービスの実施</b>				
実績報告	1) 応急日常金銭管理 成年後見制度の申立から審判が下りるまでの間の応急支援として、行政からの依頼を受け、地域福祉権利擁護事業と同様のサービスを実施した。				
		相談・支援	対応利用者数		
	4年度	58件	1名		
	3年度	38件	1名		
事業効果・評価 方向性等	・地域福祉権利擁護事業から成年後見制度の利用までの一貫した支援を行う体制は整っている。				

事業名	<b>成年後見制度利用者支援事業（新規）</b>				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる				
目的	たとえ認知症や障害により一人では日常生活を送ることや、判断（意思決定）が難しくなったとしても、「地域共生社会の実現」の視点から、自らにとって必要なことを主張したり地域社会に参画してその人らしい生活を継続できるよう支援することが求められている。そのため、地域の権利擁護支援体制を総合的に捉え、本人の意思決定支援・身上保護を重視した必要な成年後見制度等の支援につなげ、合わせて成年後見制度の不正防止機能を果たす。				

内 容	1. 成年後見制度における相談・支援の充実																																	
実績報告	<p>成年後見制度利用促進の中核機関として、成年後見制度が必要な方の利用を支援するための業務の中で、特に、後見人就任のためのマッチング、更に就任後の支援を行う。また、一連の流れの中で、一次相談の窓口としての役割、また、広報・啓発、市内の関係機関のネットワークづくり等に力を入れた。</p> <p>1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行った。</p> <p>2) 必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の紹介を案内、さらに、行政書士や社会保険労務士の団体との関係も作りながら後見人等候補者の推薦依頼の支援を行った。</p> <p>3) 後見が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申し立てや多摩南部成年後見センターの利用も視野に入れた総合的な支援を実施した。特に今年度は日野市成年後見制度利用に係る費用助成制度の改正に向けて協力した。</p> <p>4) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人の福祉サービスの利用や地域生活課題についての相談を受け、必要な情報提供や支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="443 981 1002 1070"> <tr> <td>4年度</td> <td>相談・支援</td> <td>338件</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>相談・支援</td> <td>341件</td> </tr> </table> <p>5) 担当者の資質向上のための研修等参加</p> <table border="1" data-bbox="443 1153 1423 1646"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動画配信</td> <td>成年後見制度推進機関フォローアップ研修 「成年後見制度の現状と課題」</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>10/4</td> <td>全社協 専門員研修</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>11/9-11</td> <td>全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修①</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>令和4年度第2回たかはた圏域医療と介護の勉強会</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>1/18</td> <td>令和4年度多摩南部成年後見センター 「家庭裁判所研修」</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2/6, 7, 15</td> <td>全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修②</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>3/2</td> <td>K ネット研修</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>3/3</td> <td>成年後見フォローアップ研修</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>	4年度	相談・支援	338件	3年度	相談・支援	341件	開催日	内容	参加者	動画配信	成年後見制度推進機関フォローアップ研修 「成年後見制度の現状と課題」	1名	10/4	全社協 専門員研修	1名	11/9-11	全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修①	1名	11/22	令和4年度第2回たかはた圏域医療と介護の勉強会	2名	1/18	令和4年度多摩南部成年後見センター 「家庭裁判所研修」	2名	2/6, 7, 15	全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修②	1名	3/2	K ネット研修	3名	3/3	成年後見フォローアップ研修	2名
4年度	相談・支援	338件																																
3年度	相談・支援	341件																																
開催日	内容	参加者																																
動画配信	成年後見制度推進機関フォローアップ研修 「成年後見制度の現状と課題」	1名																																
10/4	全社協 専門員研修	1名																																
11/9-11	全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修①	1名																																
11/22	令和4年度第2回たかはた圏域医療と介護の勉強会	2名																																
1/18	令和4年度多摩南部成年後見センター 「家庭裁判所研修」	2名																																
2/6, 7, 15	全社協 成年後見制度利用促進体制整備研修②	1名																																
3/2	K ネット研修	3名																																
3/3	成年後見フォローアップ研修	2名																																
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までも相談対応はしてきたが、今年度から成年後見制度利用促進の中核機関としての委託を受けたことで、より市民や行政等の関係機関からの認知度が高くなってきている。</li> <li>・今年度から権利擁護センター日野の職員を1名増員したことで、より、相談・支援の充実を図っていきたい。</li> </ul>																																	
内 容	2. 親族後見人及び市民後見人等のサポート																																	
実績報告	<p>1) 検討・支援会議の実施</p> <p>本人にふさわしい権利擁護について検討するための「検討・支援会議」の実施について、4年度は準備段階として、権利擁護センター日野の運営委員会の中で時間をとって実施した。</p>																																	

2) 「成年後見制度説明会」

毎年開催している、行政（福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課）、多摩南部成年後見センターと共催の市民向け制度説明会を行った。  
4年度は、社協が担当する内容を、市民・親族後見人への支援の一環として、「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け実践学習会及び交流会」として実施した。

日にち	内容・講師	参加者
10/5 (水)	「後見人の仕事実践編」 ～親族・市民後見人向け実践学習会&交流会～ 講師 北村智史 氏 (司法書士)	22人
10/15 (水)	「障害者と成年後見制度」 講師 大庭百合子 氏 (社会福祉士・精神保健福祉士)	20人
10/26 (水)	「任意後見・終活等について」 講師 飯沼一将 氏 (社会福祉士・精神保健福祉士)	19人
11/2 (水)	「未来の家族と自分のために残せること」 (成年後見制度の概要と家族信託等について) 講師 斎藤竜 氏 (司法書士)	29人

- \*時間はすべて 14:00～16:00
- \*会場はすべて市役所 505 会議室
- \*1回目以外は説明会終了後に相談会を実施
- \*5/20 に事前打ち合わせを行った。

事業効果・評価  
方向性等

・9月には、東京都のヒアリングが福祉政策課同席のもと行われたが、会議の在り方、後見人の支援等、他市も参考にしながら、今後に向けて検討・整備すべき課題も多い。  
・今年度から、親族後見人及び市民後見人等のサポートを行うため、交流の場を設けた。おおむね好評だったが周知には工夫が必要と感じている。

内 容

**3. 後見監督の実施**

実績報告

1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦

市民後見人養成講習の修了者を、後見人候補者として登録している。地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を整えた。  
(市民後見人候補者登録数 12名)

2) 市民後見人等の受任と法人後見監督の実施

身寄りがなく、セーフティネットの利用対象にならない方に市民後見人等が就任することにより、被後見人等にとって意思が尊重される生活を送ることに寄与した。

当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人等に対し、当会で後見監督を受任した。

市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中のもの
4名	4件	1件

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人等から3か月ごとの定期報告を受け、適切な後見業務を行っているかどうか監督することができた。</li> <li>・市民後見人等に対して、監督業務だけでなく相談にも対応した。</li> <li>・現在、地権利用者1名の後見制度利用への移行に伴い、受任の準備中である。今後も市民後見人が受任することが適切な事例があれば進めていく。</li> </ul>													
内 容	<b>4. 事業・制度広報周知</b>													
実績報告	<p>1) 成年後見制度利用者支援事業 チラシ作成</p> <p>2) 権利擁護センター日野 パンフレット作成</p> <p>3) 成年後見制度利用者事業 説明</p> <p>①日野市民生・児童委員協議会会長会 4/14 地区民生・児童委員協議会 西部 5/17 中部 5/19 東部 5/20 北部 5/24 南部 7/22</p> <p>②地域包括支援センター連絡会 7/12 包括社会福祉士連絡会 4/28, 9/7, 12/13, 2/21</p> <p>③自立支援協議会 利用者支援部会 7/19</p> <p>4) ひの社協だよりへの掲載</p>													
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も希望に合わせて、介護支援事業所や家族会等へ説明をしていく。さらに、自治会やサロン等といった細かい範囲での説明も行っていきたい。</li> </ul>													
内 容	<b>5. 他機関との連携強化</b>													
実績報告	<p>1) 権利擁護センター運営委員会 (年5回開催) 弁護士、司法書士、社会福祉士、精神科医、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政で構成、市民後見人推薦依頼の検討、成年後見制度の利用促進のための検討・支援会議等を行った。定例の年4回(5/20, 9/2, 11/25, 2/24)の開催に加え、今年度は困難事例の検討のため臨時の運営委員会を1回(10/21)開催した。</p> <p>2) 成年後見制度関係機関ネットワーク会議 (年2回開催) 昨年度はコロナ禍のためオンラインでの実施だったが、今年度は1回目は対面で、2回目はオンラインで実施となった。</p> <table border="1" data-bbox="459 1496 1428 1926"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/31</td> <td>講演及び交流会 「家族信託とは」講師 斎藤竜 氏 (司法書士)</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>3/22</td> <td>講演及び交流会 「成年後見制度と医療の連携」 講師 多摩平の森の病院 認知症疾患医療センター 高橋龍太郎 氏 (医師) 高橋史子 氏 (精神保健福祉士) 林直哉 氏 (認知症看護認定看護師)</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 関係機関の連絡会等への参加 (オンライン参加あり)</p> <table border="1" data-bbox="459 1989 1428 2078"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/26</td> <td>令和4年度第1回利用者支援区市町村連絡会</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	8/31	講演及び交流会 「家族信託とは」講師 斎藤竜 氏 (司法書士)	39人	3/22	講演及び交流会 「成年後見制度と医療の連携」 講師 多摩平の森の病院 認知症疾患医療センター 高橋龍太郎 氏 (医師) 高橋史子 氏 (精神保健福祉士) 林直哉 氏 (認知症看護認定看護師)	28人	開催日	内容	5/26	令和4年度第1回利用者支援区市町村連絡会
開催日	内容	参加者												
8/31	講演及び交流会 「家族信託とは」講師 斎藤竜 氏 (司法書士)	39人												
3/22	講演及び交流会 「成年後見制度と医療の連携」 講師 多摩平の森の病院 認知症疾患医療センター 高橋龍太郎 氏 (医師) 高橋史子 氏 (精神保健福祉士) 林直哉 氏 (認知症看護認定看護師)	28人												
開催日	内容													
5/26	令和4年度第1回利用者支援区市町村連絡会													

	5/27	令和4年度厚生労働省市町村セミナー
	7/22	令和4年度地域巡回自治体セミナー
	7/28	令和4年度成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議
	9/14	多摩南部成年後見ネットワーク会議
	9/26	第6回スーパーバイザーによる事例検討会
	10/17	令和4年度成年後見利用促進基本計画に関わる連絡会 (多摩地区)
	11/24	多摩南部成年後見センター 後見人交流会
	11/28	東京都成年後見地域連携ネットワーク会議 東京都成年後見制度推進機関連絡会
	12/1	地域福祉権利擁護事業 センター長会議
	12/19	令和4年度第2回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議
	2/3	地域福祉権利擁護事業業務連絡会
	2/14	令和4年度第1回多摩南部成年後見センター 市外担当者ネットワーク会議
	2/20	家庭裁判所との連絡会
	2/27	令和4年度第2回利用者支援区市町村連絡会
	3/9	令和4年度第3回成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度利用促進のため、弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、行政、地域包括支援センター等との地域連携ネットワークによる相談・支援の体制づくりを進めた。</li> <li>・来年度以降、日野市の権利擁護全般を検討する協議会の設置の検討も必要である。</li> </ul>	
内 容	<b>6. 法人後見実施機関への活動支援</b>	
実績報告	現状では特に行っていない。 成年後見関係機関ネットワーク会議の案内をしたが、参加はなかった。	
事業効果・評価 方向性等	日野市内に1か所の法人後見機関と連絡を取って、まずは緩やかにつながっていく。	

## 福祉人材育成事業

事業名	<b>手話通訳者研修事業</b>	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	日野市登録手話通訳者の技能の習得およびレベルアップを目指す。	
内容	<b>1. 登録手話通訳者の資質向上</b>	
実績報告	1) 研修 日野市登録手話通訳者を対象に、通訳者としてのスキルアップを目的とした研修を実施した。	
	開催日	内容
	10/6	事例検討（ハイブリッド） 「デマンド・コントロール・スキーマー」 ※通訳現場で起きたことに対して客観的に検証や通訳現場で起きやすいハラスメントや問題について等のアドバイス 講師 高木真知子 氏（手話通訳士）
	11/10	講演「ろう者への支援について」（ハイブリッド） ※高齢・認知症・メンタルの問題等を抱えるろう者への支援を事例から学ぶ 講師 森せい子 氏（聴覚障害者情報文化センター）
	12/1	講演「遠隔手話通訳の技術」 ※具体的な方法や状況、通訳者が気を付けるべき点（技術・工夫・コツ）を学ぶ 講師 江原こう平 氏（東京都手話通訳問題研究会）
	2) 打合せ 1回（6/2）	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会とともに、手話の技能習得及びレベルアップを図ることを目的とした研修プログラムを検討、企画した。</li> <li>今後も当事者の意見を参考にし、充実したプログラムを作っていく。</li> </ul>	

事業名	<b>手話講習会事業</b>	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	手話言語および手話表現技術、聴覚障害（者）に関する基本的な知識を習得することを目指す。健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。 また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。	



内 容	1. 手話講習会の実施																																							
実績報告	厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話の普及啓発を目的としたコミュニケーションコース、手話通訳者を目指す通訳養成コースの2コース8クラス制で実施。																																							
	1) 内容																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>クラス</th> <th>定員</th> <th>申込者数</th> <th>受講決定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">コミュニケーション</td> <td>入門昼</td> <td>20人</td> <td>28人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>入門夜</td> <td>20人</td> <td>27人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>基礎昼</td> <td>14人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>基礎夜</td> <td>14人</td> <td>15人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">通訳養成</td> <td>基本昼</td> <td>15人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>基本夜</td> <td>15人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>応用実践</td> <td>10人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>試験対策</td> <td>8人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	コース	クラス	定員	申込者数	受講決定者数	コミュニケーション	入門昼	20人	28人	20人	入門夜	20人	27人	20人	基礎昼	14人	12人	12人	基礎夜	14人	15人	14人	通訳養成	基本昼	15人	7人	7人	基本夜	15人	5人	5人	応用実践	10人	5人	5人	試験対策	8人	1人	1人
	コース	クラス	定員	申込者数	受講決定者数																																			
	コミュニケーション	入門昼	20人	28人	20人																																			
		入門夜	20人	27人	20人																																			
		基礎昼	14人	12人	12人																																			
		基礎夜	14人	15人	14人																																			
	通訳養成	基本昼	15人	7人	7人																																			
		基本夜	15人	5人	5人																																			
応用実践		10人	5人	5人																																				
試験対策		8人	1人	1人																																				
4年度			101人	83人																																				
3年度			85人	56人																																				
2) 選考																																								
①通訳養成コース受講希望者に対する面談の実施																																								
4/26 (火) 10時～基本昼、応用実践クラス/19時～基本夜クラス																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>申込者数</th> <th>受講決定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本昼</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>基本夜</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>応用実践</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	申込者数	受講決定者数	基本昼	7人	6人	基本夜	5人	5人	応用実践	5人	5人																												
クラス	申込者数	受講決定者数																																						
基本昼	7人	6人																																						
基本夜	5人	5人																																						
応用実践	5人	5人																																						
※試験対策クラスは、定員を超えない場合は面談なし。																																								
②選考委員会の実施 4/28 (木)																																								
コミュニケーションコースは定員を超える申込があったため、当会会長による抽選を行った。 立会人：手話講習会検討委員																																								
3) 開閉講式																																								
コロナ禍のため全クラス集合型は中止し、授業内で行った。																																								
4) 入門夜クラス オンライン授業の実施																																								
オンライン授業開始に向けた事前打合せ 4/20 (水)																																								
必要な機材や配置の確認、実施方法、役割分担等の検討を行った。																																								
5) 講演会の開催																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用実践</td> <td>           日時 7/5 (火) 10:00～12:00            テーマ 「手話通訳者の心構え」            講師 須崎利花 氏 (東京都手話通訳問題研究会)         </td> </tr> <tr> <td>入門・基礎合同</td> <td>           日時 10/25 (水) 10:00～12:00/19:00～21:00            テーマ 「手話を学ぶ皆さんへ」            講師 原田洋行 氏 (東京手話通訳等派遣センター)         </td> </tr> </tbody> </table>	クラス	内容	応用実践	日時 7/5 (火) 10:00～12:00 テーマ 「手話通訳者の心構え」 講師 須崎利花 氏 (東京都手話通訳問題研究会)	入門・基礎合同	日時 10/25 (水) 10:00～12:00/19:00～21:00 テーマ 「手話を学ぶ皆さんへ」 講師 原田洋行 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																		
クラス	内容																																							
応用実践	日時 7/5 (火) 10:00～12:00 テーマ 「手話通訳者の心構え」 講師 須崎利花 氏 (東京都手話通訳問題研究会)																																							
入門・基礎合同	日時 10/25 (水) 10:00～12:00/19:00～21:00 テーマ 「手話を学ぶ皆さんへ」 講師 原田洋行 氏 (東京手話通訳等派遣センター)																																							

	<table border="1"> <tr> <td>基本</td> <td>日時 11/22 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 テーマ「手話通訳者とは」 講師 江草尚美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> </tr> </table> <p>6) ろうゲスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応用実践</td> <td>日時 10/11 (火) 10:00~12:00 テーマ 「ろう者とのコミュニケーション」 ろうゲスト 堀場照美 氏</td> </tr> <tr> <td>入門・基礎合同</td> <td>日時 2/1 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 ろうゲスト 秋元節子 氏、有山美代子 氏 田原佳奈 氏</td> </tr> </tbody> </table>	基本	日時 11/22 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 テーマ「手話通訳者とは」 講師 江草尚美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	クラス	内容	応用実践	日時 10/11 (火) 10:00~12:00 テーマ 「ろう者とのコミュニケーション」 ろうゲスト 堀場照美 氏	入門・基礎合同	日時 2/1 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 ろうゲスト 秋元節子 氏、有山美代子 氏 田原佳奈 氏
基本	日時 11/22 (火) 10:00~12:00/19:00~21:00 テーマ「手話通訳者とは」 講師 江草尚美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)								
クラス	内容								
応用実践	日時 10/11 (火) 10:00~12:00 テーマ 「ろう者とのコミュニケーション」 ろうゲスト 堀場照美 氏								
入門・基礎合同	日時 2/1 (水) 10:00~12:00/19:00~21:00 ろうゲスト 秋元節子 氏、有山美代子 氏 田原佳奈 氏								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、夜クラスを中止したが、令和4年度は少しでも入口を広げるために、夜クラスを再開した。</li> <li>・昨年から引き続き集合型の開講式の中止、講習会定員の削減、パーティションの使用やマスクの着用等、感染対策を万全にし、講師助手や受講生が安心して手話ができる環境を整えて実施した。</li> <li>・入門(昼・夜)、基礎夜クラス以外の申込者は、定員を下回る数だった。令和2年度は講習会が全面中止、令和3年度は定員の削減と夜クラスを廃止したことで、受講歴が2年以上の方が減少したことが要因と考えている。</li> <li>・新たな試みとして入門夜クラスはオンラインにて授業を実施した。受講生からは自宅からリラックスして受講できる、育児の合間に参加できると好評を得ている。</li> <li>・講師からはマスクを外せるので表情が分かりやすい一方、手話の向き等が伝えづらく、間違った手話を覚えないう配慮が必要との意見があった。また、オンライン授業用の機材準備や片付けを始め、zoom操作をしながら講師(聴覚障害者)の通訳や受講生の表現の確認を行う等と助手の負担が大きかった。</li> </ul>								
内 容	<b>2. 保育制度の拡充</b>								
実績報告	受講生の保育希望者に対し、日野市保育協力員制度を活用し保育サービスを提供した。 保育利用者 3人(入門2人、応用実践1人)								
事業効果・評価 方向性等	・30年度にコミュニケーションコース入門(昼)クラスで保育制度を導入、元年度に基礎(昼)クラス、3年度は通訳養成コース基本及び応用実践クラスに導入することができ、子育て世代の方の手話を学ぶ環境を整えることができた。								
内 容	<b>3. 手話通訳者の育成</b>								
実績報告	1) 手話通訳者全国統一試験説明会(オンライン)への出席 2) 手話通訳者全国統一試験合格者 2人								
事業効果・評価 方向性等	・3年度に引き続き4年度も手話通訳者全国統一試験合格者が2人いた。5年度も合格者を輩出できるように、関係者と講習内容を協議しながら進めていきたい。								

内 容	<b>4. 講師・助手会議等の開催</b>
実績報告	1) 選考委員会 1回開催 (4/26) 2) 講師助手会議 1回開催 (4/28) 3) 次年度検討会 2回開催 (7/22, 1/31)
事業効果・評価 方向性等	・講師助手を担う3団体(日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、ひの手話サークル)及び障害福祉課と日頃から密に連絡を取り合い、講習会実施に取り組んだ。この関係性を継続し、日野市の障害福祉の向上に寄与したい。

事業名	<b>福祉のしごと相談会</b>				
事業形態	共催事業(東京都福祉人材センター)				
財源内訳	歳末たすけあい配分金、受託金(日野市)				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ				
目 的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。				
内 容	<b>1. 相談・面接会の実施</b>				
実績報告	1) 共催 ハローワークハ王子				
	2) 実績 会場はいずれもイオンモール多摩平の森イオンホール				
		開催日・主催	事業所数	参加者	採用人数
	4年度	10/7(金) 日野市、東京都福祉 人材センター、社協	14社 高齡 5社 障害 7社 児童・保育 2社	28人	3人 高齡1人 障害2人 保育0人
		2/10(金) 日野市	15社 高齡 5社 障害 5社 障害・児童 4社 保育 1社		5人 高齡2人 障害2人 保育1人
	3年度	2/10(金) 日野市、東京都福祉 人材センター、社協	15社 高齡 6社 障害・児童 3社	46人	9人 高齡1人 障害・児童 1人 障害7人
障害 4社 保育 2社					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回は、出展事業所のうち1社が、新型コロナウイルス感染症の影響により当日欠席となった。</li> <li>・第2回は、大雪警報が出た中での開催となり、参加者数は申込者数の約半数となったが、熱心に相談に臨む参加者の姿が見られ、第1回以上の採用者数につながった。</li> <li>・4年度はいずれの事業所も、これまでより人材確保が困難になっているとの声か聞かれた。</li> </ul>				

事業名	<b>福祉人材育成研修事業</b>		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係、総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を行う。また人材の確保のため福祉施設の就労相談のための見学会を実施する。		
内容	<b>1. 人材育成のための研修会</b>		
実績報告	1) 経営者・管理者向け（全2回）		
	開催日	内容	参加者
	7/28午後	何かあっても福祉サービスを続けるには～BCP＝福祉防災計画の策定と運用～※施設職員合同	35人
	3/10午後	情報セキュリティ研修	9人
	2) 施設職員向け（全5回）		
	開催日	内容	参加者
	7/28 午後	何かあっても福祉サービスを続けるには～BCP＝福祉防災計画の策定と運用～※経営者管理者合同	35人
	9/9夜間	アンガーマネジメント※訪問介護員合同	11人
	2/21午後	レクリエーション研修	10人
	12/9夜間	もう迷わない！介護記録の書き方研修 ※訪問介護員合同	11人
	2/16午後	リスクマネジメント研修※訪問介護員合同	15人
	3) 訪問介護員向け（全3回）		
	開催日	内容	参加者
	9/9 夜間	アンガーマネジメント※施設職員合同	11人
	12/9夜間	もう迷わない！介護記録の書き方研修 ※施設職員合同	11人
	2/16午後	リスクマネジメント研修※施設職員合同	15人
	4) ケアマネジャー向け（全4回）		
	開催日	内容	参加者
	9/14 午後	運営指導とケアプラン点検の活用 ～事業所全体のブラッシュアップ～	86人
	11/21午後	Zoomステップアップ講座	14人
12/10午後	いまさら聞けない法令遵守 ～ケアマネジメントプロセスを再確認～	82人	
2/14午後	～自分らしく最後を迎えるために～アドバンス・ケア・プランニングについて学びましょう！	43人	

	<p>5) 年度末アンケートの実施 市内約270の施設へGoogleフォームでのアンケート調査を実施した。 回答数35（うち、1回以上本研修に参加した事業所：19）</p>
事業効果・評価 方向性等	<p><b>【対面式研修の再開】</b> 令和2年度よりほとんどの研修をZoomで行ってきたが令和4年度より必要に応じて対面式の研修を再開した。 開催方法について対象施設へアンケートを実施したところ60%以上の事業所が対面式の研修に参加できると回答していることもあり、来年度以降も継続して必要に応じて対面式の研修を実施していきたい。</p> <p><b>【経営者・管理者向け研修】</b> BCPという全事業所に共通するテーマで、障害福祉事業所からも多数の参加者があった。情報セキュリティ研修は現在市の委託事業に関わる提出書類についても様々な変更点があったことで参加者の興味関心は高く、満足いただけただけの研修になった。</p> <p><b>【施設職員向け研修】</b> 障害福祉事業所の職員にも共通するテーマの研修（BCP、アンガーマネジメント、介護記録の書き方、リスクマネジメント）を多く設け、高齢、障害、どちらの職員にも参加していただくことが出来た。</p> <p><b>【訪問介護員向け研修】</b> 毎年訪問介護員のみを対象とした研修は参加者が少ない傾向にあるため、今年度は施設職員と合同の研修とした。やはり訪問介護員の参加は少なく、時間帯や内容等の検討が必要である。</p> <p><b>【ケアマネジャー向け研修】</b> 毎年参加者が多く、大変好評な講師に運営指導・法令遵守についての研修をお願いした。ポイントが多いため2回に分けて行った。また、ケアマネがZoom会議を主催することも増えてきていることからZoomステップアップ講座ということで参加するだけでなく、ホストになるための講座も行い、大変分かりやすかったと好評をいただいた。</p> <p><b>【年度末アンケート】</b> 参加しなかった事業所の理由として「業務が忙しかった」が13事業所、「受けた内容の研修がなかった」が2事業所だった。忙しくても受けることが出来る研修内容、時間帯、開催方法の検討が必要である。</p>

事業名	障害福祉人材育成事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	在宅サービス係、総務係、ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	市内の障害福祉事業に携わる人材の確保のため、地域における人材の育成や福祉資格取得のための相談受付、情報提供を行う。また、障害福祉事業所の職員を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を開催する。

内 容	<b>1. 人材育成のための研修会</b>		
実績報告	1) 従事者向け研修 (全1回)		
	開催日	内容	参加者
	1/24 午後	グループホーム従事者向け虐待防止研修 講師 荒井隆一 氏 (日本グループホーム学会 会長)	27法人 32人
事業効果・評価 方向性等	<p>・市内にグループホームが増えたことで事業所の支援の質に差が出ており、また、虐待ケースも挙がっていることから、日野市障害福祉課よりグループホーム連絡会の中で虐待防止研修をして欲しいと依頼があった。</p> <p>・研修では実際に全国で起きた虐待事例が多く使われ、参加者からも大変好評をいただいた。講師から自治体主導でグループホームの連絡会が作られているケースは少なく、大変良い取り組みだと思うので、今後上手く活用して欲しいとのお話をいただいた。</p>		
内 容	<b>2. 市民向けの障害者差別解消周知研修</b>		
実績報告	【日時】3/15		
	【会場】メダカフェ (就労継続支援B型事業所) 【内容】市内の飲食事業者と障害当事者 (身体、精神、知的障害をお持ちの方) 及び支援者が同席し、お茶会をしながら当事者の方々がお店を利用する際やその他日常で困っていること、またよく使うお店はどんなお店なのか等をお話いただき、事業者は当事者が日常的にお店を使う際に悩んでいることを知ることができた。それによって、日野市のバリアフリーに関わる助成金の利用促進に繋げることができた。 【参加者】日野駅周辺飲食事業者6名 当事者4名 (視覚障害・身体障害・聴覚障害・精神障害) 支援者4名 (手話通訳者・当事者家族・メダカフェ職員) 日野市障害福祉課：1名 日野市社協職員：3名		
事業効果・評価 方向性等	<p>・想定していたよりも多くの事業者、当事者に参加いただいた。それぞれいくつかのグループに分かれ、各グループでは自然と話が盛り上がり、最終的には想定していた時間をオーバーする程であった。</p> <p>・参加者からも大変良い取り組みで今後も続けて欲しいという声をいただいた。</p>		
内 容	<b>3. 差別解消を目的とした人権意識醸成のための活動</b>		
実績報告	令和2年4月に日野市障害者差別解消推進条例が施行された。本条例をきっかけに、障害者差別解消に向け市民の「気づき」「意識変化」「行動」を促す必要がある。(主に福祉教育を行う小学生をターゲット)		
	すべてのいのちがよろこびあふれる未来をつくっていく力を子どもたちと共に育むことを目的とする。(第3次日野市学校教育基本構想と同じ方向性で進めて行く)		
	1) 福祉教育ハートフルプロジェクト会議 ①委員 (順不同) 大和田邦彦 氏 (七生緑小学校 校長) 須藤 朋子 氏 (七生緑小学校 教諭) 大平 晴 氏 (滝合小学校 教諭) 大沼 真弓 氏 (七生特別支援学校 教諭) 大塚佳代子 氏 (八王子東特別支援学校 教諭)		

藤田 博文 氏 (CIL 事務局次長)  
 (日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会委員長)  
 谷 遼平 氏 (日野市障害福祉課)  
 立原直人 氏 (日野市障害福祉課)

②会議の開催

開催日	内容
7/5	今年度の予定について
8/29	パートナー校での実施内容について
11/2	シンポジウムについて
12/19	シンポジウムについて
1/25	電子教科書の内容について
3/9	シンポジウムの振り返りについて

2) 福祉教育ハートフルプロジェクトパートナー校

福祉教育ハートフルプロジェクトを推進に協力してくれるパートナー校の日野第五小学校と共に実施した。

開催日	内容
9/7	ブラインドウォーク体験 講師 菊地美由紀 氏
9/13	ブラインドウォーク体験
10/4	片耳難聴者の講話 講師 高井小織 氏
10/12	手話体験 講師 堀場照美 氏、ひの手話サークル
10/19	車いす体験 講師 藤田博文 氏
10/25, 10/26	車いす体験
11/29	精神障害についての講話 講師 福永悠 氏
12/13	認知症についての講話 講師 竹本功 氏
1/12	LGBTQ+についての講話 講師 齊藤あきの 氏
2/8	知的障害のある方の講話 講師 関野由人 氏、天沼暢浩 氏
2/22	報告会
3/3	シンポジウムへのビデオ出演

3) 福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会

福祉教育ハートフルプロジェクトのキックオフとして、市民の方々と多様な社会について知り・考え。差別のない日野のまちづくりに向けて行動するきっかけを作ることを目的としたもの。

【日時】3月4日(土)

【場所】イオンホール多摩平の森イオンホール

【参加者】会場35人、オンライン14人

【内容】みんなが幸せに生きるまち

～日野からはじまる共生社会の”ひのバージョン”～

	<p>【出演】大和田邦彦 氏 (日野市立七生緑小学校校長) 藤田 博文 氏 (NPO 法人自立生活支援センター日野) 斉藤あきの 氏 (明星大学マイノリティーサークルあるでばらん) 陳 家翠 氏 (日野市国際交流協会)</p>																					
事業効果・評価 方向性等	<p>・4年度から福祉教育ハートフルプロジェクトのパートナー校の協力を得て、日野第五小学校の4年生を対象に重点的な福祉教育を行うことが出来た。「知って」「考えて」「行動する」プロセスの中で、子どもたちの多様性の理解を深め、その多様性に合った社会について考え、ICTを活用した調査なども経て、行動に移すことが出来た。</p> <p>・福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会では、市民に向け福祉教育ハートフルプロジェクトの経過や内容等の報告を行い、また当事者に登壇していただき多様な社会について考えるきっかけをつくる事が出来た。</p>																					
内 容	<b>4. 福祉の資格取得のための相談窓口および情報提供</b>																					
実績報告	福祉のしごと相談会の開催に合わせて、東京都福祉人材センターによる資格取得相談の相談窓口を開設した。2回開催 (10/7, 2/10)																					
内 容	<b>5. 移動支援従事者養成研修</b>																					
実績報告	<p>大学生等の若年層を対象に、日野市内社会福祉法人ネットワーク (障害分野) や障害福祉事業所等と研修会を実施。修了者は日野市移動支援従事者として市内福祉事業者と雇用契約を結び、主に軽度の知的障害児 (者) の活動支援を行うこととする。</p> <p>※修了後もOJTを実施しながら、移動支援事業に従事。</p> <p>○講義内容 合計時間 (講義5時間・実習10時間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日 [時間数]</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義</td> <td>10/16 (日) [210分]</td> <td>【内容】移動支援事業とは 等 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野</td> </tr> <tr> <td>施設実習</td> <td>10/17 (月) ～11/5 (土) [10時間以上]</td> <td>【内容】障害者の理解、施設内における集団の支援 【実習先】あおいとり日野、光の家就労ホーム 工房夢ふうせん、放課後デイぷらたなす</td> </tr> <tr> <td>外出実習</td> <td>11/6 (日) [240分]</td> <td>【内容】グループホーム (光の家就労ホーム・ゆめの家) の利用者及び職員と一緒に外出時における個別支援を学ぶ 【場所】多摩動物公園</td> </tr> <tr> <td>振り返り 修了</td> <td>11/6 (日)</td> <td>【内容】研修の総括・振り返り・修了式 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野</td> </tr> </tbody> </table> <p>○修了者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人数</th> <th>学校名 (人数)</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12人 男 (4) 女 (8)</td> <td>明星大学 (7) ・大妻女子大学 (2) 実践女子大学 (1) ・拓殖大学 (1) 桐光学園高校 (1)</td> <td>大学3年 (2) 大学2年 (3) 大学1年 (6) 高校3年 (1)</td> </tr> </tbody> </table>		開催日 [時間数]	内容等	講義	10/16 (日) [210分]	【内容】移動支援事業とは 等 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野	施設実習	10/17 (月) ～11/5 (土) [10時間以上]	【内容】障害者の理解、施設内における集団の支援 【実習先】あおいとり日野、光の家就労ホーム 工房夢ふうせん、放課後デイぷらたなす	外出実習	11/6 (日) [240分]	【内容】グループホーム (光の家就労ホーム・ゆめの家) の利用者及び職員と一緒に外出時における個別支援を学ぶ 【場所】多摩動物公園	振り返り 修了	11/6 (日)	【内容】研修の総括・振り返り・修了式 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野	人数	学校名 (人数)	学年	12人 男 (4) 女 (8)	明星大学 (7) ・大妻女子大学 (2) 実践女子大学 (1) ・拓殖大学 (1) 桐光学園高校 (1)	大学3年 (2) 大学2年 (3) 大学1年 (6) 高校3年 (1)
	開催日 [時間数]	内容等																				
講義	10/16 (日) [210分]	【内容】移動支援事業とは 等 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野																				
施設実習	10/17 (月) ～11/5 (土) [10時間以上]	【内容】障害者の理解、施設内における集団の支援 【実習先】あおいとり日野、光の家就労ホーム 工房夢ふうせん、放課後デイぷらたなす																				
外出実習	11/6 (日) [240分]	【内容】グループホーム (光の家就労ホーム・ゆめの家) の利用者及び職員と一緒に外出時における個別支援を学ぶ 【場所】多摩動物公園																				
振り返り 修了	11/6 (日)	【内容】研修の総括・振り返り・修了式 【講師・指導者】なごみ在宅サービス日野																				
人数	学校名 (人数)	学年																				
12人 男 (4) 女 (8)	明星大学 (7) ・大妻女子大学 (2) 実践女子大学 (1) ・拓殖大学 (1) 桐光学園高校 (1)	大学3年 (2) 大学2年 (3) 大学1年 (6) 高校3年 (1)																				
事業効果・評価 方向性等	<p>・定員10人に対し、高校3年生から大学3年生までの12人から研修の申込があり、受講人数の検討を日野市障害福祉課や実習受入施設関係者で行い、若年層の福祉の理解を広めるためにも申込者全員の受講決定を行った。</p> <p>・大学の授業が正常 (対面) に戻り、施設実習 (平日・日中) の日程調整に苦慮したが、放課後等デイサービスに多くの受講生が実習した。コロナ禍も落ち着き、通常に戻りつつある学生生活に適した講座内容が課題となる。</p>																					



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が講座を修了し、12月から3月末までに1回以上、実際の障害児者の余暇活動の付添を行い、移動支援を行うことができた。</li> <li>・福祉人材の不足が社会問題となるなか、若年世代を中心に講座の募集を行い、障害児者の支援の向上とともに若い世代への実践的な福祉教育の推進を果てしており、一定の成果を挙げられた。</li> </ul>
--	---

事業名	<b>社会福祉士養成のための実習生の受入</b>	
事業形態	独自事業	
財源内訳	手数料	
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。	
内容	<b>1. 実習プログラムの作成・指導</b>	
実績報告	<p>社会福祉士にとって必要な知識や技術についての指導を行った。</p> <p>4年度より養成カリキュラムの改正により新設された60時間以上の実習についても受け入れを行った。従来の180時間以上の実習に関しては、最終日に総括のための活動報告会を実施した。</p> <p>1) 概要および内容</p>	
	教育機関 (学校名)	期間 (日数・時間)
	明星大学 人文学部福祉実践学科	9/9-10/7 (25日間・187時間)
	法政大学 現代福祉学部	2/1-2/10 (8日間・60時間)
	大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科	2/1-3/9 (27日間・183時間)
受入数	3年次生1人 4年次生1人	
2年次生1人	3年次生1人	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当会では様々な事業を実施していることで、実習生の関心に沿った実習が行える一方で、実習内容の背景と目的が理解できないと、実習プログラム全体つながらなくなってしまうため、特にその点における実習生の理解度を確認しながら実習指導を行った。</li> <li>・今年度より始まった60時間の実習に関して、俯瞰的に見えるようにできるだけ幅広い範囲の実習プログラムを組んだ。今年度の実習生は理解がスムーズだったので、来年度についても同様の形で実習生の理解度を見てみたい。</li> </ul>	

# 法人運営事業

事業名	<b>組織運営事業</b>													
事業形態	独自事業、補助事業													
財源内訳	補助金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、積立金、繰越金													
担当係	総務係（12.部会活動は地域支援係、ボランティア係）													
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ													
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ功利的な経営が行われるよう努める。													
内容	<b>1. 理事会・評議員会・経営会議の開催</b>													
実績報告	1) 理事会													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/15</td> <td> 報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について  審議第1号 令和3年度 事業報告について  審議第2号 令和3年度 決算報告ならびに監査報告について  審議第3号 社会福祉充実残額の承認について  審議第4号 第一次補正予算の報告承認について  審議第5号 第二次補正予算の報告承認について  審議第6号 事務局規程の一部改正について  審議第7号 コミュニケーション支援事業運営規程の一部改正について  審議第8号 服務規程の一部改正について  審議第9号 登録型ホームヘルパー就業規程の一部改正について  審議第10号 役員（理事）の退任及び候補者の提案について  審議第11号 定時評議員会の開催について </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11/18</td> <td> 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について  審議第12号 令和4年度 上半期事業報告について  審議第13号 令和4年度 上半期決算報告ならびに監査報告について  審議第14号 処務規程の一部改正について  審議第15号 個人情報保護規程の全部改正について  審議第16号 令和4年度 第三次補正予算の報告承認について  審議第17号 令和4年度 第四次補正予算の報告承認について  審議第18号 令和4年度 第五次補正予算の報告承認について  審議第19号 評議員会の開催について </td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>3/17</td> <td> 審議第20号 令和5年度（2023年度） 事業計画について  審議第21号 令和5年度（2023年度） 予算について  審議第22号 令和4年度 第六次補正予算の報告承認について  審議第23号 服務規程の一部改正について  審議第24号 給与規程の一部改正について  審議第25号 職員の休養又は休職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について  審議第26号 役員（理事）候補者の提案について  審議第27号 評議員会の開催について </td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	第1回	6/15	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和3年度 事業報告について 審議第2号 令和3年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 社会福祉充実残額の承認について 審議第4号 第一次補正予算の報告承認について 審議第5号 第二次補正予算の報告承認について 審議第6号 事務局規程の一部改正について 審議第7号 コミュニケーション支援事業運営規程の一部改正について 審議第8号 服務規程の一部改正について 審議第9号 登録型ホームヘルパー就業規程の一部改正について 審議第10号 役員（理事）の退任及び候補者の提案について 審議第11号 定時評議員会の開催について	第2回	11/18	報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第12号 令和4年度 上半期事業報告について 審議第13号 令和4年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第14号 処務規程の一部改正について 審議第15号 個人情報保護規程の全部改正について 審議第16号 令和4年度 第三次補正予算の報告承認について 審議第17号 令和4年度 第四次補正予算の報告承認について 審議第18号 令和4年度 第五次補正予算の報告承認について 審議第19号 評議員会の開催について	第3回	3/17	審議第20号 令和5年度（2023年度） 事業計画について 審議第21号 令和5年度（2023年度） 予算について 審議第22号 令和4年度 第六次補正予算の報告承認について 審議第23号 服務規程の一部改正について 審議第24号 給与規程の一部改正について 審議第25号 職員の休養又は休職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について 審議第26号 役員（理事）候補者の提案について 審議第27号 評議員会の開催について
		実施日	内容											
	第1回	6/15	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和3年度 事業報告について 審議第2号 令和3年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 社会福祉充実残額の承認について 審議第4号 第一次補正予算の報告承認について 審議第5号 第二次補正予算の報告承認について 審議第6号 事務局規程の一部改正について 審議第7号 コミュニケーション支援事業運営規程の一部改正について 審議第8号 服務規程の一部改正について 審議第9号 登録型ホームヘルパー就業規程の一部改正について 審議第10号 役員（理事）の退任及び候補者の提案について 審議第11号 定時評議員会の開催について											
第2回	11/18	報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第12号 令和4年度 上半期事業報告について 審議第13号 令和4年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第14号 処務規程の一部改正について 審議第15号 個人情報保護規程の全部改正について 審議第16号 令和4年度 第三次補正予算の報告承認について 審議第17号 令和4年度 第四次補正予算の報告承認について 審議第18号 令和4年度 第五次補正予算の報告承認について 審議第19号 評議員会の開催について												
第3回	3/17	審議第20号 令和5年度（2023年度） 事業計画について 審議第21号 令和5年度（2023年度） 予算について 審議第22号 令和4年度 第六次補正予算の報告承認について 審議第23号 服務規程の一部改正について 審議第24号 給与規程の一部改正について 審議第25号 職員の休養又は休職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について 審議第26号 役員（理事）候補者の提案について 審議第27号 評議員会の開催について												

		2) 評議員会	
		実施日	内容
	第1回 定時 評議員会	6/30	議案第1号 令和3年度 事業報告について 議案第2号 令和3年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 第一次補正予算の報告承認について 議案第5号 第二次補正予算の報告承認について 議案第6号 事務局規程の一部改正について 議案第7号 コミュニケーション支援事業運営規程の一部改正について 議案第8号 服務規程の一部改正について 議案第9号 登録型ホームヘルパー就業規程の一部改正について 議案第10号 新役員(理事)候補者の選任について
	第2回	11/28	議案第11号 令和4年度 上半期事業報告について 議案第12号 令和4年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第13号 処務規程の一部改正について 議案第14号 個人情報保護規程の全部改正について 議案第15号 令和4年度 第三次補正予算の報告承認について 議案第16号 令和4年度 第四次補正予算の報告承認について 議案第17号 令和4年度 第五次補正予算の報告承認について
	第3回	3/27	議案第18号 令和5年度(2023年度) 事業計画について 議案第19号 令和5年度(2023年度) 予算について 議案第20号 令和4年度 第六次補正予算の報告承認について 議案第21号 服務規程の一部改正について 議案第22号 給与規程の一部改正について 議案第23号 職員の休養又は退職及び復職に関する取扱要綱の全部改正について 議案第24号 役員の選任について
		3) 経営会議 12回開催	
		4) 内部監査(監査)	
		①令和3年度決算監査 6/7(火)	
		②令和4年度上半期決算監査 11/1(月)	
内容	<b>2. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置</b>		
実績報告	1) 苦情解決第三者委員の改選 前委員の任期満了に伴い、新たな委員を選任した。 任期: 令和3年6月1日から令和5年5月31日まで 林 幹高 氏 (NPO法人福祉カフェテリア理事長) 土方三男 氏 (保護司) 平賀美代子 氏 (前生活支援員)		
	2) 苦情申立件数 なし		
内容	<b>3. 第5次日野市地域福祉活動計画の推進</b>		
実績報告	5ヶ年(令和2年度(2020年度)~令和6年度(2024年度))の活動計画の推進状況について、推進会議で評価を行った。		
	1) 第5次日野市地域福祉活動計画推進会議 推進委員(順不同敬称略) 委員長 山本美香(東洋大学ライフデザイン学部)		

	<p>副委員長 浅野大輔 (社会福祉法人夢ふうせん)          中澤 洋 (日野市商工会/日野市社会福祉協議会理事)          松田純子 (実践女子大学生生活科学部/日野市社会福祉協議会理事)          中村真佐子 (権利擁護センター日野 生活支援員)          北村智史 (公益社団法人成年後見センターリーガルサポート東京支部)          矢崎 功 (南平地区社会福祉協議会)          古谷 晋 (社会福祉法人マザアス)          粟沢稚富美 (日野市立駅前子育て応援施設 子育てカフェモグモグ)          飯沼一将 (日野市地域包括支援センターせせらぎ)          藤田博文 (NPO 法人自立生活センター・日野)          丹野慶子 (日野市民生委員・児童委員協議会)          佐藤伸彦 (日野市健康福祉部福祉政策課) ※猪鼻謙介前委員の後任。          西山律子 (日野市企画部地域協働課)</p> <p>2) 会議の開催</p> <table border="1" data-bbox="421 698 1426 831"> <thead> <tr> <th data-bbox="421 698 560 745">開催日</th> <th data-bbox="560 698 1294 745">内容</th> <th data-bbox="1294 698 1426 745">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="421 745 560 831">2/20</td> <td data-bbox="560 745 1294 831">           推進状況報告及び評価等            会場：中央福祉センター (ハイブリッド)         </td> <td data-bbox="1294 745 1426 831">11人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	2/20	推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター (ハイブリッド)	11人
開催日	内容	参加者					
2/20	推進状況報告及び評価等 会場：中央福祉センター (ハイブリッド)	11人					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後配食、成年後見制度利用支援、フードパントリーなど、新規で非常に良い取り組みを行っているという評価が委員よりあった。</li> <li>社会福祉協議会が担当する第一層生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが担当する第二層生活支援コーディネーターとの協力体制が取れていることや、グループホーム職員向けの虐待防止研修の実施についても、良い評価が得られた。</li> <li>課題として、まちづくりということが社会福祉協議会の大事な仕事としてあるので、次世代の担い手をどう作っていくのか、地域をどう作るか、生活支援コーディネーターの活動、地域福祉コーディネーターの配置について、進めていく必要があるという評価があった。</li> </ul>						
内 容	<p><b>4. 日野市内社会福祉法人ネットワーク</b></p>						
実績報告	<p>「暮らしの支援」「福祉人材の育成(福祉教育)」「情報発信」を3つの柱にネットワーク活動を推進する。</p> <p>1) 幹事会の開催 6回 (4/18, 6/13, 7/25, 9/26, 12/12, 2/27)</p> <p>2) 幹事 (順不同)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浅野大輔 氏 (社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせん 施設長)</li> <li>岩谷健治 氏 (社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園 園長)</li> <li>神田耕治 氏 (社会福祉法人友遊の家 理事長)</li> <li>古谷 晋 氏 (社会福祉法人マザアス マザアス日野 施設長)</li> <li>長谷川育代氏 (社会福祉法人至誠学舎立川 万願寺保育園 園長)</li> <li>野原久代 氏 (社会福祉法人のぎく会 日野保育園 園長)</li> <li>奥住日出男 (日野市社会福祉協議会 会長)</li> </ul> <p>3) 報告事項</p> <p>①買い物お助けサービス      ○毎月第2、第4土曜日の13:00~15:00 南平地区において実施</p> <p>②日野市フードパントリー事業への協力      ○食料配布数 2, 252件</p>						

○協力実績

受付窓口 (社会福祉施設等)	食材利用食数 (箱)
合計	2, 2 5 2
[内訳]	
日野市社会福祉協議会 (日野)	7 8 1
日野市社会福祉協議会 (高幡)	6 0 1
多摩療護園	1 4 7
工房夢ふうせん	1 2 9
放課後等デイサービスぷらたなす	1 6 4
地域包括支援センター多摩川苑	1 3 7
至誠あずま保育園	4
しせい太陽の子保育園	1
フードバンクTAMA	2 8 7
無回答・未記入	1

③移動困難高齢者ワクチン接種会場移送支援 別途報告

④防災・減災オンラインフォーラムへの協力 (9/25, 10/9)

⑤福祉のしごと魅力発信

ひの社協だより 3回掲載 (244号~246号)

⑥地域共生社会を考えるシンポジウム

「地域共生社会」をキーワードに様々なテーマを扱うシンポジウム。

今年度は、昨年度からの2回の延期を経てコロナ禍における地域課題の共有をテーマに開催。

【第5回地域共生社会を考えるシンポジウム】

「コロナ禍で起きたこと、そしてこれから…。～今、福祉にかかわるあなたの力が必要とされている!～」

開催日	内容	参加者
2/2	<p>○日野市内社会福祉法人ネットワークについて</p> <p>○事例報告</p> <p>1. 「コロナ禍で激増した児童虐待」 講師：三輪昇史 氏 (日野市子ども家庭支援センター)</p> <p>2. 「コロナ禍で見えた貧困の現実」 講師：芝田晴一朗 氏 (NPO法人フードバンクTAMA)</p> <p>3. 「コロナ禍の高齢者のADL・QOL低下とコミュニティの関係」 講師：落合恵子 氏 (日野市地域包括支援センターすてっぷ)</p> <p>4. 「コロナ禍でこれまで以上に行動制限のあった障害のある方の暮らし」 講師：天沼暢浩 氏 (なごみ在宅介護サービス日野)</p> <p>○質疑応答</p> <p>○グループディスカッション</p> <p>会場：イオンモール多摩平の森イオンホール (ハイブリッド)</p>	51人

	<p>⑦災害備蓄品の使用連携に向けた研究 使用連携可能な災害備蓄品リストを作成し、幹事法人施設においてリスト活用の検証を行った。</p> <p>⑧出張講座 明星大学人文学部福祉実践学科「地域ニーズ開発」</p> <table border="1" data-bbox="421 309 1428 725"> <thead> <tr> <th data-bbox="421 309 557 353">開催日</th> <th data-bbox="557 309 1291 353">内容</th> <th data-bbox="1291 309 1428 353">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="421 353 557 725">10/5</td> <td data-bbox="557 353 1291 725"> <p>1年次生を対象に、社会福祉法人施設の職員などが出張講義を行った。</p> <p>○プレゼンテーション「年齢が比較的近い施設職員や学生の移動支援従事者による日頃の業務や活動について」</p> <p>○プレゼンテーション「障害当事者による普段の生活や趣味について」</p> <p>○グループディスカッション</p> <p>会場：明星大学</p> </td> <td data-bbox="1291 353 1428 725">11人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	10/5	<p>1年次生を対象に、社会福祉法人施設の職員などが出張講義を行った。</p> <p>○プレゼンテーション「年齢が比較的近い施設職員や学生の移動支援従事者による日頃の業務や活動について」</p> <p>○プレゼンテーション「障害当事者による普段の生活や趣味について」</p> <p>○グループディスカッション</p> <p>会場：明星大学</p>	11人
開催日	内容	参加者					
10/5	<p>1年次生を対象に、社会福祉法人施設の職員などが出張講義を行った。</p> <p>○プレゼンテーション「年齢が比較的近い施設職員や学生の移動支援従事者による日頃の業務や活動について」</p> <p>○プレゼンテーション「障害当事者による普段の生活や趣味について」</p> <p>○グループディスカッション</p> <p>会場：明星大学</p>	11人					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの支援として行っているフードパントリーは、月平均約150食で上半期は推移していたが、年度を通じては月平均約187食まで利用が増えた。</li> <li>・11月より、新たな協力施設として、日野保育園、万願寺保育園、至誠あずま保育園、しせい太陽の子保育園の4施設が加わった。</li> <li>・フードパントリー事業が開始から3年が経過しようとしている中、幹事会で各協力施設の窓口担当者同士の交流が必要になってきているという意見があり、フードパントリー担当者の情報交換会を開催した。</li> <li>・令和3年度からひの社協だよりを活用し、ネットワーク加盟法人の職員紹介（インタビュー）を行っている。ネットワーク活動とあわせ職員紹介をすることで、市内の施設紹介や福祉の仕事について周知ができています。今後も毎号掲載していきたい。</li> <li>・幹事会で、災害時の備品使用の連携に向け話し合いをしたいと意見があった。まずは幹事の法人が所有している災害備品をリスト化し、データを共有できるよう研究中である。今後は加盟法人にも協力を仰ぎながら進めていきたい。</li> <li>・社会福祉法人で企画する明星大学人文学部福祉実践学科1年生を対象とした出前講義「地域ニーズ」を下半期に実施し、障害福祉人材育成事業の移動支援従事者養成講座開講につなげる予定。</li> </ul>						
内 容	<p><b>5. 日野市を始めとする関係委員会等への委員協力</b></p>						
実績報告	<p>(会長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会 評議員会</li> <li>2. 南多摩保健所協議会</li> <li>3. (社福) 東京都共同募金会 評議員会</li> <li>4. (社福) 東京緑新会理事会</li> <li>5. (社福) おおぞら 評議員会</li> <li>6. 日野台高等学校 防災教育推進委員会</li> <li>7. 日野台高等学校 学校運営連絡協議会</li> <li>8. 普段着でCO2をへらそう実行委員会</li> <li>9. 日野社会教育センター運営委員会</li> </ol> <p>(職員)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日野市地域福祉計画推進委員会</li> </ol>						

2. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会
3. 日野市介護保険運営協議会等
4. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議
5. 日野市住宅ストック活用推進協議会
6. 日野市居住支援協議会
7. 日野市献血推進協議会
8. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会
9. 日野高等学校運営連絡協議会
10. 日野消防署住宅防火防災対策推進協議会
11. 地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会
12. 日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会
13. 日野わーく・わーく
14. 日野市障害者就業支援連絡会
15. 地域自立支援協議会
16. 障害者差別解消支援地域協議会
17. 日野市中卒後支援検討委員会
18. 日野市再犯防止推進計画検討委員会

内 容

## 6. 社会福祉協議会会員の拡充・啓発

財源確保のため、関係団体（日野市商工会、日野市民生委員・児童委員協議会、日野市老人クラブ連合会、自治会、日野市職員）をはじめ地域へ協力依頼を行った。

また、福祉のつどいを開催し、地域福祉の推進に多大な貢献のあった個人・団体を対象に表彰を行った。

### 1) 会費実績

	合計金額 (件数)	内訳
4年度	3,245,600円 (704件)	個人 368,000円 (273件)
		特別 541,000円 (105件)
		団体 2,336,600円 (326件)
3年度	3,298,600円 (719件)	個人 388,100円 (288件)
		特別 442,000円 (103件)
		団体 2,468,500円 (328件)

実績報告

### 2) 寄附金実績

	合計金額 (件数)
4年度	1,668,602円 (48件)
3年度	2,336,695円 (72件)

### 3) 第38回福祉のつどい

地域福祉の推進に多大な貢献のあった方を対象とした表彰式。表彰にあたっては、推薦を受けた方について表彰審議委員会で審議し、承認された方を対象とした。

#### ①表彰式

開催日	場所	内容
3/4	イオンホール	表彰状・感謝状贈呈 受賞者25人 (表彰状13人、感謝状12人) 受賞者挨拶 大矢昭子 氏

	<p>②推薦団体 日野市赤十字奉仕団、朗読サークル「ひの」、社会福祉法人二葉保育園自立援助ホームトリノス、社会福祉法人東京光の家、日野市老人クラブ連合会、社会福祉法人日野市社会福祉協議会</p> <p>③表彰審議委員会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/19</td> <td>推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	1/19	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局
開催日	内容				
1/19	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局				
事業効果・評価 方向性等	・前年度と比較し会費は微減し、寄附金は件数、金額ともに大きく減少した。				
内 容	<b>7. 法人管理運営</b>				
実績報告	各種法令を遵守し、法人管理事務を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事・給与                      ・福利厚生（健康診断・管理）                      ・文書類の收受</li> <li>・事業計画・報告                ・予算管理・決算事務（会計処理）                      ・その他の事務</li> </ul>				
内 容	<b>8. 広報活動の工夫</b>				
実績報告	1) 広報紙「ひの社協だより」の発行 No244（6月26日発行） 40,000部 主な記事 権利擁護センター日野の紹介、スマホお助け隊について No245（10月23日発行） 40,000部 主な記事 歳末たすけあいッバザー、在宅高齢者ケアサービスについて No246（1月29日発行） 40,000部 主な記事 福祉のしごと相談会、ハートフルプロジェクトについて				
事業効果・評価 方向性等	・広報紙「ひの社協だより」発行にあわせ各係職員による編集会議を行い、社協全体として広報紙づくりに取り組むことができている。				
内 容	<b>9. 事務局体制の整備・職員の資質向上</b>				
実績報告	1) 職員会議 12回 2) 南多摩ブロック職員の間 研修への参加 ※東京都社会福祉協議会等が主催する研修への参加状況は、各事業ごとに報告。 3) 電子決裁等システム「NI Collabo 360」の導入 ペーパーレス化と電子帳簿保存法対応のため、7月より電子決裁等システム「NI Collabo 360」を導入。職員を2グループに分けて全体説明会を実施し、従来の紙面決裁からの移行を図った。 4) 情報セキュリティ研修 情報セキュリティポリシーの更新に向けて、外部講師を招いての職員全員を対象とした研修を実施した。				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/4</td> <td>情報セキュリティインシデント事例等 講師 脇田恒志 氏 (株)ベネフル総合研究所</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	7/4	情報セキュリティインシデント事例等 講師 脇田恒志 氏 (株)ベネフル総合研究所
開催日	内容				
7/4	情報セキュリティインシデント事例等 講師 脇田恒志 氏 (株)ベネフル総合研究所				
事業効果・評価 方向性等	・電子決裁等システム「NI Collabo 360」の職員向け説明会を実施したことで、システムのスムーズな導入が図られた。				



内 容	10. 部会活動																
実績報告	<p>1) 障害者施設職員交流会部会 障害者施設職員間の交流および知識・スキルの向上を目的とした交流会を原則月1回開催した。</p> <table border="1" data-bbox="450 293 1347 779"> <thead> <tr> <th data-bbox="450 293 587 338">開催日</th> <th data-bbox="593 293 1347 338">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="450 347 587 392">6/17</td> <td data-bbox="593 347 1347 392">情報共有、各施設の近況報告や今年度の抱負等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 400 587 445">9/16</td> <td data-bbox="593 400 1347 445">近況報告、コロナ禍でも提供出来たイベント・行事、活動の工夫等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 454 587 499">10/21</td> <td data-bbox="593 454 1347 499">近況報告・各施設の災害への取り組み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 508 587 553">11/18</td> <td data-bbox="593 508 1347 553">近況報告・今後話し合いたいテーマ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 562 587 607">12/23</td> <td data-bbox="593 562 1347 607">コロナ禍に於ける利用者の健康管理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 616 587 660">1/27</td> <td data-bbox="593 616 1347 660">近況報告・再調理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 669 587 714">3/3</td> <td data-bbox="593 669 1347 714">近況報告・今後の開催方法などのアンケートについて</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 児童部会 今年度の実施はなし</p>	開催日	内容	6/17	情報共有、各施設の近況報告や今年度の抱負等	9/16	近況報告、コロナ禍でも提供出来たイベント・行事、活動の工夫等	10/21	近況報告・各施設の災害への取り組み	11/18	近況報告・今後話し合いたいテーマ	12/23	コロナ禍に於ける利用者の健康管理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと	1/27	近況報告・再調理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと	3/3	近況報告・今後の開催方法などのアンケートについて
	開催日	内容															
6/17	情報共有、各施設の近況報告や今年度の抱負等																
9/16	近況報告、コロナ禍でも提供出来たイベント・行事、活動の工夫等																
10/21	近況報告・各施設の災害への取り組み																
11/18	近況報告・今後話し合いたいテーマ																
12/23	コロナ禍に於ける利用者の健康管理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと																
1/27	近況報告・再調理・障がい福祉の仕事をやっている嬉しかったこと、よかったこと																
3/3	近況報告・今後の開催方法などのアンケートについて																
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月は対面で行うと企画していたが、感染症が拡大し直前でwebでの開催に切り替えた。4年度は全てweb開催となった。</li> <li>・各施設の情報共有はコロナ感染症についてが多かったが、少しずつコロナが落ち着いてきたこともありアフターコロナについての情報が増えてきた。</li> <li>・日頃横のつながりが持てない施設職員にとって、交流会部会で肩の力を抜いて話し合えることはとても良い機会となっている。今後はもっと多くの若い職員に参加していただくために周知を行っていく。</li> </ul>																

## 公益事業拠点区分

### 福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営																		
事業形態	指定管理者制度（令和4年4月1日～令和9年3月31日）																		
財源内訳	受託金（指定管理料）																		
担当係	総務係																		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																		
目的	各種福祉団体の連絡・調整を行い、社会福祉の啓発や市民の健康増進をお通じて地域福祉の推進を図るとともに、利用者が安全に利用できるよう施設運営に努める。																		
内容	<b>1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営</b>																		
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館																		
	2) 利用実績																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">利用者</th> </tr> <tr> <th>開館日数</th> <th>利用団体数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>298日</td> <td>2,318団体</td> <td>27,717人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>293日</td> <td>2,004団体</td> <td>21,768人</td> </tr> </tbody> </table>				利用者			開館日数	利用団体数	利用者数	4年度	298日	2,318団体	27,717人	3年度	293日	2,004団体	21,768人
		利用者																	
開館日数		利用団体数	利用者数																
4年度	298日	2,318団体	27,717人																
3年度	293日	2,004団体	21,768人																
3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機 ⑤ヘルストロン ⑥消防用設備 ⑦夜間警備																			
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の波が徐々に収まりつつあった中で、利用内容によって定員の半数制限を設けていたが、感染を防ぐための消毒やマスクの着用等市民へ協力を引き続きお願いし開館をした。利用者数も感染拡大前の平成30年度利用者数の6割方戻ってきた。</li> <li>本施設を利用した歳末助け合いバザーを12月に3年ぶりに開催し、安全を第一に考え感染拡大を防ぐ工夫を施し、多くの市民や団体の方に参加していたき好評を得ることができた。</li> </ul>																		
内容	<b>2. 管理内容の報告、今後について協議</b>																		
実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷温水発生機による空調設備が故障すると修繕ができなくなってきており、娯楽室1を利用した複数の団体から夏の暑さと冬の寒さに関して改善を要望する声があった。同様に、階段昇降機についても部品が破損すると替えの部品がないと保守業者から説明があった。</li> <li>乳幼児連れの利用者からおむつ交換ができる場所がほしいという声があったため、交換台を設置した。</li> </ul>																		
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や障害者による利用が多く、空調設備等に復旧不可能な故障が出ているため、利用者の安全・利便性に配慮した施設設備について検討が必要である。</li> </ul>																		

## 収益事業拠点区分

事業名	<b>自動販売機設置等管理事業</b>																			
財源内訳	手数料、利用料																			
担当係	総務係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																			
目的	公共施設の自動販売機の設置や中央福祉センター内の印刷機等を貸し出しする等、施設の利便性の向上を図り社会福祉事業における財源確保に努める。																			
内容	<b>1. 自主財源の確保</b>																			
実績報告	<p>自動販売機の設置</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>26台</td> <td>5,080,878円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>26台</td> <td>4,737,251円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 設置場所 14ヶ所 (24台数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市役所1階 (5)</li> <li>・クリーンセンター(2)</li> <li>・福祉支援センター(1)</li> <li>・中央福祉センター(2)</li> <li>・生活・保健センター(1)</li> <li>・ひの煉瓦ホール(3)</li> <li>・中央公民館 (1)</li> <li>・教育センター(1)</li> <li>・勤労・青年会館(1)</li> <li>・新選組のふるさと歴史館(2)</li> <li>・PlanT (多摩平の森産業連携センター) (1)</li> <li>・プラスチック類資源化施設 (2)</li> <li>・石田環境プラザ (1)</li> <li>・日野市発達・教育支援センター「エール」 (1)</li> <li>・百草コミュニティセンター (1月撤去)、ひの煉瓦ホール(2月・1台撤去)</li> </ul> <p>印刷機等の貸出</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>利用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>59件</td> <td>77,651円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>44件</td> <td>64,714円</td> </tr> </tbody> </table>			台数	ロケマージン	4年度	26台	5,080,878円	3年度	26台	4,737,251円		件数	利用料	4年度	59件	77,651円	3年度	44件	64,714円
	台数	ロケマージン																		
4年度	26台	5,080,878円																		
3年度	26台	4,737,251円																		
	件数	利用料																		
4年度	59件	77,651円																		
3年度	44件	64,714円																		
内容	<b>2. 赤い羽根共同募金運動への協力</b>																			
実績報告	<p>手数料の一部を赤い羽根共同募金とし、地域の福祉施設・事業者への支援を図った。</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>18台</td> <td>425,990円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>20台</td> <td>423,725円</td> </tr> </tbody> </table>			台数	ロケマージン	4年度	18台	425,990円	3年度	20台	423,725円									
	台数	ロケマージン																		
4年度	18台	425,990円																		
3年度	20台	423,725円																		
内容	<b>3. 公共施設改修等に関わる対応</b>																			
実績報告	<p>公共施設に自動販売機を設置しているため、施設の状況や利用者からの要望に応じて適切に対応を行った。</p>																			

	<p>1) 自販機の入替え          ・日野市役所1階 (5→5) ・ひの煉瓦ホール (5→4)</p> <p>2) 自販機の撤去          ・百草台コミュニティセンター (1)          ・プラスチック類資源化施設(2→1)</p>
事業効果・評価 方向性等	<p>・公共施設の利用が回復傾向となったため、自動販売機ロケマージンも少し戻ってきているが新型コロナウイルス感染症拡大以前までには至っていない。</p> <p>・「社会貢献自動販売機」の増設を目指して新たな設置場所の開拓を進めており、相談に乗っていただいた事業者はあったが、設置には至らなかった。</p> <p>・2022年6月23日、日野市がウォータースタンド株式会社と協働し、プラスチックごみ削減の推進に関する協定を締結、この協定に基づきマイボトル専用の給水器を市内30の公共施設に設置し、マイボトルの普及を促進することとなった。当会が設置している自動販売機のペットボトル飲料も順次缶や紙パック飲料に入れ替えを進めた。</p>

事業名	<b>日野市役所内売店の運営</b>										
事業形態	収益事業										
財源内訳	売上金、繰越金										
担当係	総務係・日野市役所内売店										
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ										
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。										
内容	<b>1. 健全な経営・感染防止策の徹底</b>										
実績報告	<p>1) 営業日時 月～金曜日 (9:30～15:30) ※祝日・年末年始を除く          従業員 管理責任者1人、補助職員2人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>売上</th> <th>商品残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4年度</td> <td>21,467,851円</td> <td>2,208,737円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>23,038,577円</td> <td>2,313,134円</td> </tr> </tbody> </table>			売上	商品残高	4年度	21,467,851円	2,208,737円	3年度	23,038,577円	2,313,134円
	売上	商品残高									
4年度	21,467,851円	2,208,737円									
3年度	23,038,577円	2,313,134円									
内容	<b>2. 障害者の社会参加の促進</b>										
実績報告	<p>品出し・販売業務          補助委託(週2回) 社福) 日野青い鳥福祉会 訓練生1人</p>										
事業効果・評価 方向性等	<p>・昨年度はPaypayのキャンペーンが実施されたことにより売上が100万円以上上がったが、今年度はそれに類するキャンペーンはなかったため令和2年度並みの売上に戻った。</p>										

## 共同募金運動

### 赤い羽根共同募金運動

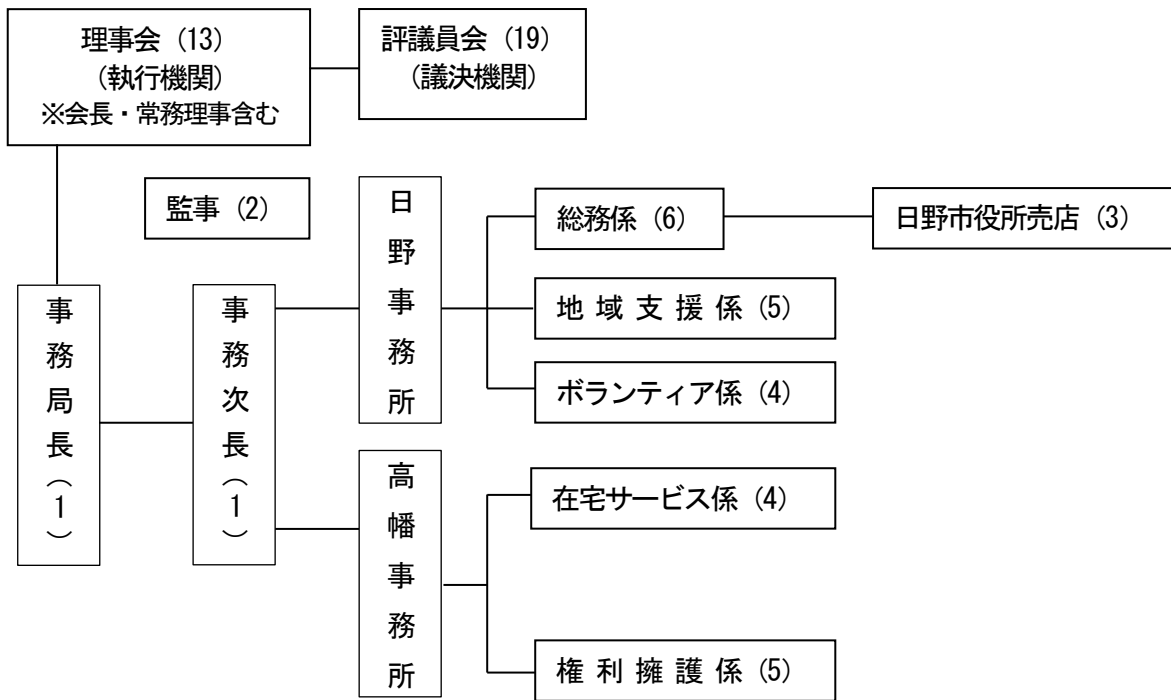
事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）																					
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）																					
財源内訳	地区協力会事務費																					
担当係	総務係																					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																					
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。																					
内容	<b>1. 多様な方法による募金の普及・拡大</b>																					
実績報告	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/28）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。																					
	<p>1) 募金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>募金額</th> <th colspan="2">内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4年度</td> <td rowspan="3">1,915,631円</td> <td>地区募金</td> <td>881,209円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>617,773円</td> </tr> <tr> <td>自動販売機</td> <td>416,649円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3年度</td> <td rowspan="3">1,490,879円</td> <td>地区募金</td> <td>973,106円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>90,813円</td> </tr> <tr> <td>自動販売機</td> <td>426,960円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 街頭募金活動（順不同）</p> <p>①実施期間 10/1（土）から11/12（土）まで 11日間</p> <p>②実施場所 豊田駅・日野駅・高幡不動駅・平山城址公園駅周辺 多摩動物公園、イオンモール多摩平の森、万願寺グラウンド</p> <p>③協力団体8団体 日野市赤十字奉仕団 日本ボーイスカウト東京連盟日野第4団 日野第一中学校 大坂上中学校 10代と社会をつなぐプロジェクト 日野市少年軟式野球連盟 東京日野リトルリーグ</p> <p>3) 関係部署窓口において募金受付 日野市福祉政策課、七生支所、日野市役所売店</p>				募金額	内訳		4年度	1,915,631円	地区募金	881,209円	街頭募金	617,773円	自動販売機	416,649円	3年度	1,490,879円	地区募金	973,106円	街頭募金	90,813円	自動販売機
	募金額	内訳																				
4年度	1,915,631円	地区募金	881,209円																			
		街頭募金	617,773円																			
		自動販売機	416,649円																			
3年度	1,490,879円	地区募金	973,106円																			
		街頭募金	90,813円																			
		自動販売機	426,960円																			
事業効果・評価 方向性等	・令和元年度以来の大規模な街頭募金活動を実施することができたが、募金額としてはコロナ前の水準には程遠く、新たな手法での募金活動を検討する必要がある。																					
内容	<b>2. 広報啓発活動</b>																					
実績報告	1) 日野市内自治会に対し、日野地区協力会作成の独自チラシを配布 2) ひの社協だよりへ掲載																					
事業効果・評価 方向性等	・募金の使われ方や募金活動を行っている団体の紹介を広報し、地域で集められ地域で使われている募金を地域の方に身近に感じてもらうように心がけた。																					

事業名	<b>東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）</b>																																								
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）																																								
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費																																								
担当係	総務係																																								
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																																								
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの「助成金の受付」ならび「申請内容の審査・検討」を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。																																								
内容	<b>1. 審査・推せん（意見書の交付・推せん）</b>																																								
実績報告	1) 意見書の交付 なし																																								
	2) 委員会の開催 3回（9/12, 12/15, 1/23）																																								
	3) 推せん 12団体・施設 960,000円 順位を付け東京都共同募金会へ推せんした。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人名（施設名）</th> <th>申請内容</th> <th>推せん金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 おーく高幡</td> <td>液晶テレビの購入</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 まむ高幡</td> <td>洗濯機の購入</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>特定NPO法人あるく・自律を目指す会 つきのおあしす</td> <td>ヨガと気功・バスケット ボール活動</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td>特定NPO法人在宅福祉サービスウイズ ケアホームともにこ</td> <td>洗濯機の購入</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人日野青い鳥福祉会 あおいとり日野</td> <td>厨房ガステーブルの購入</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園</td> <td>リモート機器の購入</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>特定NPO法人タイセン ISAMI</td> <td>洗濯機の購入</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人マザアス マザアス日野</td> <td>タブレット端末（2台）の 購入</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>特定NPO法人やまぼうし れんげ</td> <td>コーヒー焙煎機の購入</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人ちえのわ 生活寮もぐさ</td> <td>ポータブル電源購入</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人百々の木 ハートリボン</td> <td>机及び椅子の購入</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人清心福祉会 わらべ日野市役所東保育園</td> <td>園児用絵本及び玩具の購 入</td> <td>50,000円</td> </tr> </tbody> </table>	法人名（施設名）	申請内容	推せん金額	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 おーく高幡	液晶テレビの購入	40,000円	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 まむ高幡	洗濯機の購入	50,000円	特定NPO法人あるく・自律を目指す会 つきのおあしす	ヨガと気功・バスケット ボール活動	80,000円	特定NPO法人在宅福祉サービスウイズ ケアホームともにこ	洗濯機の購入	40,000円	社会福祉法人日野青い鳥福祉会 あおいとり日野	厨房ガステーブルの購入	90,000円	社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園	リモート機器の購入	40,000円	特定NPO法人タイセン ISAMI	洗濯機の購入	70,000円	社会福祉法人マザアス マザアス日野	タブレット端末（2台）の 購入	150,000円	特定NPO法人やまぼうし れんげ	コーヒー焙煎機の購入	60,000円	特定非営利活動法人ちえのわ 生活寮もぐさ	ポータブル電源購入	50,000円	特定非営利活動法人百々の木 ハートリボン	机及び椅子の購入	240,000円	社会福祉法人清心福祉会 わらべ日野市役所東保育園	園児用絵本及び玩具の購 入	50,000円
	法人名（施設名）	申請内容	推せん金額																																						
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 おーく高幡	液晶テレビの購入	40,000円																																						
	社会福祉法人東京と手をつなぐ育成会 まむ高幡	洗濯機の購入	50,000円																																						
	特定NPO法人あるく・自律を目指す会 つきのおあしす	ヨガと気功・バスケット ボール活動	80,000円																																						
	特定NPO法人在宅福祉サービスウイズ ケアホームともにこ	洗濯機の購入	40,000円																																						
	社会福祉法人日野青い鳥福祉会 あおいとり日野	厨房ガステーブルの購入	90,000円																																						
	社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園	リモート機器の購入	40,000円																																						
	特定NPO法人タイセン ISAMI	洗濯機の購入	70,000円																																						
	社会福祉法人マザアス マザアス日野	タブレット端末（2台）の 購入	150,000円																																						
	特定NPO法人やまぼうし れんげ	コーヒー焙煎機の購入	60,000円																																						
特定非営利活動法人ちえのわ 生活寮もぐさ	ポータブル電源購入	50,000円																																							
特定非営利活動法人百々の木 ハートリボン	机及び椅子の購入	240,000円																																							
社会福祉法人清心福祉会 わらべ日野市役所東保育園	園児用絵本及び玩具の購 入	50,000円																																							
内容	<b>2. 助成内容の調査・確認</b>																																								
事業効果・評価 方向性等	配分金が正しく使われているか等の確認のために施設見学会を実施していたが、コロナ禍となり3年間実施できずにいるが、コロナが落ち着いてきているため、5年度は実施できるよう施設と調整を図っていきたい。																																								

## 歳末たすけあい運動

事業名	<b>歳末たすけあい運動の実施</b>														
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）														
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費														
担当係	総務係														
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ														
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。														
内容	<b>1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大</b>														
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。														
	1) 運動期間 12/1～12/28														
	2) 募金実績														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>募金額</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4年度</td> <td rowspan="3">2,671,102円</td> <td>戸別募金 1,457,716円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 0円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,213,386円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3年度</td> <td rowspan="3">1,728,651円</td> <td>戸別募金 1,681,593円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 27,538円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 19,520円</td> </tr> </tbody> </table>		募金額	内訳	4年度	2,671,102円	戸別募金 1,457,716円	街頭募金 0円	バザー募金 1,213,386円	3年度	1,728,651円	戸別募金 1,681,593円	街頭募金 27,538円	バザー募金 19,520円
	募金額	内訳													
4年度	2,671,102円	戸別募金 1,457,716円													
		街頭募金 0円													
		バザー募金 1,213,386円													
3年度	1,728,651円	戸別募金 1,681,593円													
		街頭募金 27,538円													
		バザー募金 19,520円													
内容	<b>2. 歳末たすけあいバザー</b>														
実績報告	歳末たすけあい運動の普及啓発と、市民の交流の場とすることを目的に開催。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止していたが、4年度は3年ぶりの開催となった。														
	<b>【日時】</b> 12/4（日）10時～14時 <b>【共催】</b> 日野市民生委員・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団 <b>【協力・協賛】</b> NPO法人めぐみ、あおとり日野、あおとり上田、東京光の家、ひのたま会、やよい会、花みずき、個人、サントリービバレッジソリューション(株)、西都ヤクルト販売(株)、(株)伊藤園、東京キリンビバレッジサービス(株)、(株)アペックス、アサヒ飲料販売(株)、森永牛乳日野販売店														
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年ぶりの開催に向けて準備を進めながらも、10月上旬ぎりぎりまで新型コロナウイルス感染症の拡大状況を確認し、開催を決定した。</li> <li>・来場する市民に安心して楽しんでいただけるよう、館内は時間指定入替制の分散入場を取り入れた。実際の来場者数としては3コマ目まで人数制限が必要だったが、4コマ目より制限を解除した。</li> <li>・市内では新型コロナウイルス感染症が流行しており、模擬店1店舗が開けなかったことや、スタッフ用の弁当の発注先を5日前に変更せざる負えなくなるなど、複数の影響を受けた。</li> <li>・まだまだ地域でのイベントが少ない中で、久しぶりに顔を合わせた方達からバザーの開催を待ち望んでいたという声をいただいた。</li> </ul>														

日野市社会福祉協議会組織図 ※（ ）内は人数。



職員人数 29人